

第四次草加市総合振興計画 第二期基本計画

草加市実施計画 2022・

第2期草加市版総合戦略

令和4年度進捗管理結果

草加市 総合政策課

令和5年9月

目次

総論

	ページ数
1 実施計画 及び 進捗管理結果について	1
2 第2期草加市版総合戦略の位置づけ	1
3 行政評価	1
4 基本計画の体系	4
5 第2期草加市版総合戦略と実施計画2022との対応表	5

各施策の進捗管理結果

	ページ数		ページ数
01 水環境の保全	7	22 市民自治の推進	117
02 みどりの保全と創出	11	23 地域福祉の推進	121
03 環境を守り育てる	17	24 就労支援・勤労者福祉の推進	123
04 良好なまちづくりの推進	25	25 障がい者福祉の推進	127
05 交通利用環境の改善促進	33	26 生活保護世帯・生活困窮者の自立支援	133
06 安全で快適な道路の整備	35	27 国際交流・地域間交流の推進	135
07 総合的な治水対策の推進	41	28 人権の尊重	137
08 交通安全対策の推進	45	29 学びの成果が発揮される生涯学習の推進	145
09 危機管理体制の強化	49	30 草加らしい文化の創造	153
10 防犯対策の推進	55	31 スポーツの推進	155
11 安全で安定した水の供給	59	32 消費者の自立と支援	161
12 安定した汚水処理の推進	61	33 心と体の健康づくり	163
13 地域とともに栄える産業の振興	63	34 医療環境の充実	173
14 おもてなしの心が息づく観光の振興	73	35 市民とともに考え行動する職員の育成	177
15 心地よいまちづくりの推進	75	36 市民参画制度の推進	181
16 総合的な高年者施策の推進	79	37 社会ニーズへの的確な対応	183
17 児童福祉の推進	85	38 市役所の情報化の推進	189
18 目指す「草加っ子」(15歳の姿)を育む幼保小中を一貫した教育の推進	93	39 市政の透明性・公平性の充実	191
19 学校・家庭・地域の連携・協働の推進	105	40 計画的で効果的な行政の推進	193
20 教育環境の整備・充実	109	41 質の高い広域連携の推進	201
21 子ども・青少年育成の充実	113		

総論

1 | 実施計画及び進捗管理結果について

本市では、平成 27 年（2015 年）9 月に制定した第四次総合振興計画基本構想（以下「基本構想」という。）を実現するため、4 年間を計画期間とする総合振興計画基本計画（以下「基本計画」という。）を定めています。

「実施計画」は、基本計画に定めた施策の目標を達成するために、事務事業の内容や事業費を定めるもので、毎年度の予算編成の指針となるものです。計画期間は 3 年間とし、毎年度見直します。

本誌の「進捗管理結果」は、実施計画及び草加市版総合戦略で策定した指標にもとづき、各担当課において令和 4 年度に実施した事業の達成状況を評価・分析し、次年度以降の取組への活用に向けて整理したものです。

2 | 第 2 期草加市版総合戦略の位置づけ

地方版総合戦略は、国の総合戦略を勘案して、地域の実情に応じた基本目標や施策の基本的方向、具体的な施策を示し、人口減少の克服と地域の活性化及びまち・ひと・しごとの創生と好循環の確立をめざすものです。

国の第 2 期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、人口減少や少子高齢化の急速な進展に対応し、人口減少を和らげることや地域内経済循環等をめざしています。また、まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立を目的とした、より具体的な計画として策定するものであり、この趣旨は基本構想、基本計画にも示されています。

そのため、第 2 期草加市版総合戦略は、基本構想、基本計画の趣旨に基づき、実施計画と連動させつつ、また、分野別計画との整合性を図り、草加市人口ビジョンを踏まえた、今後 4 か年の人口減少、少子高齢化対策等に関する基本目標や基本的方向、具体的な施策を、まち・ひと・しごと創生の観点から体系化して示すものとしています。

なお、基本計画では、持続可能性の向上、ブランド力の向上、コミュニティ力の向上を重点テーマとして位置付けており、第 2 期草加市版総合戦略においても、重点テーマに位置付けられる事業を優先的に取り組んでいくこととしています。

3 | 行政評価

【行政評価とは】

行政評価は、効果的・効率的で、市民満足度を高める行政運営のため、市の施策や事業を、客観的・多角的に評価・検証し、より良い行政サービスにつなげていくために実施するものです。

市では既に、平成 11 年度から事務事業評価に、平成 18 年度からは施策レベルでの評価に取り組んでいますが、平成 28 年度から「第四次草加市総合振興計画」が開始されたことを契機として、「地域の豊かさ」を創出し、「快適都市」を実現するため、新たな行政評価に取り組んでいます。

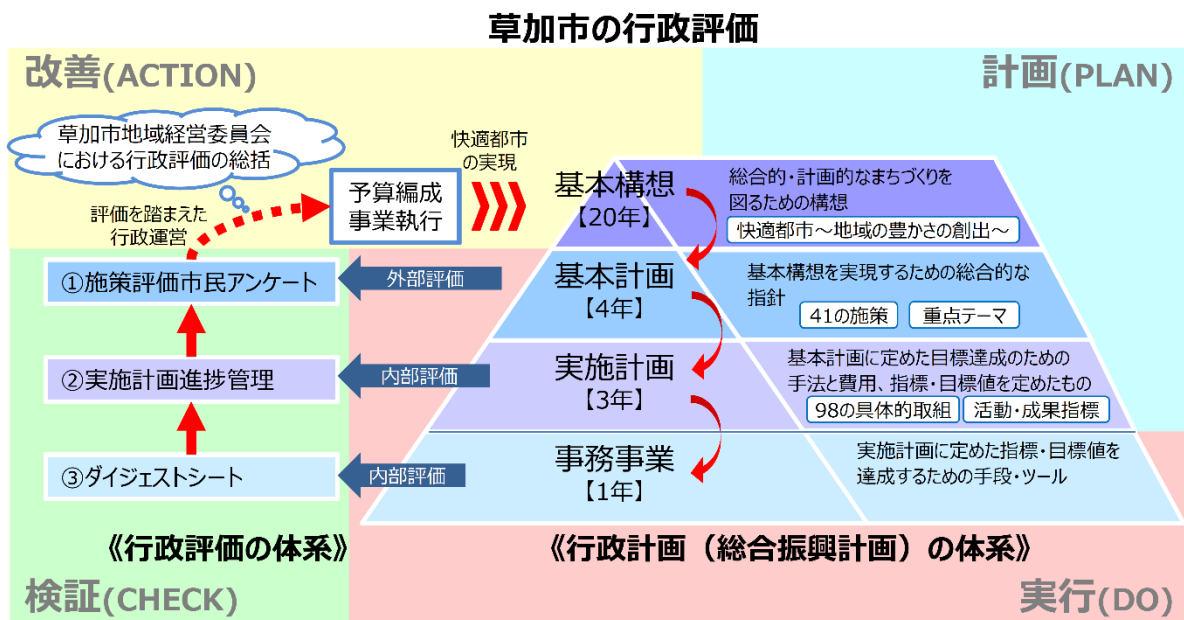
【第2期草加市版総合戦略の行政評価】

第2期草加市版総合戦略は、市の最上位計画である基本計画と同じ方向にすることで、重点的な事業推進を図ります。また、第2期草加市版総合戦略に掲載する事業や重要業績評価指標（KPI）等と草加市総合振興計画実施計画との整合性を図ることで、一体的な行政評価を行います。5ページに第2期草加市版総合戦略と草加市総合振興計画実施計画の対応表を示しています。

【草加市の行政評価】

「第四次草加市総合振興計画」では、限られた財源を適切に配分し、その中で最大限の効果を生み出すため、計画（PLAN）－実行（DO）－検証（CHECK）－改善（ACTION）の仕組みをさらに強化するなど、財政運営システムを再構築することを目指しています。

そこで市では、評価の定義や範囲を下記の図のとおりとし、基本構想、基本計画の実現に向けた指標や目標を設定した上で、評価を行っています。



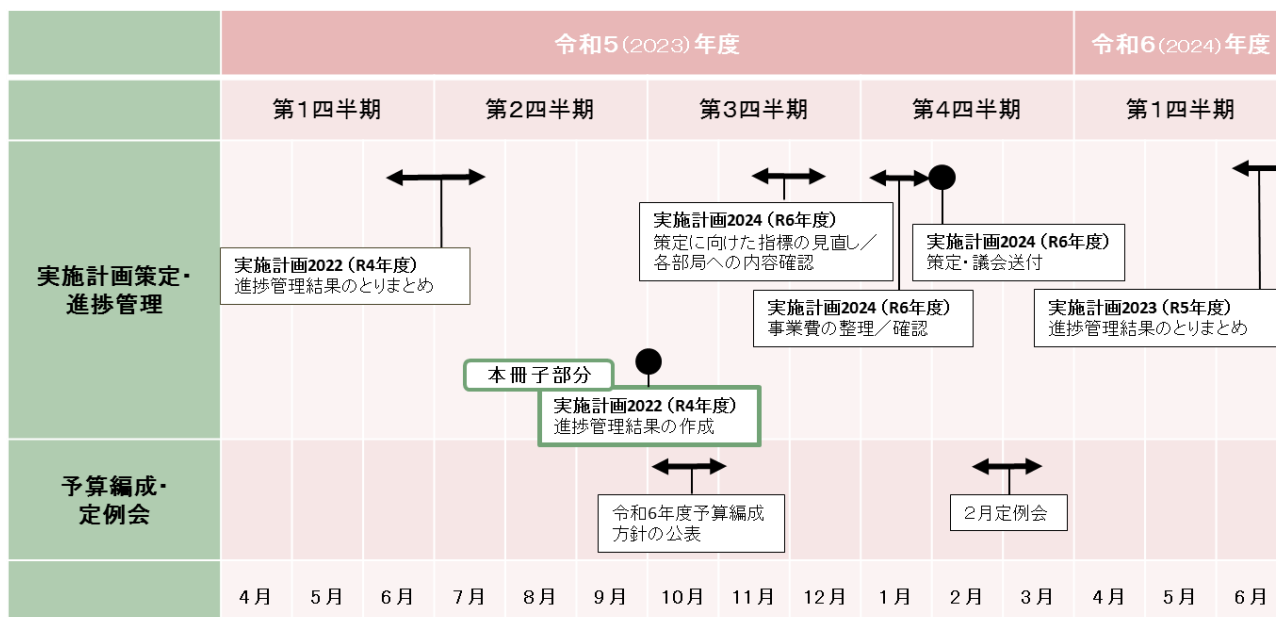
①施策評価市民アンケート | 施策評価（外部評価）

「基本計画」における41の施策（分野別の基本的な計画）を対象に、市民の皆様がどのように感じているのか、その満足度・重要度をお伺いするものです。

②実施計画進捗管理 | 施策評価（内部評価）

「実施計画」において施策ごとに設定した指標の達成状況と、今後の課題等について整理をするものです。また、評価結果にもとづき、各施策の具体的取組の方向性を検討し、新たな実施計画の「策定方針」の策定につなげます。

実施計画にもとづく進捗管理のスケジュール



③ダイジェストシート | 事務事業評価（内部評価）

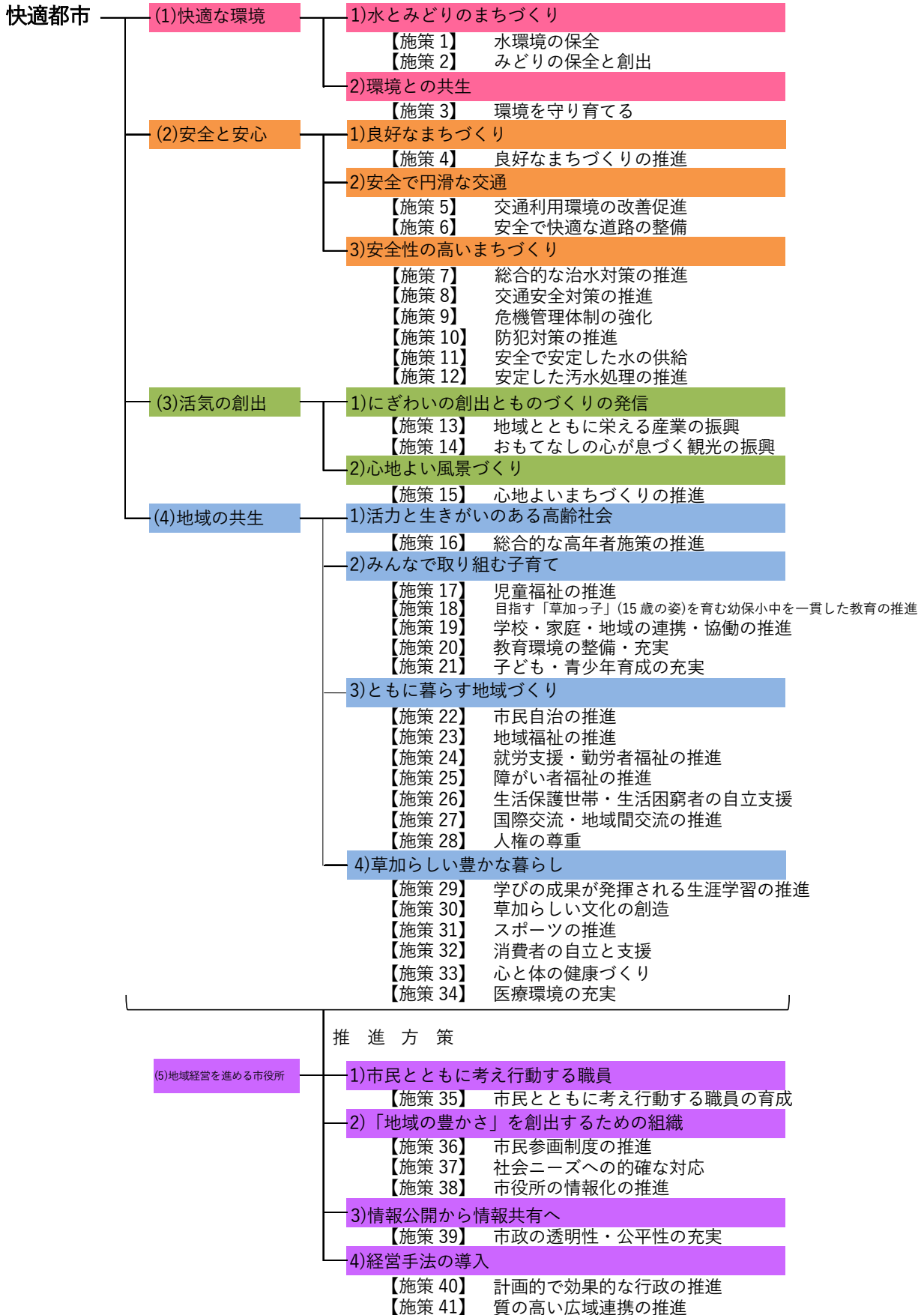
各事務事業の事業費と、「必要性」・「効率性」・「有効性」・「貢献度」・「優先性」を検証するものです。

【行政評価の結果の活用】

各評価結果は、より効率的・効果的な行政運営のため予算編成や事業の執行において活用していきます。

また、外部委員で構成する草加市地域経営委員会では、市民満足度を向上させるため、評価結果をもとに施策等を検討し、行政評価の総括を行っていきます。

4 | 基本計画の体系



5 | 第2期草加市版総合戦略と実施計画2022との対応表

第2期草加市版総合戦略			実施計画2022	
基本目標	施策	施策の柱	施策番号	施策の柱
基本目標1 草加市における産業の活性化と安定した雇用に創出する	(1) 地域とともに栄える産業のまち、可能性のある未来を創出し、若い世代・子育て世代・高齢者世代等、誰もがいきいきと働けるまちをめざして	①にぎわいの創出	13	1
		②ものづくりの振興	13	2
		③中小企業の経営支援	13	3
		④地場産業の育成	13	4
		⑤都市農業の振興	13	5
		⑥就労の安定支援	24	1
		⑦勤労者福利厚生の実施	24	2
基本目標2 結婚・出産・子育ての希望をかなえる	(1) 地域ぐるみで子どもを見守り、結婚・出産・子育て支援が充実したまち、切れ目のない支援体制の整備をめざして	①子育て支援の推進	17	1
		②安全安心な保育の推進	17	2
		③子どもの発達支援	17	3
		④子育て世帯への経済的支援	17	4
	(2) 世界に通用するグローバル人材を育てる、公平で質の高い、独自性を持った教育環境の整備をめざして	①子ども教育の連携の推進	18	1
		②自ら学ぶ「草加っ子」の育成	18	2
		③心豊かな「草加っ子」の育成	18	3
		④たくましく生きる「草加っ子」の育成	18	4
		⑤多様なニーズに対応した教育と支援の実施	18	5
		⑥地域とともにある学校づくりの推進	19	1
		⑦安全安心な学校教育施設の整備・充実	20	1
		⑧学習環境の整備・充実	20	2
		⑨人権教育の推進	28	3
	(3) 個性を伸ばし、社会性と人間力を備えた青少年の育成をめざして	①子どもの居場所づくり	21	1
		②青少年育成の推進	21	2
	(4) 心身ともに健康的な暮らしができる環境をめざして	①乳幼児・妊産婦への健康支援	33	2
		②地域医療体制の推進	34	1
		③健康づくりの啓発と実践	33	1
	基本目標3 ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる	(1) 市民の暮らしを支える交通ネットワークの再構築をめざして	①交通利用環境の改善促進	5
②交通安全意識の啓発・高揚			8	1
③円滑な通行の確保			8	2
(2) 高齢者等が尊厳を持って、健康でいきいきと自立した暮らしができるまちをめざして		①高齢者の自立支援	16	1
		②社会参加と生きがいづくり	16	2
		③在宅要介護者の支援	25	2
		④健康づくりの啓発と実践	33	1
(3) 災害に強く、行政と市民が協力し助け合える、安全で安心なまちをめざして		①消防力の強化	9	2
		②地域防災力の強化	9	3
(4) 時代の変化に対応した都市環境の整備をめざして		①計画的な土地利用の誘導	4	1
		②都市核と地域核の形成	4	2
		③良好な市街地の形成	4	3
		④良好な住環境の形成	4	4
(5) 活力のある市民自治とふるさとを実感できるまちづくりをめざして		①魅力ある観光の推進	14	1
		②地縁活動の推進	22	1
		③市民活動の推進	22	2
		④生涯を通じた多様な学習機会の充実	29	1
		⑤公民館・文化センターの整備と生涯学習環境の充実	29	2
		⑥文化遺産の発掘・保存・活用の計画的、継続的な取組の推進	29	3
	⑦読書活動を支える図書館サービスの充実	29	4	
	⑧草加らしい文化の創造	30	1	
	⑨他自治体、大学、企業等との連携の推進	41	1	

【第2期草加市版総合戦略 数値目標に対する令和4年度実績】

基本目標で設定した数値目標	目標値 (R6年度)	R4実績値 (※)
基本目標1 市内従業者数の維持	71,000人	71,466人 (R3)
基本目標2 草加市の合計特殊出生率の向上	1.5	1.09 (R3)
基本目標3 暮らしやすいと感じる人の割合の向上	62%以上	59.3% (R4)

※実績値については、調査時期等の都合上、把握できる最新の数値を記載しました。

II 非運動・ 数値化可能	I 運動・ 数値化可能
IV 非運動・ 数値化困難	III 運動・ 数値化困難

1 | 概要

市内の河川における油、着色水の流出、魚の異常死等の水質異常に対して、調査、及び原因の特定を行い、再発防止を行っています。



2 | 活動指標

[定性指標]

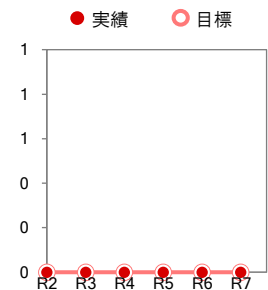
河川異常水質事故に対して、現地調査、原因の特定を行います。
河川異常水質事故の原因者に適切な指導を行います。

▶ R4実績

河川異常水質事故に対して、現地調査、被害拡大防止対策、原因の特定等を迅速に実施しました。
また、再発防止に向けて、原因者に適切な指導を実施しました。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
-	目標	-	-	-	-	-	-
	実績	-	-	-	-	-	-
	評価	-	-	-	-	-	-



3 | 成果指標

[定性指標]

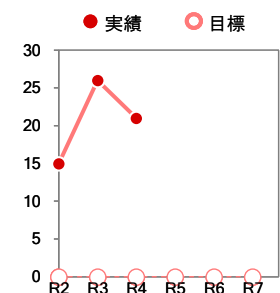
河川異常水質事故の再発を防止します。

▶ 評価 ▶ R4実績

- -

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
河川異常水質事故件数	目標	0	0	0	0	0	0
	実績	15	26	21			
	評価	▲	▲	▲			



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

令和4年度は、前年度に比べて異常水質事故が5件減少しましたが、目標値ゼロを達成することはできませんでした。異常水質事故の状況としましては、市内河川、水路での油や着色水等によるものでしたが、迅速な対応を行い、いずれも大規模な異常水質事故には至りませんでした。活動指標としている事業以外の要素にも左右されやすい成果ですが、目標値ゼロの達成を目指して、引き続き再発防止に努めてまいります。

目標を達成した指標についての今後の課題等

II	非連動・ 数値化可能	I	連動・ 数値化可能
IV	非連動・ 数値化困難	III	連動・ 数値化困難

1 | 概要

葛西用水路の護岸整備を行っています。



2 | 活動指標

[定性指標]

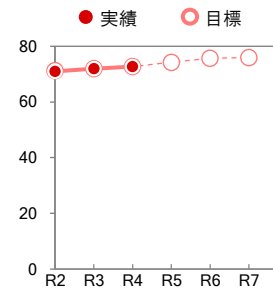
▶ R4実績

葛西用水路の親水護岸を整備します。

—

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
葛西用水路の親水護岸整備率	%	目標	71.3	72.0	72.7	74.3	75.7	76.0
親水護岸整備率 = 整備済延長 ÷ 整備対象延長 (対象7,000m)		実績	71.0	72.0	72.7			
		評価	▲	○	○			



3 | 成果指標

[定性指標]

▶ 評価 ▶ R4実績

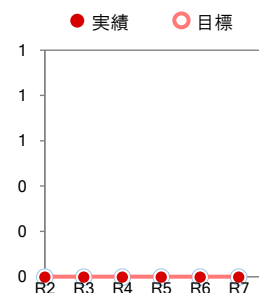
水に親しめる親水空間機能を保全するなど、水と緑を活かした親水空間の確保を図ります。

○

水に親しめる場の提供として、護岸の改修を行い、親水空間の機能の保全を行いました。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
—	—	目標	—	—	—	—	—
		実績	—	—	—	—	—
		評価	—	—	—	—	—



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

目標を達成した指標についての今後の課題等

洗掘され、傷んでいる護岸について、親水化を踏まえた改修が必要となります。また、埼玉県が取り組んでいる水辺周辺活用（農業用水）事業の採択を受け、今後も地域の特性を生かした水辺空間の整備・拡充を継続的に実施していく必要があります。

(1) 快適な環境～環境にやさしい水とみどりのまちをつくる
1) 水とみどりのまちづくり

指標コード 0201

指標タイプ

施策 | 02 みどりの保全と創出

施策の柱 | 01 みどりの保全

担当部局 | 都市整備部
担当課 | みどり公園課

II 非連動・ 数値化可能	I 連動・ 数値化可能
IV 非連動・ 数値化困難	III 連動・ 数値化困難

1 | 概要

快適な生活環境を形成するための要素の1つである身近なみどりを効果的に保全していくため、葛西用水沿いの桜並木などの水辺空間やその周辺のみどり、また、国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」をはじめとする歴史・文化資源と一体を成すみどりなど、市を代表する身近なみどりを保全しています。



2 | 活動指標

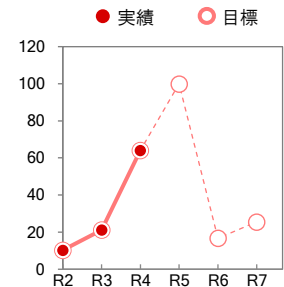
[定性指標]

▶ R4実績

葛西用水桜並木保全管理計画に基づき、葛西用水沿いの桜並木を計画的に保全します。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
葛西用水桜並木保全管理計画に基づく第二期基本計画期間内の桜保全事業の進捗率	%	目標	10.3	21.2	64.1	100	16.7	25.5
		実績	10.3	21.2	64.1			
		評価	○	○	○			



3 | 成果指標

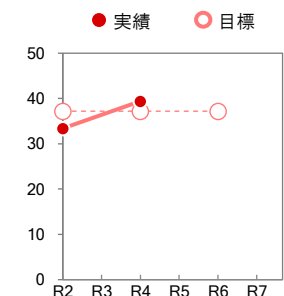
[定性指標]

▶ 評価 ▶ R4実績

公園・広場・緑地に対する満足度の向上をめざします。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
公園・広場・緑地に対する市民の満足度	%	目標	37.2		37.2		37.2
		実績	33.4		39.4		
		評価	▲		○		



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

目標を達成した指標についての今後の課題等

葛西用水桜並木保全管理計画に基づき桜並木の再生工事を実施し、活動指標の数値目標は、目標値を達成しました。引き続き、葛西用水桜並木の魅力を高め、公園・広場・緑地に対する満足度の向上を目指します。さらに、葛西用水の桜並木を将来の世代に引き継いでいくため、引き続き同計画に基づく取組を継続してまいります。

令和4年度は、公園・広場・緑地に対する市民の満足度成果指標に掲げる市民満足度が39.4%（令和2年度調査結果から5ポイントアップ）となり、目標を達成することができましたが、今後も葛西用水桜並木の魅力を高め、公園・広場・緑地に対する満足度の向上に努めてまいります。

(1) 快適な環境～環境にやさしい水とみどりのまちをつくる
1) 水とみどりのまちづくり

指標コード 0202

指標タイプ

施策 | 02 みどりの保全と創出

施策の柱 | 02 身近なみどりの創出

担当部局 | 都市整備部
担当課 | みどり公園課

II	非連動・ 数値化可能	I	連動・ 数値化可能
IV	非連動・ 数値化困難	III	連動・ 数値化困難

1 | 概要

身近にみどりを体感でき、地域コミュニティの形成や地域の防災活動にも活用できる地域の拠点となる身近なみどりの創出を図るため、公園が不足している地域における公園整備や借地公園の用地買収などを進めています。また、既存公園についても、公園の更なる利活用に向けた試行としてキッチンカーの誘致や、既存施設の機能の充実を図っています。



2 | 活動指標

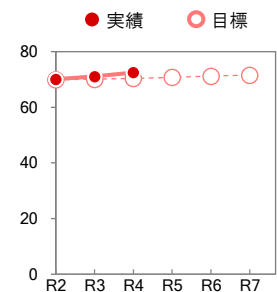
[定性指標]

▶ R4実績

草加市みどりの基本計画に基づき、地域の拠点となる身近な公園・広場の整備を行います。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
市街化区域における公園・広場を歩いて利用できる範囲の割合	%	目標	69.9	70.1	70.4	70.8	71.2	71.6
		実績	70.1	71.1	72.5			
		評価	○	○	○			



3 | 成果指標

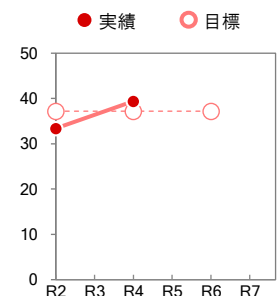
[定性指標]

▶ 評価 ▶ R4実績

公園・広場・緑地に対する満足度の向上をめざします。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
公園・広場・緑地に対する市民の満足度	%	目標	37.2		37.2		37.2
		実績	33.4		39.4		
		評価	▲		○		



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

目標を達成した指標についての今後の課題等

草加市みどりの基本計画に位置付けられた「身近な公園等整備推進エリア」において、つつさと防災公園（新里町）及び吉町あずま公園（吉町一丁目）の新規公園整備を行ったことから、活動指標の数値目標として掲げている「市街化区域における公園・広場を歩いて利用できる範囲の割合」を効果的に上昇させることができ、目標値を達成しました。引き続き新規公園整備を進め、市街化区域における公園を歩いて利用できる範囲を広げていけるように取組んでまいります。令和4年度は、公園・広場・緑地に対する市民の満足度成果指標に掲げる市民満足度が39.4%（令和2年度調査結果から5ポイントアップ）となり、目標を達成することができましたが、引き続き地域の拠点となる身近な公園・広場の充実に資する取組を継続し、満足度の向上に努めてまいります。

施策 | 02 みどりの保全と創出

施策の柱 | 03 市民との協働による身近なみどりづくり

担当部局 | 都市整備部
担当課 | みどり公園課

II	非運動・ 数値化可能	I	運動・ 数値化可能
IV	非運動・ 数値化困難	III	運動・ 数値化困難

1 | 概要

地域の拠点となる身近なみどりを効果的かつ持続的に保全していくため、公園・広場などの市民との協働による維持・保全を推進し、地域コミュニティの醸成と身近なみどりを核としたまちづくりを進めています。



2 | 活動指標

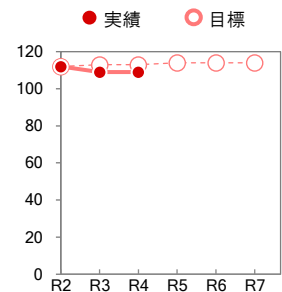
[定性指標]

▶ R4実績

まちづくりの核となる身近な公園・広場などにおいて、市民との協働による維持・保全を進めます。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
市民との協働により管理・運営している公園・広場等の総数	箇所	目標	112	113	113	114	114	114
		実績	112	109	109			
		評価	○	▲	▲			



3 | 成果指標

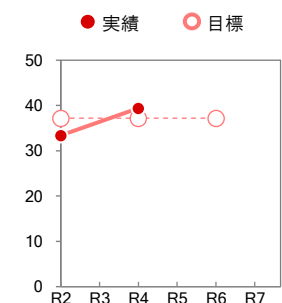
[定性指標]

▶ 評価 ▶ R4実績

公園・広場・緑地に対する満足度の向上をめざします。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
公園・広場・緑地に対する市民の満足度	%	目標	37.2		37.2		37.2
		実績	33.4		39.4		
		評価	▲		○		



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

公園管理者の辞退等により、指標の数値目標を達成することができませんでした。

市民との協働により管理・運営している公園数の増加については、地域活動団体の増加が必要ですが、会員の高齢化等に伴い活動が縮小傾向にあり、団体数の増加は困難な状況にあります。しかしながら、新規公園整備時に、周辺町会等への維持管理に関する協力について理解を得ていくなど、地域における身近なみどりの推進、並びに担い手の育成に向けた取組を継続していきます。

目標を達成した指標についての今後の課題等

令和4年度は、公園・広場・緑地に対する市民の満足度成果指標に掲げる市民満足度が39.4%（令和2年度調査結果から5ポイントアップ）となり、目標を達成することができましたが、今後も葛西用水桜並木の魅力を高め、公園・広場・緑地に対する満足度の向上に努めてまいります。

(1) 快適な環境～環境にやさしい水とみどりのまちをつくる
 2) 環境との共生

指標コード 0301

指標タイプ

施策 | 03 環境を守り育てる

II 非運動・数値化可能 | I 運動・数値化可能

施策の柱 | 01 低炭素型まちづくり

担当部局 | 市民生活部
 担当課 | 環境課

IV 非運動・数値化困難 | III 運動・数値化困難

1 | 概要

市民一人ひとりが環境問題について学び、考え、環境にやさしい行動を積極的に実践できるよう、環境負荷が高くなる夏・冬にエコライフデイを各家庭・個人で設定し取り組んでいただいた結果について報告をお願いします。



2 | 活動指標

[定性指標]

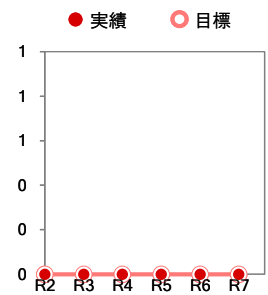
各小学校・中学校での取組をお願いするほか、さらに多くの市民の取組を呼びかけます。
 温室効果ガスの削減につながるよう行動の質の向上を呼びかけます。

▶ R4実績

草加環境推進協議会と協働し、エコライフデイへの取組について小中学校や市職員等の市民へお願いすることで、温室効果ガスの削減の取組について考える一助としました。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
-	目標	-	-	-	-	-	-
	実績	-	-	-	-	-	-
	評価	-	-	-	-	-	-



3 | 成果指標

[定性指標]

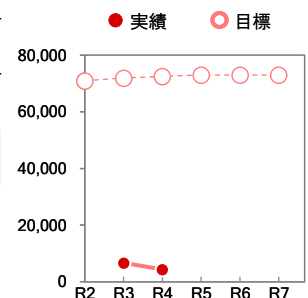
エコライフデイに取り組んだ市民を増やします。
 二酸化炭素排出量を削減します。

▶ 評価 ▶ R4実績

- -

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
エコライフデイへ取り組む市民の数	人	71000	72000	72500	73000	73000	73000
	目標	-	-	-	-	-	-
	実績	-	6658	4307	-	-	-
	評価	-	▲	▲	-	-	-



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

新型コロナウイルスの影響により、令和3年度から取組方法を変更し、例年は紙で提出を求めていたチェックシートを埼玉県電子申請システムに変更した結果、令和4年度においても目標を達成することができませんでした。

目標を達成した指標についての今後の課題等

II	非運動・ 数値化可能	I	運動・ 数値化可能
IV	非運動・ 数値化困難	III	運動・ 数値化困難

1 | 概要

循環型社会の構築に向け、古着、小型家電等拠点回収の実施や不燃ごみ、粗大ごみから選別した有価物を再資源化し売却するなど、資源の有効活用を図っています。また、粗大ごみとして収集した使用可能な家具等のリユース品の展示販売や海外向けに自転車等の一部売却事業のほか、不燃ごみとして出されたまだ使用できるリサイクル傘の公共施設における貸与事業など、資源の再利用を促進するとともに、廃棄物処理施設の施設見学や講座等の啓発活動により市民意識の向上を図り、ごみの減量化を推進しています。



2 | 活動指標

【定性指標】

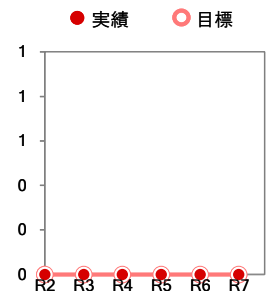
不燃ごみ等の有価物回収における「リサイクル」の取組み、粗大ごみとして収集した再使用可能な家具等の展示販売や公共施設におけるリサイクル傘の貸与による「リユース」の取組みを実施します。また、ごみ収集カレンダー、ごみ分別アプリ等による情報提供や出前講座などを通じて、ごみの分別方法や3Rについて周知啓発し、市民によるごみの発生抑制、「リデュース」の取組み向上を図ります。

▶ R4実績

資源の有効活用を目的にごみ収集カレンダー、ごみ分別アプリ等による分別方法などについての情報提供を行ったほか、出前講座などを通じて、3Rや食品ロス削減に関する事項について周知啓発を行いました。また、粗大ごみとして収集したもので再利用可能な家具などをリユース品として販売する事業や拠点回収事業（古着・古布、廃食油、せともの類）についても継続的に実施し、ごみの減量化を推進しました。

【定量指標】（数値目標）

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
-	目標	-	-	-	-	-	-
	実績	-	-	-	-	-	-
	評価	-	-	-	-	-	-



3 | 成果指標

【定性指標】

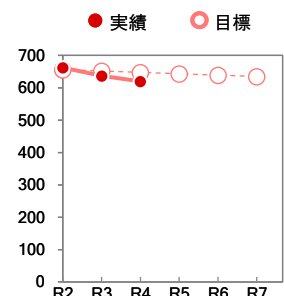
資源の再利用を促進し、環境への負荷の少ない循環型社会の構築に向けて、市民1人1日当たりのごみ排出量の減量化を図り、各年度の目標値を達成することを目指します。

▶ 評価 ▶ R4実績

- -

【定量指標】（数値目標）

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
市民1人1日当たりのごみ排出量	目標	656.2	651.9	647.7	643.4	639.1	634.9
	実績	662.2	636.8	619.8			
	評価	▲	○	○			



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

目標を達成した指標についての今後の課題等

さらなる資源化率の向上に向けては、市民一人ひとりのごみの減量や3R等に関する事項の意識の醸成が必要と考えております。今後においても、リユース品の販売事業、拠点回収事業などを継続的に実施するほか、出前講座などの周知活動についても継続的に行い、ごみ減量に向けた普及啓発に取り組めます。

(1) 快適な環境～環境にやさしい水とみどりのまちをつくる
 2) 環境との共生

指標コード 0303

指標タイプ

施策 | 03 環境を守り育てる
 施策の柱 | 03 自然共生型まちづくり

II 非連動・ 数値化可能	I 連動・ 数値化可能
IV 非連動・ 数値化困難	III 連動・ 数値化困難

担当部局 | 市民生活部
 担当課 | 環境課

1 | 概要

市内に生息・生育する動植物等の多様性を保全するため、生きもの調査を実施し、自然環境の保全に活用しています。



2 | 活動指標

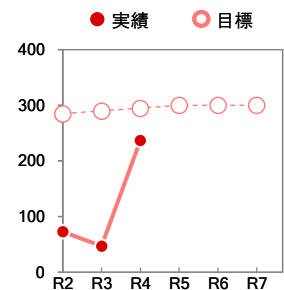
[定性指標]

▶ R4実績

市民・事業者と協力し自然観察会を兼ねた生きもの調査を実施します。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
市民参加による生きもの調査会への参加者数	人	目標	285	290	295	300	300	300
		実績	73	47	237			
		評価	▲	▲	▲			



3 | 成果指標

[定性指標]

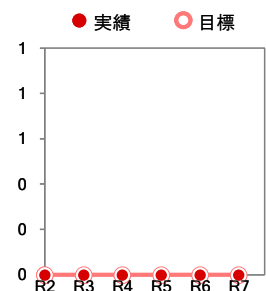
▶ 評価 ▶ R4実績

身近な自然環境の状況を市民や事業者自身が調査することにより生物多様性についての理解を深めます。
 また、調査結果を草加の自然や生きものパンフレット等に活かし、学習教材として活用することで広く自然環境の保全や生物多様性の理解を深めます。

- 新型コロナウイルスの影響のため、参加者数を制限しながらも、当初予定していた全7回の生きもの調査会を実施しました。併せて個別調査の実施やそうか生きものだよりを発行することで、生きもの所在等の普及を図ることができました。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
-	-	目標	-	-	-	-	-
		実績	-	-	-	-	-
		評価	-	-	-	-	-



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

目標を達成した指標についての今後の課題等

新型コロナウイルスの影響のため、参加者数の制限等を行いました。市民参加による生きもの調査会を実施するとともに、個別調査の実施やそうか生きものだよりの発行、河川にすむ水生生物調査を行い、自然環境の保全や生物多様性の理解を深めることができました。引き続き生物多様性への普及啓発を進めるため、参加者数を増やしていく必要があります。

II	非連動・ 数値化可能	I	連動・ 数値化可能
IV	非連動・ 数値化困難	III	連動・ 数値化困難

1 | 概要

伝染病の発生や媒介を未然に防止し、衛生的で快適な生活環境の確保を図るため、殺そ剤（ネズミが摂取し駆除されることを目的とする薬剤）の配布を行っています。



2 | 活動指標

[定性指標]

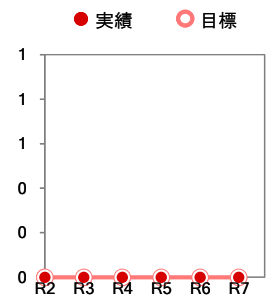
ネズミの駆除を希望する市民に対し、殺そ剤を配布します。

▶ R4実績

ネズミ駆除のため、希望する市民に対して殺そ剤を配布しました。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
-	目標	-	-	-	-	-	-
	実績	-	-	-	-	-	-
	評価	-	-	-	-	-	-



3 | 成果指標

[定性指標]

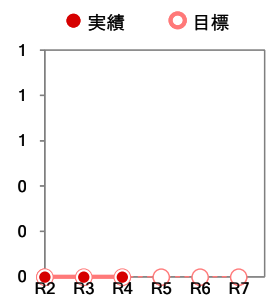
ネズミが駆除されることにより、伝染病の発生や媒介を未然に防止します。

▶ 評価 ▶ R4実績

- -

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
ネズミによる伝染病の発生件数	目標	0	0	0	0	0	0
	実績	0	0	0	-	-	-
	評価	○	○	○	-	-	-



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

目標を達成した指標についての今後の課題等

適切な殺そ剤の取扱い説明をし、ネズミによる伝染病の発生防止に努めます。

II 非連動・ 数値化可能	I 連動・ 数値化可能
IV 非連動・ 数値化困難	III 連動・ 数値化困難

1 | 概要

本市の将来都市構造を定めている草加市都市計画マスタープランにもとづき、ハード整備とソフト政策が連携したまちづくりを進めていきます。具体的には市内10のコミュニティブロックごとに、地区の皆様との話し合いを通じて、都市計画マスタープランに掲げる各地区の将来像を実現するための具体的な行動計画として、地区ごとにコミュニティプランの策定を検討します。



2 | 活動指標

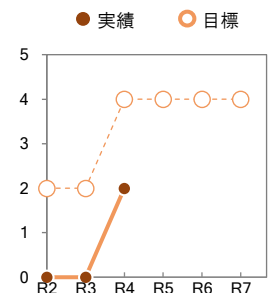
[定性指標]

▶ R4実績

市内10のコミュニティブロックごとに懇談会の場を設け、話し合いの場を通じて、地区ごとのコミュニティプランを策定します。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
コミュニティプラン策定地区数(累計地区数)	地区	目標	2	2	4	4	4	4
		実績	0	0	2			
		評価	▲	▲	▲			



3 | 成果指標

[定性指標]

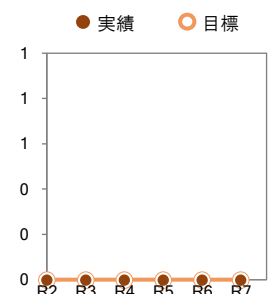
▶ 評価 ▶ R4実績

コミュニティプランを策定した地区において、策定後も地区のまちづくりを議論するプラットフォームとしての地区別懇談会が自立的に開催され、コミュニティプランに掲げるプロジェクトの実現に向けた協働のまちづくりを進めることを目指します。

▲ 先行して策定に取り組んだ新田西部地区・谷塚中央地区でコミュニティプランが完成し、地区のまちづくりを議論するプラットフォームである円卓会議を実施しました。草加川柳地区・草加西部地区では、新型コロナウイルスまん延の影響もあり、地区別懇談会の回数が当初予定よりも少なくなっており、令和5年度に完成予定です。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
-	-	目標	-	-	-	-	-
		実績	-	-	-	-	-
		評価	-	-	-	-	-



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

草加川柳地区・草加西部地区では令和2年度からコミュニティプランの策定に取り組んでいましたが、新型コロナウイルスのまん延した時期と重なり、当初予定していた回数を開催することができませんでした。令和5年度の早期に地区別懇談会を開催し、コミュニティプランを完成、その後は円卓会議への移行を進めていきます。

目標を達成した指標についての今後の課題等

(2) 安全と安心～人にやさしい安心して住み続けられるまちをつくる
1) 良好なまちづくり

施策 | 04 良好なまちづくりの推進

施策の柱 | 02 都市核と地域核の形成

指標コード 0402

担当部局 | 都市整備部
担当課 | 新田駅周辺事務土地
区画整理事務所

指標タイプ

II	非連動・ 数値化可能	I	連動・ 数値化可能
IV	非連動・ 数値化困難	III	連動・ 数値化困難

1 | 概要

新田駅東口・西口地区において、土地区画整理事業による総合的な公共施設整備により、駅周辺の利便性の向上、土地の有効利用を図り、草加市北部の拠点として、災害に強く、駅周辺にふさわしい環境づくりを進めています。



2 | 活動指標

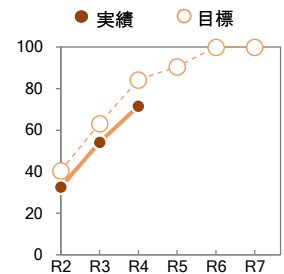
[定性指標]

▶ R4実績

工事を進めるために建築物の移転を行い、道路や公園などの整備を進めます。

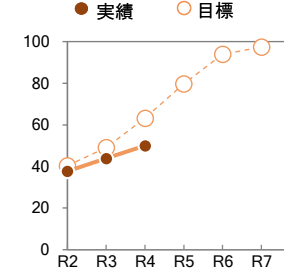
[定量指標] (数値目標)

指標	単位		第二期基本計画期間				第三期基本計画	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
【新田駅東口】 既存建物の移転率 (追加移転棟数÷総移 転棟数)	%	目標	40.5	63.2	84.2	90.5	100	100
		実績	32.6	54.2	71.6			
		評価	▲	▲	▲			



[定量指標] (数値目標)

指標	単位		第二期基本計画期間				第三期基本計画	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
【新田駅西口】 既存建物の移転率 (追加移転棟数÷総移 転棟数)	%	目標	40.4	49.1	63.2	79.8	93.9	97.4
		実績	37.7	43.9	50.0			
		評価	▲	▲	▲			



3 | 成果指標

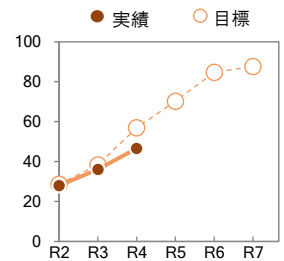
[定性指標]

▶ 評価 ▶ R4実績

道路や公園などが整備されることにより利便性、防災性が向上し災害に強い安心安全な街を形成します。

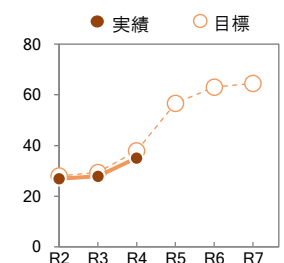
[定量指標] (数値目標)

指標	単位		第二期基本計画期間				第三期基本計画	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
【新田駅東口】 宅地の供用開始率 (通 加使用収益開始地積÷ 整理後宅地地積)	%	目標	28.7	38.3	56.9	70.3	84.7	87.7
		実績	28	36.1	46.6			
		評価	▲	▲	▲			



[定量指標] (数値目標)

指標	単位		第二期基本計画期間				第三期基本計画	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
【新田駅西口】 宅地の供用開始率 (通 加使用収益開始地積÷ 整理後宅地地積)	%	目標	28	29.4	37.9	56.7	63.1	64.5
		実績	26.9	27.9	35.1			
		評価	▲	▲	▲			



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

移転補償交渉が難航したことが要因であると考えられます。中断（仮住まい）を伴う、建物移転を進める必要があることから、権利者への丁寧な説明に努め、粘り強く補償交渉を行い、円滑に移転を遂行する必要があります。

目標を達成した指標についての今後の課題等

宅地の使用収益開始に向けて、着実に工事を実施し、遅滞がないように移転を遂行していく必要があります。

II 非連動・ 数値化可能	I 連動・ 数値化可能
IV 非連動・ 数値化困難	III 連動・ 数値化困難

1 | 概要

快適な居住環境と災害に強い安全で良好な市街地を形成するため、宅地開発等を行う際、開発計画の審査、開発行為等に関する事前協議、開発許可等の法定諸手続を行い、都市計画法や草加市開発事業等の手続及び基準等に関する条例に適合する適正な宅地開発等を誘導しています。



2 | 活動指標

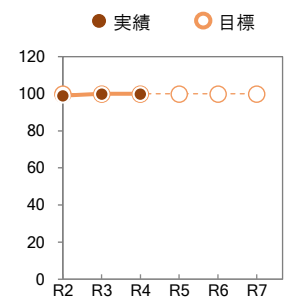
[定性指標]

▶ R4実績

都市計画法や草加市開発事業等の手続及び基準等に関する条例にもとづく事前協議における各課協議、技術基準の適合について適切な指導を行うことで、適正な宅地開発を誘導します。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
都市計画法及び条例にもとづく検査済証交付件数 ÷ 都市計画法にもとづく開発許可件数及び条例にもとづく事前協議締結件数	%	目標	100	100	100	100	100
		実績	99	100	100		
		評価	▲	○	○		



3 | 成果指標

[定性指標]

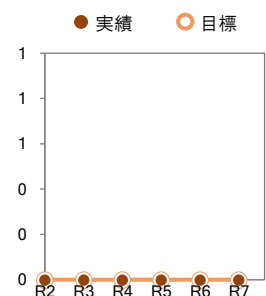
▶ 評価 ▶ R4実績

適正な宅地開発の誘導により、良好な市街地の形成を図ります。

○ 適正な宅地開発の誘導により、良好な市街地の形成を図りました。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
-	-	目標	-	-	-	-	-
		実績	-	-	-	-	-
		評価	-	-	-	-	-



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

目標を達成した指標についての今後の課題等

引続き、同条例に基づく事前協議における各課協議、技術基準の適合について適切な指導を行い、適正な宅地開発を誘導していきます。

(2) 安全と安心～人にやさしい安心して住み続けられるまちをつくる
1) 良好なまちづくり

指標コード 0404

指標タイプ

施策 | 04 良好なまちづくりの推進

II 非連動・数値化可能 | I 連動・数値化可能

施策の柱 | 04 良好な住環境の形成

担当部局 | 市民生活部
担当課 | 暮らし安全課

IV 非連動・数値化困難 | III 連動・数値化困難

1 | 概要

不適正な管理の状態にある空き家について、所有者・管理者の調査を行い、必要に応じて所有者・管理者に対して空き家の適正な管理を促しています。



2 | 活動指標

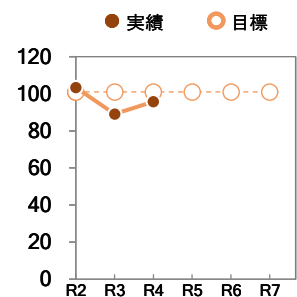
[定性指標]

▶ R4実績

不適正な管理の状態にある空き家の所有者・管理者に対して空き家の適正な管理を促します。 -

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
不適正管理な状態にある空き家の所有者・管理者に対する指導等により改善した割合（改善空き家数／相談件数×100）	目標	101	101	101	101	101	101
	実績	103.4	89.1	95.8			
	評価	○	▲	▲			



3 | 成果指標

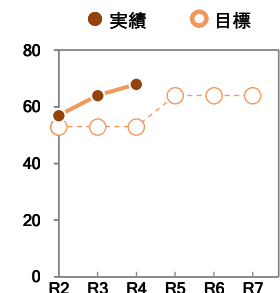
[定性指標]

▶ 評価 ▶ R4実績

不適正な管理の状態にある空き家の増加を抑制させます。 - -

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
不適正な管理状態にある空き家の件数	目標	53	53	53	64	64	64
	実績	57	64	68			
	評価	▲	▲	▲			



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

相談を受け付けた件数（71件）よりも、解決に至った空き家の件数（68件）のほうが少ないことから、不適正な管理状態にある空き家の総数が増加したものです。

要因の一つとして、令和3年度と比較し、管理不全空き家の相談件数が増加したことにより、本市が対応を実施する管理不全空き家の総数が増加したことがあげられます。

また、別の要因としては、解決が困難な空き家が毎年、蓄積されていくことにあります。解決が困難な空き家とは、所有者の所在が不明であったり、多人数での共有状態であったり、土地と建物とで所有者が異なっている等、本市から所有者への働きかけや、所有者側での合意形成が困難な空き家であり、解決に苦慮しています。

目標を達成した指標についての今後の課題等

1 | 概要

草加市地域公共交通会議において、公共交通再編計画に位置付けられたバス路線の導入に向け、協議・検討を行っています。また、地域公共交通再編計画に基づき、平成28年4月8日よりコミュニティバスを運行を開始しました。この運行は、5年間の試験運行として、利用状況を見定める中で、地域公共交通会議にて検証を図るとともに、4年目以降に継続又は廃止の検討を行います。



2 | 活動指標

[定性指標]

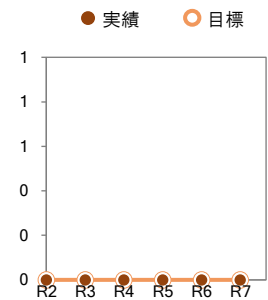
バス交通の利便性向上のため、路線の新設・再編などに関し、バス事業者や関係機関との協議・調整を行います。また、公共交通再編計画で位置付けられた路線の導入に向けた検討を行うとともに、コミュニティバスの運行事業者に対する補助・支援を行い、検証作業を進めます。

▶ R4実績

路線の再編や維持などに関し、バス事業者や関係機関との協議・調整を行いました。また、コミュニティバスの運行事業者に対する補助・支援を行うとともに、試験運行中の新田ルートの利用状況を鑑み、改善運行計画を策定しました。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
-	目標	-	-	-	-	-	-
	実績	-	-	-	-	-	-
	評価	-	-	-	-	-	-



3 | 成果指標

[定性指標]

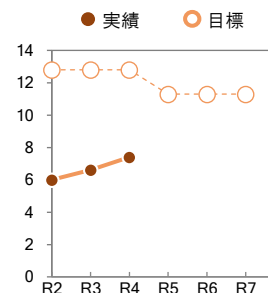
バス利用率の増加を図るとともに、交通不便地域を解消します。

▶ 評価 ▶ R4実績

- -

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
コミュニティバス乗車 人数 = 市内3路線の コミュニティバスの1便 当たりの平均乗車人数	目標	12.8	12.8	12.8	11.3	11.3	11.3
	実績	6	6.6	7.4			
	評価	▲	▲	▲			



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、コミュニティバスをはじめとする市内公共交通の利用は激減し、その後徐々に回復傾向にありますが、テレワーク等オンライン媒体の新しい生活様式が定着したことにより、今後利用者数がコロナ禍前の水準には戻るの難しいと考えられます。

目標を達成した指標についての今後の課題等

II	非運動・ 数値化可能	I	運動・ 数値化可能
IV	非運動・ 数値化困難	III	運動・ 数値化困難

1 | 概要

街路整備計画（総延長70,410m[整備済57,410m]）のうち、谷塚松原線（草加区間[691m]）の工事実施に向けて、用地取得を行っています。



2 | 活動指標

[定性指標]

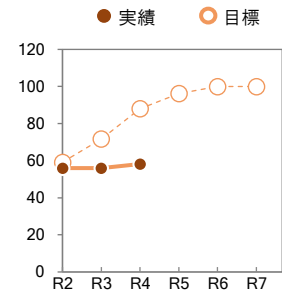
▶ R4実績

谷塚松原線（草加区間）の工事実施に向けて、用地取得を行います。

なお、第二期基本計画期間において、現状の用地取得の進捗状況から見直しを行いました。

[定量指標]（数値目標）

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
谷塚松原線（草加区間）の用地取得率	%	目標	59.2	71.7	88.1	96.2	100	100
		実績	56.0	56.0	58.2			
		評価	▲	▲	▲			



3 | 成果指標

[定性指標]

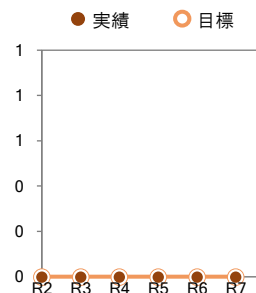
▶ 評価 ▶ R4実績

国道、県道などへのアクセス機能を有する道路として、自動車交通の円滑化を図るとともに、密集市街地における大地震時の避難道路、消防活動空間、延焼遮断帯及び緊急物資の輸送路となる街路の整備を図ります。

▲ 用地取得について、令和4年度は1件で約182.3m²の用地を取得しました。令和5年度についても、継続して用地の取得を進めます。

[定量指標]（数値目標）

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
-	-	目標	-	-	-	-	-
		実績	-	-	-	-	-
		評価	-	-	-	-	-



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

谷塚松原線(草加区間)の用地取得について、新型コロナウイルスの影響で交渉に支障を来しており、地権者及び関係人との交渉に時間を要していることから、目標値を下回りました。

目標を達成した指標についての今後の課題等

(2) 安全と安心～人にやさしい安心して住み続けられるまちをつくる
2) 安全で円滑な交通

指標コード 0602

指標タイプ

施策 | 06 安全で快適な道路の整備

施策の柱 | 02 生活道路の整備

担当部局 | 建設部
担当課 | 道路整備課

II	非連動・ 数値化可能	I	連動・ 数値化可能
IV	非連動・ 数値化困難	III	連動・ 数値化困難

1 | 概要

交通の安全性及び道路排水機能の維持や向上を図るため、道路の改良工事を行っています。



2 | 活動指標

[定性指標]

▶ R4実績

交通の安全性及び道路排水機能の維持や向上を図るため、道路の改良工事を行います。

[定量指標] (数値目標)			第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6	R7
市が管理する道路の改良率	%	目標	90.5	90.8	91.1	91.2	91.4	91.5
		実績	90.2	90.4	90.5			
		評価	▲	▲	▲			

3 | 成果指標

[定性指標]

▶ 評価 ▶ R4実績

都市生活を支える普遍的かつ基礎的な社会資本である道路の機能確保を図ります。

▲ 道路の機能確保と排水機能向上を目的として、歩道整備、側溝敷設及び舗装打換等の道路改良工事を行いました。

[定量指標] (数値目標)			第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6	R7
-	-	目標	-	-	-	-	-	-
		実績	-	-	-	-	-	-
		評価	-	-	-	-	-	-

4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

道路の改良率については、道路改良工事の設計段階において現地踏査を行った結果、当初計画していた整備延長の見直しを行ったことや、開発行為における新設道路の整備延長が想定よりも短かったことなどから、目標値を下回りました。

目標を達成した指標についての今後の課題等

II 非運動・ 数値化可能	I 運動・ 数値化可能
IV 非運動・ 数値化困難	III 運動・ 数値化困難

1 | 概要

市民からの要望や危険箇所の通報及びパトロールで発見した危険箇所等について、緊急性や規模に応じた補修方法などを検討して補修や清掃を行っています。



2 | 活動指標

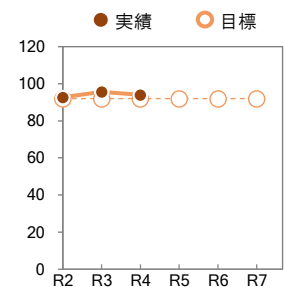
[定性指標]

▶ R4実績

受付した通報や要望、発見箇所について、速やかに現場調査を行い、補修や清掃の必要箇所を順次対応し処理します。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
補修・清掃実施率 = 実施件数 ÷ 補修・清掃必要件数	%	目標	92	92	92	92	92
		実績	92.75	95.60	93.97		
		評価	○	○	○		



3 | 成果指標

[定性指標]

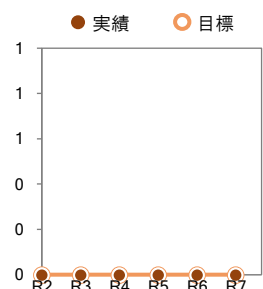
▶ 評価 ▶ R4実績

道路上の穴ぼこ、側溝蓋のガタツキや破損などの道路の不具合について、通報、要望や道路パトロールで発見した箇所の補修や清掃を行い安全で快適な道路機能を維持しました。

○ 道路上の穴ぼこ、側溝蓋のガタツキや破損などの道路の不具合について、通報、要望や道路パトロールで発見した箇所の補修や清掃を行い安全で快適な道路機能を維持しました。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
-	-	目標	-	-	-	-	-
		実績	-	-	-	-	-
		評価	-	-	-	-	-



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

目標を達成した指標についての今後の課題等

未対応箇所について、処理方法を精査し、順次対応を図ります。

II 非連動・ 数値化可能	I 連動・ 数値化可能
IV 非連動・ 数値化困難	III 連動・ 数値化困難

1 | 概要

水路及び排水施設の整備を行っています。



2 | 活動指標

[定性指標]

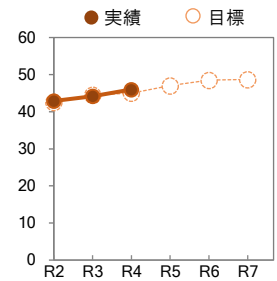
▶ R4実績

水路及び排水施設の整備を行っています。

—

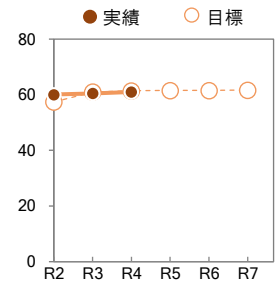
[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
水路・用水の整備率 = 整備延長 ÷ 全体延長 (対象45km)	%	目標	42.5	44.5	45.0	47.0	48.5	48.7
		実績	42.9	44.2	46.0			
		評価	○	▲	○			



[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
浸水解消率 = 整備面積 ÷ 381.8ha (直近(平成16年)の 最大浸水面積)	%	目標	57.4	61	61.4	61.6	61.6	61.7
		実績	60.1	60.5	61.0			
		評価	○	○	▲			



3 | 成果指標

[定性指標]

▶ 評価 ▶ R4実績

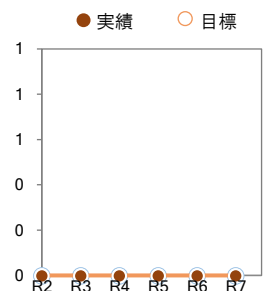
中川・綾瀬川流域基本計画を基本として、水害に強い河川などの整備を促進し、河川・水路の保全や水防体制の充実を図ります。

▲

中川・綾瀬川流域整備計画を基本として、水害に強い河川などの整備を促進し、河川・水路の保全や水防体制の充実を図りました。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
—	—	目標	—	—	—	—	—
		実績	—	—	—	—	—
		評価	—	—	—	—	—



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

工事を繰り越したため、目標に届かない形となりました。

目標を達成した指標についての今後の課題等

引き続き水路整備を促進することや、水路及び排水施設の保全・維持管理として、ストックマネジメント計画に基づき、整備をしていく必要があります。

(2) 安全と安心～人にやさしい安心して住み続けられるまちをつくる
 3) 安全性の高いまちづくり

指標コード 0702

指標タイプ

II	非連動・ 数値化可能	I	連動・ 数値化可能
IV	非連動・ 数値化困難	III	連動・ 数値化困難

施策 | 07 総合的な治水対策の推進

担当部局 | 建設部
 担当課 | 維持補修課

施策の柱 | 02 河川等の保全

1 | 概要

市民からの要望や危険箇所の通報及びパトロールで発見した危険箇所等について、緊急性や規模に応じた補修方法などを検討して補修や清掃を行っています。



2 | 活動指標

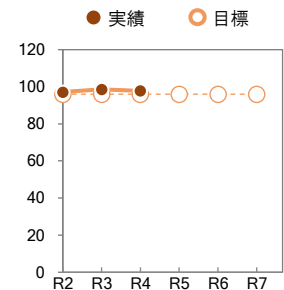
[定性指標]

▶ R4実績

受付した通報や要望、発見箇所について、速やかに現場調査を行い、補修や清掃の必要箇所を順次対応し処理します。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
補修・清掃実施率 = 実施件数 ÷ 補修・清掃必要件数	%	目標	96	96	96	96	96
		実績	97.20	98.60	97.81		
		評価	○	○	○		



3 | 成果指標

[定性指標]

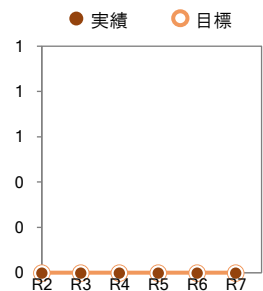
▶ 評価 ▶ R4実績

通報や要望、パトロールで発見した異常箇所について、補修や清掃を迅速に行うことで、水路機能を維持します。

○ 受付した通報、要望やパトロールで発見した箇所の補修や清掃を行い水路機能を維持しました。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
-	-	目標	-	-	-	-	-
		実績	-	-	-	-	-
		評価	-	-	-	-	-



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

目標を達成した指標についての今後の課題等

未対応箇所について、処理方法を精査し、順次対応を図ります。

(2) 安全と安心～人にやさしい安心して住み続けられるまちをつくる
 3) 安全性の高いまちづくり

指標コード 0801

指標タイプ

II 非運動・ 数値化可能	I 運動・ 数値化可能
IV 非運動・ 数値化困難	III 運動・ 数値化困難

施策 | 08 交通安全対策の推進

担当部局 | 市民生活部
 担当課 | 交通対策課

施策の柱 | 01 交通安全意識の啓発・高揚

1 | 概要

第10次草加市交通安全計画に基づき、交通安全教室や街頭キャンペーンなどの実施により、交通安全意識の普及を図り、交通事故の防止に努めています。



2 | 活動指標

[定性指標]

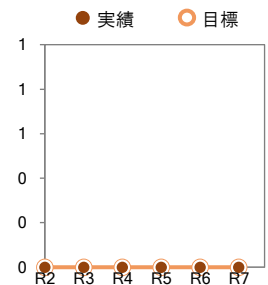
草加市交通安全計画にもとづき、交通安全教室や街頭キャンペーンなどを実施します。

▶ R4実績

交通ルールと正しい交通マナーを遵守することにより交通事故を防止するため、交通安全に係る各種教室や街頭活動等を実施し、交通安全意識の高揚及び交通事故の防止に努めました。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
-	目標	-	-	-	-	-	-
	実績	-	-	-	-	-	-
	評価	-	-	-	-	-	-



3 | 成果指標

[定性指標]

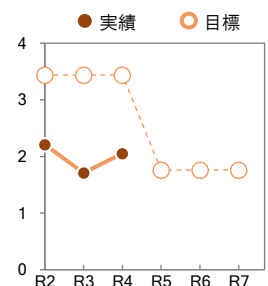
交通事故の発生件数を減少させます。

▶ 評価 ▶ R4実績

- -

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
交通事故発生率 (1月～12月) = 人口1,000人当たりの人身交通事故発生件数	目標	3.44	3.44	3.44	1.76	1.76	1.76
	実績	2.21	1.71	2.05	-	-	-
	評価	○	○	○	-	-	-



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

目標を達成した指標についての今後の課題等

交通安全に係る各種教室や街頭活動等を実施し、交通安全意識の高揚及び交通事故の防止に努めるとともに、自転車事故が多く発生していることから、自転車の安全利用に関する啓発活動が必要であると考えられます。

(2) 安全と安心～人にやさしい安心して住み続けられるまちをつくる
 3) 安全性の高いまちづくり

指標コード 0802

指標タイプ

施策 | 08 交通安全対策の推進

施策の柱 | 02 円滑な通行の確保

担当部局 | 市民生活部
 担当課 | 交通対策課

II	非連動・ 数値化可能	I	連動・ 数値化可能
IV	非連動・ 数値化困難	III	連動・ 数値化困難

1 | 概要

駐輪場への誘導、放置自転車の防止に向けた啓発や放置自転車の撤去活動を強化し、路上駐輪の抑制を図っています。



2 | 活動指標

[定性指標]

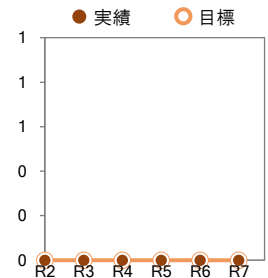
草加市自転車の放置防止に関する条例にもとづき、放置自転車の防止に向けた啓発や放置自転車の撤去及び撤去した自転車の保管と返還などを行います。

▶ R4実績

駅周辺の公共の場所における放置自転車の防止に向けた啓発や、市内全域で放置自転車の撤去を行うとともに、撤去した自転車の保管と返還などを行いました。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
-	目標	-	-	-	-	-	-
	実績	-	-	-	-	-	-
	評価	-	-	-	-	-	-



3 | 成果指標

[定性指標]

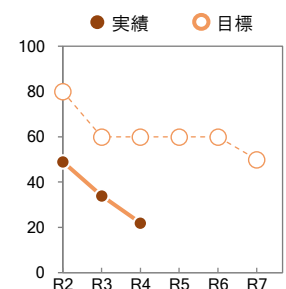
放置自転車数を減らすことなどにより、駅周辺の安全な通行及び良好な環境を確保します。

▶ 評価 ▶ R4実績

- -

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
市内4駅周辺における 昼間の放置自転車数 (午前11時現在)	目標	80	60	60	60	60	50
	実績	49	34	22			
	評価	○	○	○			



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

目標を達成した指標についての今後の課題等

駐輪場への誘導や放置自転車の防止に向けた啓発、放置自転車の撤去活動等を実施し、放置台数は確実に減少していますが、一部の地域では時間帯によって放置自転車が見受けられるため、啓発及び撤去活動等を引き続き行っていきます。

II 非運動・ 数値化可能	I 運動・ 数値化可能
IV 非運動・ 数値化困難	III 運動・ 数値化困難

施策 | 09 危機管理体制の強化

施策の柱 | 01 災害対応力の強化及び危機管理体制の構築

担当部局 | 市長室
 担当課 | 危機管理課

1 | 概要

災害発生の際に市及び防災関係機関が全機能を有効に発揮し、地域の機能並びに市民の生命、身体及び財産を保護することができるよう、防災・危機管理関連計画の整備、市職員への研修等を行っています。



2 | 活動指標

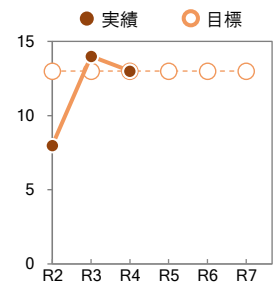
[定性指標]

▶ R4実績

市職員に対し、災害対応・危機管理に関する知識やノウハウの習得する（インプット）研修を実施します。また、培った知識を活かし実際に行動する（アウトプット）ため、訓練を実施し、効果を検証します。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
市職員を対象とした防災研修・訓練の回数	目標	13	13	13	13	13	13
	実績	8	14	13			
	評価	▲	○	○			



3 | 成果指標

[定性指標]

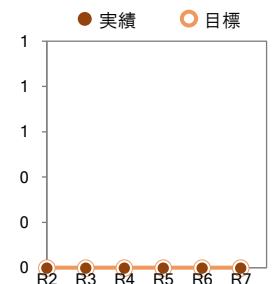
▶ 評価 ▶ R4実績

災害時の対応が円滑に進むよう、草加市防災会議の開催等を通じて、地域防災計画の見直しのほか、市及び防災関係機関との連携強化と役割分担の確認等を行います。

- 地域防災計画（震災対策編、風水害対策編、事故対策編）を改訂に向け、国及び県の定める上位計画との整合を図るための準備を行った。また、資料編については、各部局へ内容について照会し、改定を行いました。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
-	目標	-	-	-	-	-	-
-	実績	-	-	-	-	-	-
-	評価	-	-	-	-	-	-



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

目標を達成した指標についての今後の課題等

地域防災計画（震災対策編、風水害対策編、事故対策編）を改訂したことによって変更された体制の実効性を高めるため、必要な訓練を実施する必要があります。

(2) 安全と安心～人にやさしい安心して住み続けられるまちをつくる
 3) 安全性の高いまちづくり

指標コード 0902

指標タイプ

II 非連動・ 数値化可能	I 連動・ 数値化可能
IV 非連動・ 数値化困難	III 連動・ 数値化困難

施策 | 09 危機管理体制の強化

担当部局 | 市長室
 担当課 | 危機管理課

施策の柱 | 02 消防力の強化

1 | 概要

社会環境の変化に伴い、消防団員数は、減少傾向にあります。草加八潮消防組合では、消防団員の取組内容や募集について、啓発活動を実施し、人員の確保に努めています。



2 | 活動指標

[定性指標]

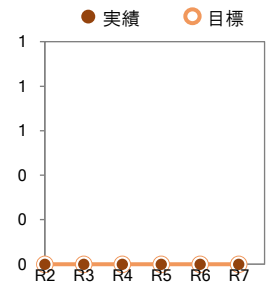
広報紙やホームページのほか、各種イベントなどの機会を通じて、多くの市民に対し、消防団の取組内容や消防団員の募集について周知・啓発を図ります。

▶ R4実績

学生の消防団員を増やすため、学生が消防団員として地域に貢献したことを認証する「学生消防団活動認証証明書」を交付する制度を導入しています。また、各署所及び消防団機械器具置場への募集ポスターの掲示、ホームページへの掲載、役員会等での呼びかけ等により、募集を実施しました。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
-	目標	-	-	-	-	-	-
	実績	-	-	-	-	-	-
	評価	-	-	-	-	-	-



3 | 成果指標

[定性指標]

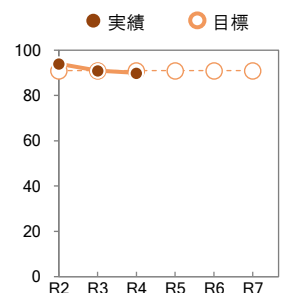
消防団員の取組内容や募集について、啓発活動を実施し、人員の確保に努めます。

▶ 評価 ▶ R4実績

- -

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
草加市消防団の定員充足率 (%: 団員数/条 例定数 230人)	目標	91	91	91	91	91	91
	実績	94	91	90			
	評価	○	○	▲			



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

一定数の入団者はいますが、定年退職・転居等による退団者が入団者数を上回ったため目標達成となりませんでした。

目標を達成した指標についての今後の課題等

- (2) 安全と安心～人にやさしい安心して住み続けられるまちをつくる
- 3) 安全性の高いまちづくり

指標コード 0903

指標タイプ

II 非運動・ 数値化可能	I 運動・ 数値化可能
IV 非運動・ 数値化困難	III 運動・ 数値化困難

施策 | 09 危機管理体制の強化

担当部局 | 市長室
担当課 | 危機管理課

施策の柱 | 03 地域防災力の強化

1 | 概要

「自らのまちは自ら守る」という理念に基づく自主防災組織の育成、避難所運営委員会への支援及び避難所等の防災拠点の機能拡充や資器材等を整備します。



2 | 活動指標

[定性指標]

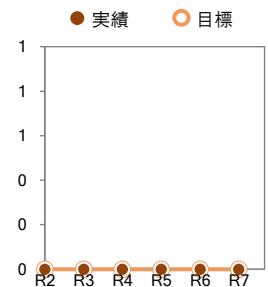
自主的に備蓄品の管理及び訓練が実施できるよう、自主防災組織への補助金交付、避難所運営委員会の運営支援や研修・講座を開催します。

▶ R4実績

自主防災組織134団体に対し、防災資器材等の整備、訓練等に要した費用のうち、5万円を上限として、草加市自主防災組織育成事業補助金として交付しました。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
-	目標	-	-	-	-	-	-
-	実績	-	-	-	-	-	-
-	評価	-	-	-	-	-	-



3 | 成果指標

[定性指標]

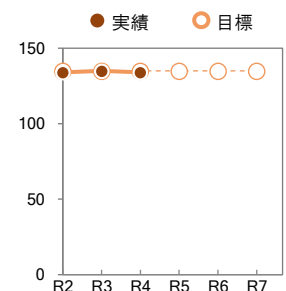
自主防災組織及び避難所運営委員会が、定期的に安定した訓練を実施できるよう支援していきます。

▶ 評価 ▶ R4実績

- -

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
訓練を実施した自主防災会数	目標	135	135	135	135	135	135
	実績	134	135	134			
	評価	▲	○	▲			



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

地域における自助・共助の防災力を高めるには、自主防災組織が先頭となり訓練や啓発を実施することが大切です。一方で、令和4年度も、新型コロナウイルス感染症の終息は見られなかったため、資器材確認や役員による会合・研修などに限定されました。各自主防災組織等で訓練は実施されましたが、結果として目標には届きませんでした。

目標を達成した指標についての今後の課題等

(2) 安全と安心～人にやさしい安心して住み続けられるまちをつくる
 3) 安全性の高いまちづくり

指標コード 1001

指標タイプ

II	非連動・ 数値化可能	I	連動・ 数値化可能
IV	非連動・ 数値化困難	III	連動・ 数値化困難

施策 | 10 防犯対策の推進

担当部局 | 市民生活部
 担当課 | 暮らし安全課

施策の柱 | 01 防犯意識の普及・啓発

1 | 概要

安全で安心して生活できるまちづくりを推進するため、市民一人ひとりが防犯に関心を持ってもらうよう警察、草加八潮地区防犯協会及び町会・自治会と連携し、市民向けの防犯講話や啓発キャンペーンを実施していきます。



2 | 活動指標

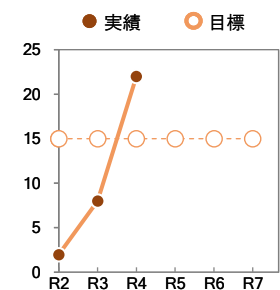
[定性指標]

▶ R4実績

「草加市安全安心まちづくり行動計画」をもとに「草加市安全安心まちづくり推進協議会」にて重点的に取り組む犯罪（特殊詐欺、自転車盗等）や市民生活の安全を脅かす事象などを協議して、防犯講話や啓発キャンペーンの内容を決定します。また、草加警察署と緊密に連携を図り効果的な防犯講話やキャンペーンを実施していきます。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
防犯講話及び啓発キャンペーン実施回数	目標	15	15	15	15	15	15
	実績	2	8	22			
	評価	▲	▲	○			



3 | 成果指標

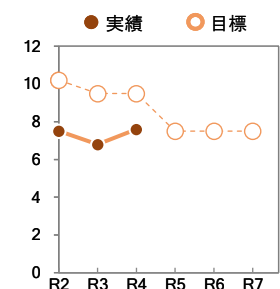
[定性指標]

▶ 評価 ▶ R4実績

防犯講話及び啓発キャンペーンを積極的に実施することにより市民の防犯意識を向上させ犯罪を減少させます。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
人口1,000人当たりの 刑法犯罪認知件数	目標	10.2	9.5	9.5	7.5	7.5	7.5
	実績	7.5	6.8	7.6			
	評価	○	○	○			



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

目標を達成した指標についての今後の課題等

刑法犯罪認知件数は、令和3年までは減少傾向にありましたが、令和4年は増加に転じました。
また、自転車盗難被害も増加したことから、警察をはじめ、その他関係団体との連携を綿密に図り、積極的な啓発活動を行っていきます。

II	非連動・ 数値化可能	I	連動・ 数値化可能
IV	非連動・ 数値化困難	III	連動・ 数値化困難

1 | 概要

全国的に犯罪発生件数は減少傾向を維持していましたが、令和4年は増加に転じました。また、登下校中の児童が犯罪に巻き込まれるなど市民の身近な場所で深刻な犯罪が発生しています。そのため、警察だけではなく町会・自治会をはじめとした地域住民による自発的な防犯活動を行政が支援することでさらなる犯罪発生を抑止を図っていきます。



2 | 活動指標

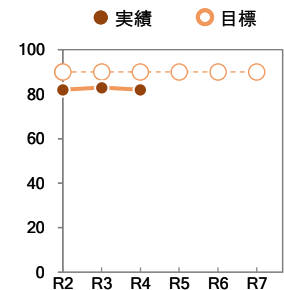
[定性指標]

▶ R4実績

町会・自治会などの自主防犯団体に対して、草加市自主防犯活動補助金交付要綱に基づき、活動に必要な費用を補助するなどして自主防犯団体の育成及び増加を図ります。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
草加市自主防犯活動補助金の交付団体数	目標	90	90	90	90	90	90
	実績	82	83	82			
	評価	▲	▲	▲			



3 | 成果指標

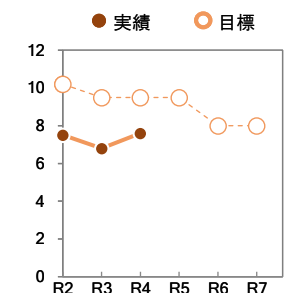
[定性指標]

▶ 評価 ▶ R4実績

自主防犯活動を支援することにより、市民の自発的な防犯活動が活発となり犯罪の発生を減少させます。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
人口1,000人当たりの 刑法犯罪認知件数	目標	10.2	9.5	9.5	9.5	8	8
	実績	7.5	6.8	7.6			
	評価	○	○	○			



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

目標を達成した指標についての今後の課題等

刑法犯罪認知件数は、令和3年まで減少傾向にありましたが、令和4年にかけて増加に転じました。また、自転車盗難被害も増加したことから、警察をはじめ、その他関係団体との連携を綿密に図り、積極的な啓発活動を行ってまいります。

(2) 安全と安心～人にやさしい安心して住み続けられるまちをつくる
 3) 安全性の高いまちづくり

指標コード 1101

指標タイプ

II 非連動・ 数値化可能	I 連動・ 数値化可能
IV 非連動・ 数値化困難	III 連動・ 数値化困難

施策 | 11 安全で安定した水の供給

担当部局 | 上下水道部
 担当課 | 水道工務課

施策の柱 | 01 良質な水の安定供給

1 | 概要

平成26年度に策定した水道施設整備基本計画に基づき、水道管路及び主要浄配水場の配水池について耐震化を行います。



2 | 活動指標

[定性指標]

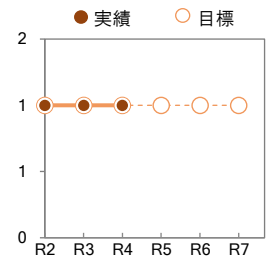
▶ R4実績

平成26年度に策定した水道施設整備基本計画による配水池の耐震化を実施します。

平成27年度に策定した基幹管路実施計画による管路の耐震化を実施します。耐震化率については、毎年度0.5%向上させることを目標とします。

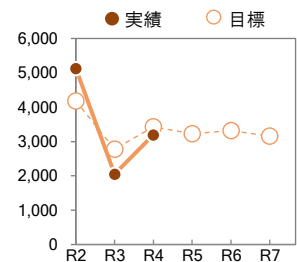
[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
配水池の耐震化数	池	目標	1	1	1	1	1
		実績	1	1	1		
		評価	○	○	○		



[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
耐震管路の布設延長	m	目標	4,180	2,780	3,430	3,230	3,160
		実績	5,126	2,051	3,195		
		評価	○	▲	▲		



3 | 成果指標

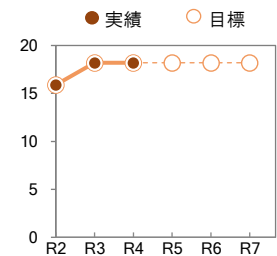
[定性指標]

▶ 評価 ▶ R4実績

東京湾北部地震などの大震災発生時における配水池及び水道管路の被害を減少させ、安全で安定した水の供給をめざします。

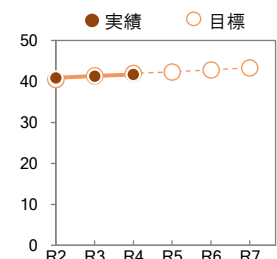
[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
配水池の耐震化率	%	目標	15.9	18.2	18.2	18.2	18.2
		実績	15.9	18.2	18.2		
		評価	○	○	○		



[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
水道管路の耐震化率	%	目標	40.5	41.4	42	42.3	42.8
		実績	40.9	41.3	41.7		
		評価	○	▲	▲		



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

改良工事の一部が近隣工事との工程調整により繰越となったこと、及び関連工事との工程調整により工事を見送ったことから、計画した耐震管路の布設ができなかったためです。

目標を達成した指標についての今後の課題等

(2) 安全と安心～人にやさしい安心して住み続けられるまちをつくる
 3) 安全性の高いまちづくり

指標コード 1201

指標タイプ

施策 | 12 安定した汚水処理の推進

II 非連動・数値化可能 I 連動・数値化可能

施策の柱 | 01 安定した汚水処理の推進

担当部局 | 上下水道部
 担当課 | 下水道課

IV 非連動・数値化困難 III 連動・数値化困難

1 | 概要

下水道管渠の整備を進め、安定した汚水処理を行います。



2 | 活動指標

[定性指標]

▶ R4実績

効率的な管渠布設を行い、安定した汚水処理を推進します。

[定量指標] (数値目標)		第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
指標	単位	R2	R3	R4	R5	R6	R7
下水道管渠の整備延長累計	目標	660095	662,435.17	664,795.17	667,355.17	669,357.24	670,918.85
	実績	658,671.35	662,051.22	663,964.65			
	評価	▲	▲	▲			

3 | 成果指標

[定性指標]

▶ 評価 ▶ R4実績

R2年度からストックマネジメント計画に基づく調査を行った路線で、必要な改築・更新を始めており、維持管理事業とバランスを取りながら、管渠整備を進めます。

○ 社会資本整備総合交付金事業及び防災・安全交付金事業に係る計画に基づき、管渠整備及び改築更新事業を行いました。

[定量指標] (数値目標)		第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
指標	単位	R2	R3	R4	R5	R6	R7
-	目標	-	-	-	-	-	-
-	実績	-	-	-	-	-	-
-	評価	-	-	-	-	-	-

4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

下水道の人口普及率が98%を超え、今後整備延長が大幅に増える状況ではなく、また、新田駅周辺土地区画整理事業の進捗に合わせての整備が主な工事となっているため、整備延長の指標を満たすことが困難になっています。

目標を達成した指標についての今後の課題等

(3) 活気の創出～にぎわいのあるまちをつくる
1) にぎわいの創出とものづくりの発信

指標コード 1301

指標タイプ

施策 | 13 地域とともに栄える産業の振興

II 非運動・数値化可能 | I 運動・数値化可能

施策の柱 | 01 にぎわいの創出

担当部局 | 自治文化部
担当課 | 産業振興課

IV 非運動・数値化困難 | III 運動・数値化困難

1 | 概要

市内商店街が実施する商店街活性化に資する各種事業を支援するとともに、草加駅東口周辺を中心市街地等の活性化策として、リノベーションまちづくりに取り組んでいます。



2 | 活動指標

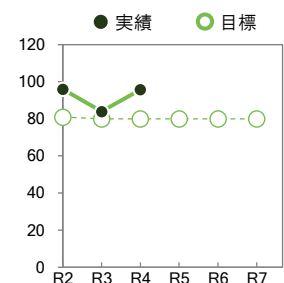
[定性指標]

▶ R4実績

草加市商店連合事業協同組合等が実施する商店会が連携する活性化事業を支援します。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
連携して活性化事業を行う商店会の割合	%	目標	81	80	80	80	80
		実績	96	84	95.8		
		評価	○	○	○		



3 | 成果指標

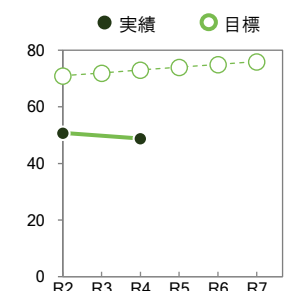
[定性指標]

▶ 評価 ▶ R4実績

商店街元気倍増事業による商店街連携型事業、にぎわいづくり事業等、リノベーションまちづくりの推進を通し、市民に商店街等地域商業に目を向けていただくことで、日常的に利用する市民を増やします。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
日常の買いもの等で地域の商店・商店街を利用する市民の割合	%	目標	71	72	73	74	75	76
		実績	50.8	—	48.8			
		評価	▲	—	▲			



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

目標を達成した指標についての今後の課題等

草加市商店連合事業協同組合が新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、市内商店街の売上V字回復を目指す事業を行いました。

新型コロナウイルス感染症拡大によって、商店会各会員の経営状態は厳しい状態に置かれていますが、この状況を商店会の体制強化の好機とみなし、市内全域での商店会の連携した取り組みを支援していく必要があります。

(3) 活気の創出～にぎわいのあるまちをつくる
1) にぎわいの創出とものづくりの発信

指標コード 1302

指標タイプ

施策 | 13 地域とともに栄える産業の振興

施策の柱 | 02 ものづくりの振興

担当部局 | 自治文化部
担当課 | 産業振興課

II 非運動・ 数値化可能	I 運動・ 数値化可能
IV 非運動・ 数値化困難	III 運動・ 数値化困難

1 | 概要

商工会議所、地元商店街、中小企業者など地域の方々とともに手を携え、人材の育成、生産技術の改善・向上、ブランド化の促進など必要な支援を必要な機会に提供しています。



2 | 活動指標

[定性指標]

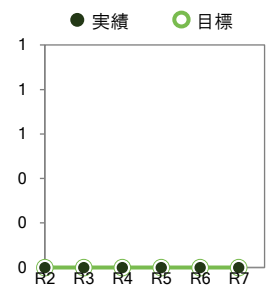
ふるさと産業創造基金による研究開発、産業財産権取得、展示会出展等の各種補助支援を行うほか、草加モノづくりブランドの認定、草加モノづくり探検隊事業等の実施、ふるさと納税返礼品の拡大、産業デザイン力向上等の販路拡大や住工共生等につながる各種事業を実施します。

▶ R4実績

市内中小企業者へのブランド力向上に資する認証等の取得（5件）、展示会出展（9件）について補助金交付等の支援を行い、草加モノづくりブランド（4件）の認定を行いました。
また、草加モノづくり探検隊事業（計5日間、10コース）を実施したほか、柿木産業団地進出企業に対し、住工共生促進を目的として、直売所や産業観光施設等の整備に向けた支援を実施しました。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
-	目標	-	-	-	-	-	-
-	実績	-	-	-	-	-	-
-	評価	-	-	-	-	-	-



3 | 成果指標

[定性指標]

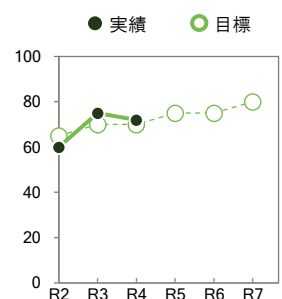
企業支援制度を利用した企業の業績向上を目指します。

▶ 評価 ▶ R4実績

- -

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
各種企業支援制度を利用後の追跡調査で、企業業績の向上につながったと回答した企業の割合	目標	65	70	70	75	75	80
	実績	60	75	72	-	-	-
	評価	▲	○	○	-	-	-



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

目標を達成した指標についての今後の課題等

企業支援・育成事業補助金の利用企業より、展示会出展による販路拡大、ブランド力向上に資する認証の取得による販売促進に繋がったとの報告を受けているほか、モノづくりブランド認定企業からは、市広報紙やHP等での周知をきっかけに、取引の増加に繋がったとの報告を得ています。

今後については、社会状況の変化に合わせ、必要に応じて補助支援の内容を見直すなど、常に業績向上のために効果的な支援策を提供できるよう、補助事業を整備していく必要があります。

(3) 活気の創出～にぎわいのあるまちをつくる
1) にぎわいの創出とものづくりの発信

指標コード 1303

指標タイプ

施策 | 13 地域とともに栄える産業の振興

施策の柱 | 03 中小企業の経営支援

担当部局 | 自治文化部
担当課 | 産業振興課

II 非運動・ 数値化可能	I 運動・ 数値化可能
IV 非運動・ 数値化困難	III 運動・ 数値化困難

1 | 概要

草加商工会議所、日本政策金融公庫越谷支店、埼玉りそな銀行、武蔵野銀行及び埼玉縣信用金庫等と連携した創業支援事業、域内経済循環や事業所の事業活動を活性化するための草加地域経済活性化事業実行委員会への補助、市内金融機関と連携した制度融資、草加商工会議所への補助等による中小企業振興を行っています。



2 | 活動指標

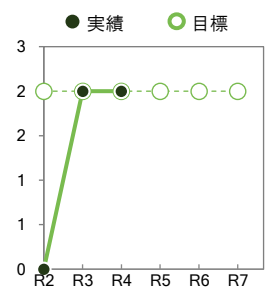
[定性指標]

▶ R4実績

商工業者の創業や創業後の経営支援等を行う創業塾を開催します。 —

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
創業塾の開催回数	回	目標	2	2	2	2	2
		実績	0	2	2		
		評価	▲	○	○		



3 | 成果指標

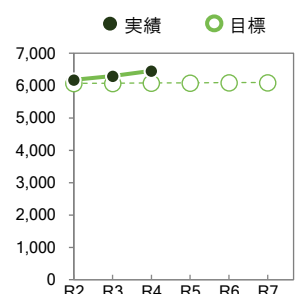
[定性指標]

▶ 評価 ▶ R4実績

創業支援事業、中小企業振興事業、商工業融資事業、地域経済活性化事業の実施により、総合的に市内企業の事業活動の活性化を支援し、法人の数を増加させます。 — —

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
草加市内に事業所等を有する法人数＝法人市民税の均等割納税義務者数	件	目標	6070	6075	6080	6085	6090	6095
		実績	6177	6296	6455			
		評価	○	○	○			



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

目標を達成した指標についての今後の課題等

草加市内に事業所等を有する法人数は堅調に推移しています。今後は、事業者が経営環境の変化に対応し、末永く草加で操業することができるよう、伴走支援を強化していくことが課題となります。

(3) 活気の創出～にぎわいのあるまちをつくる
1) にぎわいの創出とものづくりの発信

指標コード 1304

指標タイプ

施策 | 13 地域とともに栄える産業の振興

施策の柱 | 04 地場産業の育成

担当部局 | 自治文化部
担当課 | 産業振興課

II 非運動・ 数値化可能	I 運動・ 数値化可能
IV 非運動・ 数値化困難	III 運動・ 数値化困難

1 | 概要

草加せんべいなどの伝統産業の活性化を図っています。



2 | 活動指標

[定性指標]

東京2020オリンピック・パラリンピックを契機とした国際PR事業等の成果を活かし、草加せんべいの個店による意欲的な販売促進や販売チャネルの拡大につながる支援の展開を図ります。

また、国際PR事業の成果物をリソースとして活用しながら、SNS等を通じて国内外に向けた地道な情報発信を続けることで、地元草加からの愛着を醸成しながら販売促進に繋げていく活動を支援します。

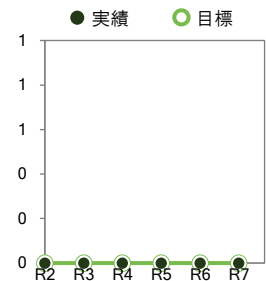
また、草加商工会議所、皮革関係団体と連携し、皮革産業の後継者育成を支援します。

▶ R4実績

- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響による経済活動が縮小する草加市地場産業振興会、草加せんべい振興協議会、皮革関係団体等において、売上V字回復を目指す事業を行いました。
- ・草加せんべい振興協議会のSNSを活用した情報発信事業に対して補助を行いました。
- ・(有)大馬屋の海外輸出促進展示会出展に対して補助を行いました。
- ・草加市地場産業振興協議会に対して、草加商工会議所まつりへの出店支援を実施しました。
- ・草加商工会議所、皮革関係団体と連携し、皮革職人の人材発掘及び後継者育成支援を行いました。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
-	目標	-	-	-	-	-	-
	実績	-	-	-	-	-	-
	評価	-	-	-	-	-	-



3 | 成果指標

[定性指標]

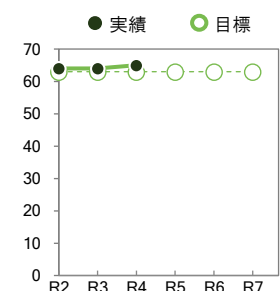
活動指標にある取組を行うことで、地場産業を振興する団体に加盟している事業所数を維持し、地域に根差した産業を育成します。

▶ 評価 ▶ R4実績

- -

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
地場産業を振興する団体に加盟している事業所数	目標	63	63	63	63	63	63
	実績	64	64	65			
	評価	○	○	○			



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

目標を達成した指標についての今後の課題等

活動指標にある取組を行ったことで、地場産業を振興する団体に加盟している事業所を維持することができております。

引き続き、地場産業を振興する団体が行う事業の支援を行い、地域に根差した産業を育成します。

(3) 活気の創出～にぎわいのあるまちをつくる
1) にぎわいの創出とものづくりの発信

指標コード 1305

指標タイプ

施策 | 13 地域とともに栄える産業の振興

担当部局 | 自治文化部
担当課 | 都市農業振興課

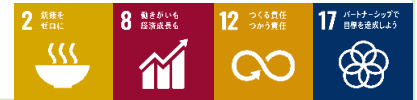
II 非連動・ 数値化可能	I 連動・ 数値化可能
IV 非連動・ 数値化困難	III 連動・ 数値化困難

施策の柱 | 05 都市農業の振興

1 | 概要

草加市都市農業振興基本計画策定（令和元年度）を受け、計画の中のアクションプランで示された具体的な取組みを進め、都市農業の振興につなげていきます。

また、いくつかの取組みを進めていくにあたり、農商福連携・販路や物流といった農業以外の関わりもあることから、様々な機関との連携を深めながら都市農業が抱える課題を解決していきます。



2 | 活動指標

[定性指標]

都市農業の振興に関する事業として、引き続き、各種イベントや市内飲食店・小売店等を通じた地場農産物のPRを進めるとともに、庭先販売への支援を強化する施策を進めていきます。

また、物流、販路拡大、農商連携の取組みなど、農業者以外の方々とも連携した横断的な取組みを進め、本市の都市農業に魅力・価値を実感してもらえるような仕組みづくりや新たな支援策を進めます。

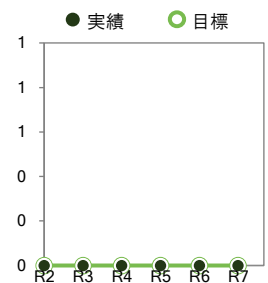
▶ R4実績

都市農業の振興に関する事業として、飲食店・小売店等を通じた地場農産物のPRを進める地場農産物使用推進店登録制度や庭先販売への支援を強化する庭先販売施設補助制度により、地産地消の推進及び庭先販売農家への支援を行いました。

また、農業者が抱える物流の課題を解決する手段の一つとして、クックパッド株式会社との連携事業を行うとともに、株式会社武蔵野銀行との地域活性化包括連携協定の締結により農産物の販路拡大へ繋げるための協議をしました。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
-	目標	-	-	-	-	-	-
-	実績	-	-	-	-	-	-
-	評価	-	-	-	-	-	-



3 | 成果指標

[定性指標]

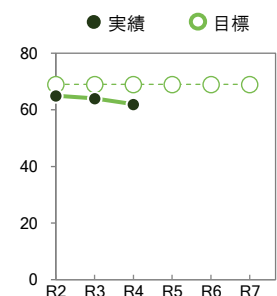
庭先販売の情報発信における仕組みづくり（SNS等）や庭先販売のPR発信等、庭先販売に関わる様々な事業を展開することにより、庭先販売農家のPRを推進し、庭先販売農家数の維持につなげます。

▶ 評価 ▶ R4実績

- -

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
庭先販売農家数（軒）	目標	69	69	69	69	69	69
	実績	65	64	62			
	評価	▲	▲	▲			



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

地産地消の推進及び草加産農産物等のPRを図るため、PR事業を実施するとともに、庭先販売農家の情報を掲載した「地産地消マップ」や庭木販売施設補助制度など、庭先販売に関する各事業を展開しました。本市では、農業者の約7割が60歳以上という状況で庭先販売農家についても高齢に伴う人手不足等の要因から、登録者数の減少が見られています。一方で令和4年度中に新規の庭先販売農家の登録が3件あることから、引き続き、地産地消マップをはじめとした庭先販売のPRや庭先販売施設整備補助制度の活用等の庭先販売に向けた支援を展開することにより、庭先販売農家の維持・新規登録につなげていく必要があると考えられます。

目標を達成した指標についての今後の課題等

(3) 活気の創出～にぎわいのあるまちをつくる
1) にぎわいの創出とものづくりの発信

指標コード 1401

指標タイプ

施策 | 14 おもてなしの心が息づく観光の振興

施策の柱 | 01 魅力ある観光の推進

担当部局 | 自治文化部
担当課 | 文化観光課

II 非連動・ 数値化可能	I 連動・ 数値化可能
IV 非連動・ 数値化困難	III 連動・ 数値化困難

1 | 概要

「おもてなしの心が息づく観光の実現」を目指す観光基本計画に基づき、草加の魅力を広く市内外に情報発信を行い、本市を訪れた方々をもてなし、市民のシビックプライドを醸成するための取組や観光人材の育成を進めます。また、市内外に点在する観光資源の魅力を高めつつ、複数の観光資源を様々な切り口からネットワーク化して魅力ある観光ルートの形成を進め、観光により本市のブランド力の向上を図り、多くの方々が訪れるまちを目指します。



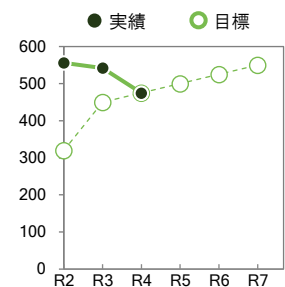
2 | 活動指標

[定性指標]

▶ R4実績

広報、ホームページなどの本市が主体となるPRやマスコミへの情報提供を行います。

[定量指標] (数値目標)			第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6	R7
広報、ホームページ、SNS、雑誌・新聞などの掲載回数	回	目標	320	450	475	500	525	550
		実績	556	542	475			
		評価	○	○	○			



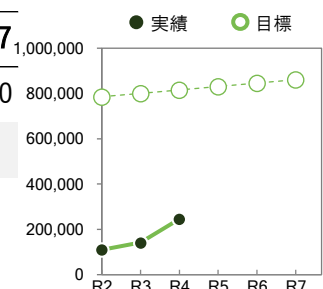
3 | 成果指標

[定性指標]

▶ 評価 ▶ R4実績

本市への来街者数を増やします。

[定量指標] (数値目標)			第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6	R7
入込観光客数	人	目標	786,000	801,000	816,000	831,000	846,000	861,000
		実績	109,745	141,554	245,732			
		評価	▲	▲	▲			



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

新型コロナウイルス感染拡大防止のため多くのイベントや事業が中止になったため、入込観光客数は大幅に減少しています。今後、イベントや事業が再開するに伴い、目標達成に近づけていけるものと考えています。

目標を達成した指標についての今後の課題等

今後も継続して本市の観光全般に関わる情報発信を行います。

(3) 活気の創出～にぎわいのあるまちをつくる
2) 心地よい風景づくり

指標コード 1501

指標タイプ

施策 | 15 心地よいまちづくりの推進

施策の柱 | 01 生活風景の創出

担当部局 | 都市整備部
担当課 | 都市計画課

II 非運動・ 数値化可能	I 運動・ 数値化可能
IV 非運動・ 数値化困難	III 運動・ 数値化困難

1 | 概要

良好なまちなみ景観の創出や保全等を図ることにより、まち全体の価値を向上させ、住んでみたいと思えるまちにするため、改定景観計画・景観条例に基づく届出制度の運用などにより、地域の特性を活かした魅力的な景観づくりの推進を図ります。



2 | 活動指標

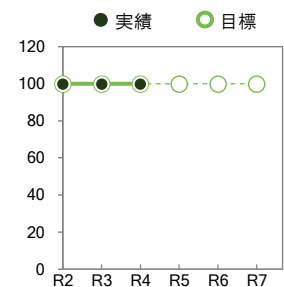
[定性指標]

▶ R4実績

草加市景観計画・景観条例では、市の総合的な景観づくりの方針とともに、景観づくりのルールとして建物の形態や意匠、色彩についての景観形成基準を定め、建築物を建築する場合などには、届出制度によりこれらの基準に適合することを義務づけていることから、同計画・条例を適正に運用します。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
景観形成基準に適合した件数の割合（届出のうち勧告又は変更命令をしなかった件数÷届出件数）	%	目標	100	100	100	100	100
		実績	100	100	100		
		評価	○	○	○		



3 | 成果指標

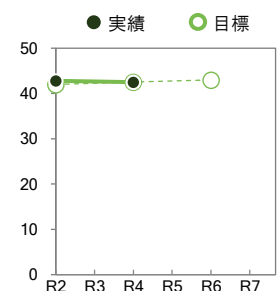
[定性指標]

▶ 評価 ▶ R4実績

地域の特性を活かした魅力的な景観づくりの推進を図ります。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
草加市のまちなみや風景が美しく心地よいと感じている市民の割合	%	目標	42		42.5		43
		実績	42.8		42.5		
		評価	○		○		



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

目標を達成した指標についての今後の課題等

事前協議や助言指導を通して、景観計画に定める色彩基準である「風土の色」を外壁に使用することを誘導していますが、サイディングやパネル、タイルといった既製品を使用する等の材料上の制約があって「風土の色」を使用できないケースへの対応を検討する必要があります。

また、市内に5つある重点地区では、より良い景観を目指してしていくため、風土色を利用してもらえるように誘導していきます。

II 非連動・ 数値化可能	I 連動・ 数値化可能
IV 非連動・ 数値化困難	III 連動・ 数値化困難

1 | 概要

だれもが尊重され個性を発揮できるまちづくりを展開していくため、公共施設のバリアフリー化を進めるとともに、市の取組を周知し、ユニバーサルデザインの普及啓発に努めています。



2 | 活動指標

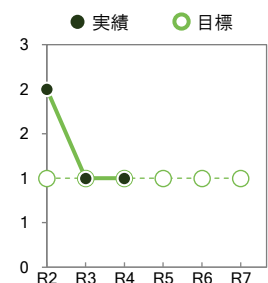
[定性指標]

▶ R4実績

埼玉県福祉のまちづくり条例に基づき、公共施設のバリアフリー化を進めるとともに、ユニバーサルデザインの事例を紹介し、ユニバーサルデザインの普及啓発に努めます。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
そうかユニバーサルデザイン事例集による新規紹介数	目標	1	1	1	1	1	1
	実績	2	1	1			
	評価	○	○	○			



3 | 成果指標

[定性指標]

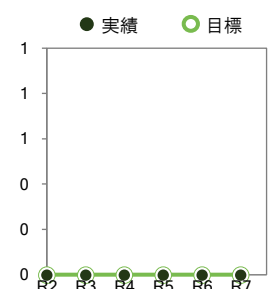
▶ 評価 ▶ R4実績

埼玉県福祉のまちづくり条例の趣旨に則り、商店などの施設や道路などが整備され、だれもが安心して生活できるようになることをめざします。

- ユニバーサルデザインアドバイザーに意見を伺う等、ユニバーサルデザインの考え方を理解し、すべての人を尊重する意識を醸成していくことで、ユニバーサルデザインの考え方に基づくまちづくりを推進しました。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
-	目標	-	-	-	-	-	-
-	実績	-	-	-	-	-	-
-	評価	-	-	-	-	-	-



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

目標を達成した指標についての今後の課題等

関係各課の事業実施の際には、ユニバーサルデザインの考え方にに基づき事業を実施するよう促すとともに、公共施設の新設や改修、建替など、施設整備に合わせてバリアフリー化を進めます。

II 非運動・ 数値化可能	I 運動・ 数値化可能
IV 非運動・ 数値化困難	III 運動・ 数値化困難

1 | 概要

高年者が住み慣れた地域で自立した生活を続けることができるよう、住民主体の通いの場となる体操教室「ジャンプ教室」に対し、介護予防に関する専門的知見を有する専門職の派遣を行い、効果的かつ効率的に介護予防活動に取り組むことができるよう支援を行っています。



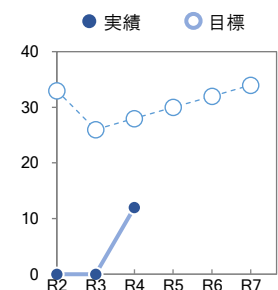
2 | 活動指標

[定性指標]

▶ R4実績

住民主体の通いの場となる体操教室「ジャンプ教室」
に対し、効果的かつ効率的に介護予防活動に取り組む
ことができるよう、専門職を派遣します。

[定量指標] (数値目標)		第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
指標	単位	R2	R3	R4	R5	R6	R7
ジャンプ教室における 講師派遣回数	目標	33	26	28	30	32	34
	実績	0	0	12			
	評価	▲	▲	▲			



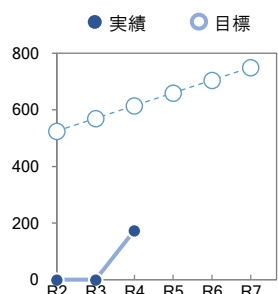
3 | 成果指標

[定性指標]

▶ 評価 ▶ R4実績

専門職による講師派遣を通して、正しい知識を持つ
て自ら介護予防に取り組む住民を増やします。

[定量指標] (数値目標)		第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
指標	単位	R2	R3	R4	R5	R6	R7
専門職による講義の受 講者数	目標	525	570	615	660	705	750
	実績	0	0	174			
	評価	▲	▲	▲			



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

令和4年度は、7団体に対し、計12回講師派遣を行い、計174名が専門職の講話等を受講しました。

新型コロナウイルスの影響も少しずつ緩和傾向になっており、ジャンプ教室として登録のある団体のうち約半数は活動を再開している状況です。

しかしながら、新型コロナウイルスへの不安が大きく、再開を躊躇している団体も約半数あったため、数値の達成はできませんでした。

目標を達成した指標についての今後の課題等

徐々にジャンプ教室に参加している団体も増えてきていますが、未実施の期間が長く、団体の運営に不安を抱く方も多くなっています。

II 非運動・ 数値化可能	I 運動・ 数値化可能
IV 非運動・ 数値化困難	III 運動・ 数値化困難

1 | 概要

日常生活上の支援を必要とする高年者が住み慣れた地域で生きがいを持って在宅生活を継続するために、地域住民が地域社会に関わり、住民主体の活動、地域の団体、企業、行政の協働を通じて社会参加、介護予防、生活支援につながる活動の場の提供体制を構築するため、生活支援コーディネーターを配置し、地域づくりや支え合いの活動についての話し合いの場である協議体を設置します。



2 | 活動指標

[定性指標]

地域住民が主体となる地域づくりや支え合いの活動を生活支援コーディネーターが調整・支援を行います。

▶ R4実績

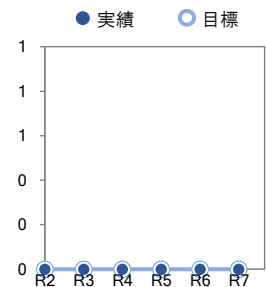
生活支援コーディネーターは、市全体の課題を話し合う第1層協議体や各地区で話し合う2層協議体を開催し、地域住民とともに地域づくりや支え合いの活動についての取組を行いました。

第1層協議会 会議2回

第2層協議体 9地区 会議87回

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
-	目標	-	-	-	-	-	-
	実績	-	-	-	-	-	-
	評価	-	-	-	-	-	-



3 | 成果指標

[定性指標]

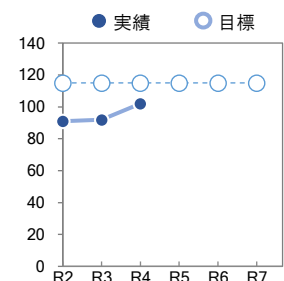
生活支援コーディネーターと連携を図り、地域づくりや支え合いの活動を行う団体等を創設・支援し、市民が活用できる地域資源を増やします。

▶ 評価 ▶ R4実績

- -

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
生活支援コーディネーターと連携し、地域づくりや支え合いの活動を行う団体数	目標	115	115	115	115	115	115
	実績	91	92	102			
	評価	▲	▲	▲			



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

コロナ渦での制限のある中での活動であったため、地域づくりをする環境や活動が活発化にならなかったのが要因と考えます。

目標を達成した指標についての今後の課題等

II 非連動・ 数値化可能	I 連動・ 数値化可能
IV 非連動・ 数値化困難	III 連動・ 数値化困難

1 | 概要

介護保険料の賦課徴収や要介護認定、介護給付等の事務の適正な実施を行うとともに、地域における高年者支援の充実と、それを支える社会基盤の整備を進め、地域包括ケアシステムの構築を目指すなど、安定した介護保険制度の運営を図ります。



2 | 活動指標

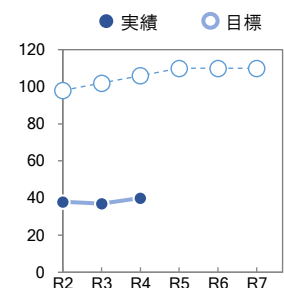
[定性指標]

▶ R4実績

地域における高年者の課題を整理し、解決策を検討する中で、関係者間のネットワーク構築や地域資源の開発等を目的として、医療、介護関係者等の多職種が協働で事例の検討を行う地域ケア会議を開催します。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
地域ケア会議における事例検討件数	目標	98	102	106	110	110	110
	実績	38	37	40			
	評価	▲	▲	▲			



3 | 成果指標

[定性指標]

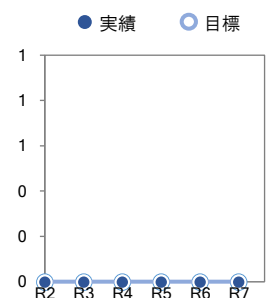
▶ 評価 ▶ R4実績

住み慣れた地域で暮らし続けるため、問題点を把握、解決しながら、地域のつながり機能を強化するなど、保険者機能の強化を図り、介護保険制度の持続性を確保します。

- 個別ケースに関する事例検討は、前年度と比較し、横ばい（微増）ですが、地域の問題点など把握する会議については、開催回数が増加しています。
感染対策を実施した上での開催やオンラインでの開催を行うなど実施方法を工夫して実施し、地域の問題点の把握・解決のための地域のつながり強化などの対応策を検討しました。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
-	目標	-	-	-	-	-	-
-	実績	-	-	-	-	-	-
-	評価	-	-	-	-	-	-



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

感染対策を実施した上で専門職が集まる自立支援型地域ケア会議については、開催を行うことができましたが、本人やその家族を交えて会議については、新型コロナウイルスの影響があったため実施控えがありました。

しかしながら地域の課題把握等について、感染対策の徹底やオンラインの活用などで実施することができました。

目標を達成した指標についての今後の課題等

本来地域ケア会議は、事例検討を行う地域ケア会議からの課題の抽出を行い、地域課題として検討を行うという流れになりますが、現状は、個別課題と地域課題の連動性が薄いため、今後連動性を高めた地域ケア会議の運用が必要と考えています。

II	非運動・ 数値化可能	I	運動・ 数値化可能
IV	非運動・ 数値化困難	III	運動・ 数値化困難

1 | 概要

市における子ども・子育て支援施策を計画的に運用していくため、「草加市子ども・子育て支援事業計画」や「草加市次世代育成支援行動計画」を策定しています（令和2年度からは新たな計画「草加市子どもプラン」を策定予定）。その計画に基づき各種子育て支援施策を展開しており、「そうか子育て応援・情報サイトぼっくるん」による市民目線での子育て情報の提供、子育て支援コーディネーターなどによる相談支援、さらには地域ぐるみで子育てを支援するため「子育て応援隊」として活動内容の周知なども行っています。



2 | 活動指標

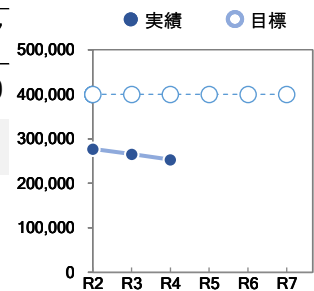
[定性指標]

▶ R4実績

「市内で子育てをしている市民が、知りたい情報・必要な情報」へ簡単にアクセスできるよう、平成26年度から草加市と市民協働で「そうか子育て応援・情報サイトぼっくるん」を運営しています。
市民と協働で運営することで、市民目線に立った細やかな情報を提供します。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
情報サイトぼっくるんへのアクセス数	目標	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000
	実績	277,360	265,485	253,328			
	評価	▲	▲	▲			



3 | 成果指標

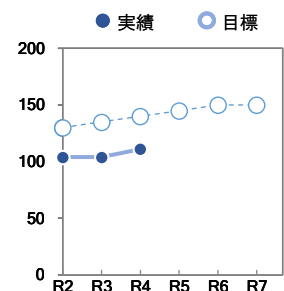
[定性指標]

▶ 評価 ▶ R4実績

草加市で子育て支援を行う団体や個人等で構成される「子育て応援隊」を「ぼっくるん」で紹介し、子育て支援ネットワークの拡充に努めています。
子育て応援隊の活動内容を周知することで、地域ぐるみで子育て支援する環境整備を図ります。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
子育て応援隊登録団体数（個人・法人含む）	目標	130	135	140	145	150	150
	実績	104	104	111			
	評価	▲	▲	▲			



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

子育て応援隊の総数が横ばいだった昨年度に対して令和4年度は微増しましたが、目標値には大きく届きませんでした。新規登録だけでなく、活動中止・閉店等で退会される団体もあり、いまだコロナ禍の影響が残っていると思われます。また、子育て応援隊の利点をより魅力的、明確に周知する必要があります。

子育て応援隊の多くは、自分たちの活動に集中し地域や他の団体に目を向け難い傾向があることから、イベント等で、さまざまな活動があることを認識してもらい各隊が繋がるような仕組みの構築を目指します。

目標を達成した指標についての今後の課題等

II 非運動・ 数値化可能	I 運動・ 数値化可能
IV 非運動・ 数値化困難	III 運動・ 数値化困難

1 | 概要

市内の公立保育園において、通常保育の他に延長保育・育成保育・産休明け保育等の特別保育事業を実施し、保育サービスの充実を図っています。また、増加する待機児童と多様化する保育ニーズに対応していくため、民間活力を導入し、民間認可保育所及び地域型保育による保育を提供するとともに、当該施設に対し運営の円滑化及び公立保育園との格差是正等のための補助を行っています。



2 | 活動指標

[定性指標]

市内の公立保育園における通常保育のほか延長保育・育成保育・産休明け保育等の特別保育事業を実施し、引き続き保育サービスの充実を図っていきます。また、待機児童数解消のため保育士の確保に努めます。

民間認可保育所をはじめ小規模保育施設など既存の保育施設を活用し、待機児童数の解消をめざします。また、市内の幼稚園などとの情報連携を行い、多様な保育ニーズに応えられる保育環境を整えていきます。

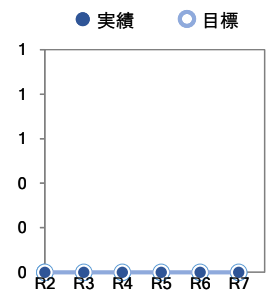
▶ R4実績

市内の公立保育園における通常保育のほか延長保育・育成保育・産休明け保育等の特別保育事業を実施し、引き続き保育サービスの充実を図るとともに保育士等募集のポスター掲示や、広報での募集を行い待機児童数解消のため保育士の確保に努めました。

また、多様な保育ニーズに応えられるよう、市民向け説明会を実施したり、市内幼稚園と情報連携を図るなど、保育環境を整えました。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
-	目標	-	-	-	-	-	-
-	実績	-	-	-	-	-	-
-	評価	-	-	-	-	-	-



3 | 成果指標

[定性指標]

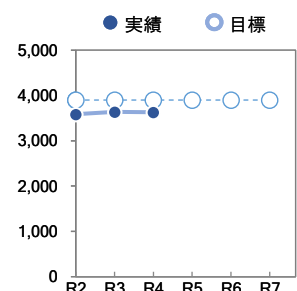
保育ニーズに対応した保育施設の受入体制を充実させ、待機児童の解消を目指します。

▶ 評価 ▶ R4実績

- -

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
公立保育園、民間認可保育所、地域型保育、認定こども園の受入人数	人	3900	3900	3900	3900	3900	3900
	実績	3587	3639	3630			
	評価	▲	▲	▲			



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

公立保育園において、保育士の不足により受入人数の目標を達成できませんでした。

また、4歳、5歳については、受入れ可能な人数に申し込み数が満たない状況にあるため、受入人数の目標を達成できませんでした。

目標を達成した指標についての今後の課題等

II 非運動・ 数値化可能	I 運動・ 数値化可能
IV 非運動・ 数値化困難	III 運動・ 数値化困難

1 | 概要

障がい児とその保護者に対し、居宅生活に必要な福祉サービスを提供することにより、障がい児を持つ保護者の精神的・経済的負担の軽減を図っています。



2 | 活動指標

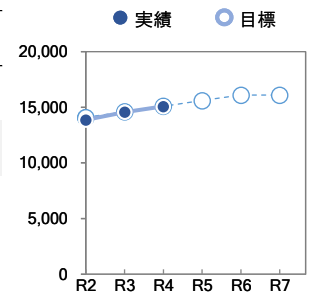
[定性指標]

▶ R4実績

居宅生活を送る障がい児に対して必要な福祉サービスを提供します。 —

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
障がい児通所給付延利用者数	人	目標	14,100	14,600	15,100	15,600	16,100	16,100
		実績	13,872	14,574	15,088			
		評価	▲	▲	▲			



3 | 成果指標

[定性指標]

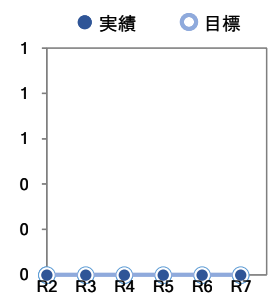
▶ 評価 ▶ R4実績

居宅生活を送る障がい児の障がい状態及び家庭状況に応じ、障がい児世帯の経済的・精神的負担軽減を図ることにより、障がいの有無にかかわらず、すべての子ども達の健全な育成と福祉を推進します。

- 障がい児のいる家庭の状況把握と障がい児とその家族の支援の充実に努め、障がい児世帯の経済的・精神的負担の軽減に努めました。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
-	-	目標	-	-	-	-	-
		実績	-	-	-	-	-
		評価	-	-	-	-	-



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

目標を達成した指標についての今後の課題等

引き続き、障がい児のいる家庭の状況とニーズの把握に努め、必要なサービスを提供し、障がい児の居宅生活を支援します。

II 非運動・ 数値化可能	I 運動・ 数値化可能
IV 非運動・ 数値化困難	III 運動・ 数値化困難

1 | 概要

必要とする医療が容易に受けられるとともに医療費負担を軽減するために、こども医療費を通院については15歳に達する日以後の最初の3月31日まで、入院については18歳に達する日以後の最初の3月31日までを対象として支給します。



2 | 活動指標

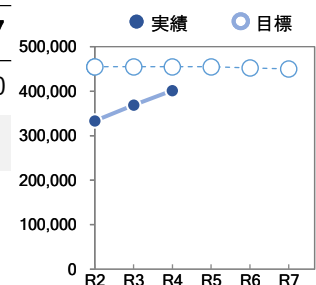
[定性指標]

▶ R4実績

こども医療費につきましては、令和2年度から入院に係る支給対象を従前の15歳年度末から18歳年度末へと拡大し、支給を行っています。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
延支給件数	目標	455,000	455,000	455,000	455,000	452,522	450,000
	実績	333,310	368,962	401,566			
	評価	○	○	○			



3 | 成果指標

[定性指標]

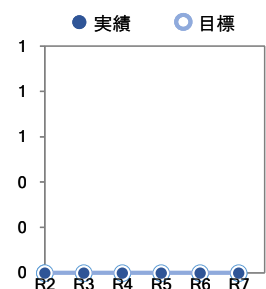
▶ 評価 ▶ R4実績

保護者の経済的負担の軽減を図ることで、家庭環境に関わらず、全ての子ども達の健全な育成と福祉の推進を図ります。

- 令和4年10月受診分より、今まで市内医療機関で行ってきた現物給付化を県内医療機関に拡大し、県内医療機関内で医療費の自己負担分の助成が完結するようになりました。また、県外受診等で医療費自己負担分の申請があったものについては、適正な審査を行った上で滞りなく支給できているため、子育て世代の医療費における経済負担軽減は達成できています。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
-	目標	-	-	-	-	-	-
	実績	-	-	-	-	-	-
	評価	-	-	-	-	-	-



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

目標を達成した指標についての今後の課題等

令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響を受け医療機関への受診控え等により著しく支給件数が減っていましたが、令和3年度、令和4年度と支給件数が徐々にコロナ前に戻ってきています。

支給件数については実績よりも下回ってはおりますが、子どもの保健対策の充実及び保護者の経済的負担の軽減等を目的とした成果は達成しており、引き続き子育て世帯への経済支援を続けてまいります。

(4) 地域の共生～ともに力をあわせて自分たちのまちをつくる
2) みんなで取り組む子育て

指標コード 1801

指標タイプ

施策 | 18 目指す「草加っ子」(15歳の姿)を育む幼保小中を一貫した教育の推進
施策の柱 | 01 子ども教育の連携の推進

担当部局 | 教育総務部
担当課 | 子ども教育連携推進室

II 非運動・ 数値化可能	I 運動・ 数値化可能
IV 非運動・ 数値化困難	III 運動・ 数値化困難

1 | 概要

知(自ら学び)・徳(心豊かに)・体(たくましく)のバランスのとれた目指す「草加っ子」(15歳の姿)の実現に向け、園・学校・家庭・地域が一層の連携のもとに、0歳から15歳までの子どもの育ちを見通した教育課程の編成などを通じて、幼保小中を一貫した教育に取り組みます。



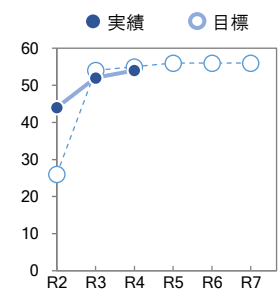
2 | 活動指標

[定性指標]

▶ R4実績

幼稚園・保育園・認定こども園へ訪問支援を行うことで、幼児教育の充実を図ります。

[定量指標] (数値目標)		第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
指標	単位	R2	R3	R4	R5	R6	R7
訪問支援を行った幼稚園・保育園・認定こども園の園数	目標	26	54	55	56	56	56
	実績	44	52	54			
	評価	○	▲	▲			



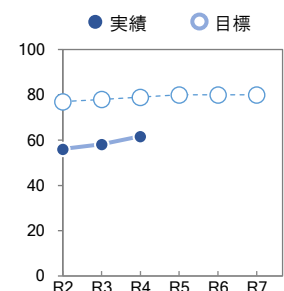
3 | 成果指標

[定性指標]

▶ 評価 ▶ R4実績

自己肯定感及び自己有用感の向上を目指します。

[定量指標] (数値目標)		第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
指標	単位	R2	R3	R4	R5	R6	R7
自己肯定感が高い児童生徒の割合	目標	77	78	79	80	80	80
	実績	56.1	58.2	61.7			
	評価	▲	▲	▲			



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

自己肯定感に関する設問について、令和3年度と比較し、肯定的な回答をした児童生徒の割合が増加しています。特に最上位の「当てはまる」と回答した児童生徒の割合が大きく増加しています。どちらともいえないと回答した割合や否定的な回答の割合は減っており、自分自身を肯定的に捉えている児童生徒が、着実に増えていると言えます。

目標を達成した指標についての今後の課題等

(4) 地域の共生～ともに力をあわせて自分たちのまちをつくる
2) みんなで取り組む子育て

指標コード 1802

指標タイプ

II 非運動・数値化可能	I 運動・数値化可能
IV 非運動・数値化困難	III 運動・数値化困難

施策 | 18 目指す「草加っ子」(15歳の姿)を育む幼保小中を一貫した教育の推進

施策の柱 | 02 自ら学ぶ「草加っ子」の育成

担当部局 | 教育総務部
担当課 | 指導課

1 | 概要

知(自ら学び)・徳(心豊かに)・体(たくましく)のバランスのとれた目指す「草加っ子」(15歳の姿)の実現に向け、幼保小中を一貫した教育に取り組みます。児童生徒の学力における基礎・基本の徹底を図るとともに、「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の資質・能力を育みます。



2 | 活動指標

[定性指標]

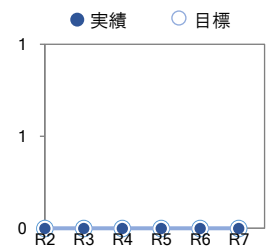
「知・徳・体」のバランスのとれた取組を推進し、「草加っ子の基礎・基本」のより一層の定着を図ります。「指導の基」を活用して、「知」における児童生徒の基礎・基本の更なる定着を図り、学力向上につなげます。

▶ R4実績

- ・市内32校の指導訪問で各教科等の公開授業・研究授業を実施し、基礎・基本の着実な定着と学力向上に向けた授業改善について具体的に指導しました。
- ・「草加っ子の学びを支える授業の5か条」を通して、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善の実現に向けた指導を行いました。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
-	-	目標	-	-	-	-	-
		実績	-	-	-	-	-
		評価	-	-	-	-	-



3 | 成果指標

[定性指標]

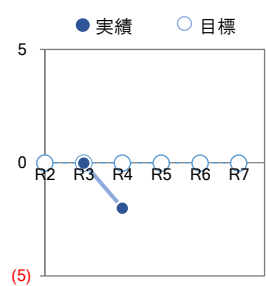
児童生徒が学ぶ力を伸ばし、学力の向上を目指します。

▶ 評価 ▶ R4実績

- -

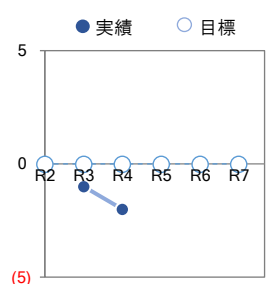
[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
全国学力・学習状況調査における県の平均正答率との差 中学校(国語)	点	目標	0	0	0	0	0
		実績	未	0	-2		
		評価	-	○	▲		



[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
全国学力・学習状況調査における県の平均正答率との差 中学校(数学)	点	目標	0	0	0	0	0
		実績	未	-1	-2		
		評価	-	▲	▲		



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

国語・数学ともに目標を達成できませんでしたが、改善された点も見られます。現在の取組を継続するとともに、引き続き指導訪問等を通して、教員の指導力の向上を図ります。

目標を達成した指標についての今後の課題等

(4) 地域の共生～ともに力をあわせて自分たちのまちをつくる
2) みんなで取り組む子育て

指標コード 1803

指標タイプ

II 非運動・ 数値化可能	I 運動・ 数値化可能
IV 非運動・ 数値化困難	III 運動・ 数値化困難

施策 | 18 目指す「草加っ子」(15歳の姿)を育む幼保小中を一貫した教育の推進

施策の柱 | 03 心豊かな「草加っ子」の育成

担当部局 | 教育総務部
担当課 | 指導課

1 | 概要

知(自ら学び)・徳(心豊かに)・体(たくましく)のバランスのとれた目指す「草加っ子」(15歳の姿)の実現に向け、幼保小中を一貫した教育に取り組めます。道徳教育、環境教育、音楽教育、読書活動等を通じて、社会生活の決まりや人との関わり方、基本的モラルを習得した心豊かな児童生徒の育成を目指します。



2 | 活動指標

[定性指標]

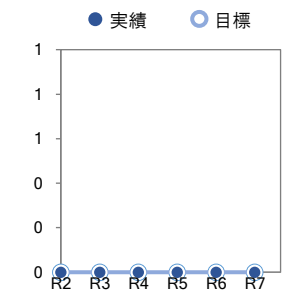
「知・徳・体」のバランスのとれた取組を推進し、「草加っ子の基礎・基本」のより一層の定着を図ります。「徳」の基礎・基本である「時を守り、場を清め、礼を正す」などの規律ある生活の更なる徹底を図り、全教育活動を通して児童生徒の豊かな心の育成を目指します。

▶ R4実績

- ・指導訪問において規律ある生活の基礎・基本の定着を確認するとともに、全体会等で「豊かな心の育成」について指導しました。
- ・草加市学力・学習状況調査の質問紙を分析し、各学校に周知しました。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
-	目標	-	-	-	-	-	-
	実績	-	-	-	-	-	-
	評価	-	-	-	-	-	-



3 | 成果指標

[定性指標]

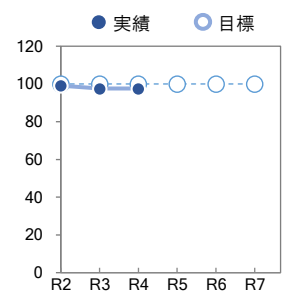
児童生徒が時と場に応じて自ら行動し、けじめがあり、責任のある行動がとれることを目指します。

▶ 評価 ▶ R4実績

- -

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
「草加っ子の基礎・基本」における規律ある生活が定着(80%以上)している項目の割合(中学校)	目標	100	100	100	100	100	100
	実績	99.1	97.6	97.6			
	評価	▲	▲	▲			



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

「机やロッカーの整理をすることができる」の質問項目について、中学校1年生が達成できませんでした。指導訪問等を通して、各校に指導します。

また、今後はこの他の調査項目についても、達成率が低い項目について、改善を図る必要があります。

目標を達成した指標についての今後の課題等

(4) 地域の共生～ともに力をあわせて自分たちのまちをつくる
2) みんなで取り組む子育て

指標コード 1804

指標タイプ

施策 | 18 目指す「草加っ子」(15歳の姿)を育む幼保小中を一貫した教育の推進

施策の柱 | 04 たくましく生きる「草加っ子」の育成 担当部局 | 教育総務部
担当課 | 指導課

II 非運動・ 数値化可能	I 運動・ 数値化可能
IV 非運動・ 数値化困難	III 運動・ 数値化困難

1 | 概要

知(自ら学び)・徳(心豊かに)・体(たくましく)のバランスのとれた目指す「草加っ子」(15歳の姿)の実現に向け、幼保小中を一貫した教育に取り組めます。明るく豊かで活力のある生活が営めるよう、運動に親しみ、生活習慣を改善し、日常的に運動する児童生徒を育成します。



2 | 活動指標

[定性指標]

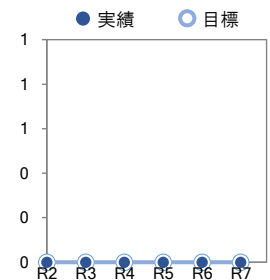
「知・徳・体」のバランスのとれた取組を推進し、「草加っ子の基礎・基本」のより一層の定着を図ります。「体」(健康・体力)における基礎・基本については、体育・保健体育の授業を改善し、更なる基礎・基本の徹底を図り、児童生徒の体力・運動能力の向上を目指します。

▶ R4実績

・指導訪問や授業研究会等をとおして、体育、保健体育の授業で児童生徒の体力向上を図るための手立てを講じるよう指導を行いました。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
-	目標	-	-	-	-	-	-
	実績	-	-	-	-	-	-
	評価	-	-	-	-	-	-



3 | 成果指標

[定性指標]

児童生徒の体力・運動能力の向上を目指します。

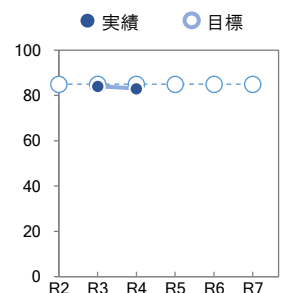
▶ 評価 ▶ R4実績

- -

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
新体力テストにおける体力・運動能力が総合評価A～Eの5段階中C以上の割合 中学校	目標	85	85	85	85	85	85
	実績	未	84.1	83.1			
	評価	-	▲	▲			

※令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により新体力テストを実施できなかったため、未評価



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

目標値には達しませんでした。コロナ禍で運動の機会が減少した中、大きな落ち込みは見られませんでした。

引き続き、草加市体力向上推進委員会とも連携し、児童生徒の体力・運動能力の向上を図ります。

目標を達成した指標についての今後の課題等

(4) 地域の共生～ともに力をあわせて自分たちのまちをつくる
2) みんなで取り組む子育て

指標コード 1805

指標タイプ

施策 | 18 目指す「草加っ子」(15歳の姿)を育む幼保小中を一貫した教育の推進

施策の柱 | 05 多様なニーズに対応した教育と支援の充実 担当部局 | 教育総務部
担当課 | 教育支援室

II 非運動・ 数値化可能	I 運動・ 数値化可能
IV 非運動・ 数値化困難	III 運動・ 数値化困難

1 | 概要

児童生徒の不登校などに対応するため、様々な教育相談活動を推進するとともに、学校や関係諸機関と連携を深めることで、一人ひとりの状況に応じた、きめ細かな支援の充実を図ります。



2 | 活動指標

[定性指標]

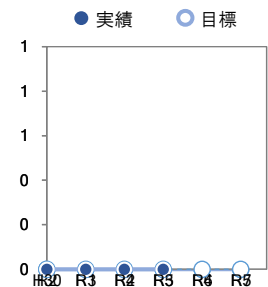
教育相談体制の更なる充実を図るとともに、スクールソーシャルワーカーや学校支援指導員などの派遣を通じ、学校や関係諸機関との連携を深め、一人ひとりの状況に応じた、きめ細やかな支援の充実を図ります。さらに、学校適応指導教室の活動を充実させるとともに、学校との連携を深めることで、児童生徒の自立と学校への適応を支援していきます。

▶ R4実績

- ・臨床心理士による児童生徒や保護者との来室や電話での相談体制を工夫し、支援の充実を図りました。
- ・スクールソーシャルワーカーを全中学校区に派遣し、関係機関と連携した児童生徒支援を行いました。
- ・学校適応指導教室の活用状況を毎月該当校へ報告するとともに、担当者と指導主事が在籍校と連絡を密にし、指導・支援方針の統一に努めました。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
-	目標	-	-	-	-	-	-
	実績	-	-	-	-	-	-
	評価	-	-	-	-	-	-



3 | 成果指標

[定性指標]

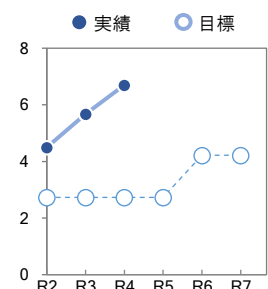
児童生徒の不登校などに対応するため、様々な教育相談活動を推進するとともに、スクールソーシャルワーカーや学校支援指導員などの派遣を通じ、学校や関係諸機関と連携を深めることで、一人ひとりの状況に応じた、きめ細かな支援の充実を図ります。

▶ 評価 ▶ R4実績

- -

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
不登校児童生徒（年間30日以上）の割合 中学校	目標	2.73	2.73	2.73	2.73	4.22	4.22
	実績	4.5	5.67	6.7			
	評価	▲	▲	▲			



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

不登校児童生徒の状況は「無気力・不安」「生活リズムの乱れ・遊び・非行」「学業の不振」等様々で、それらが複合的に絡み合っています。臨床心理士やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーによる支援や、学校適応指導教室、さわやか相談室の活用などの支援を継続しておりますが、一人ひとりの状況に寄り添った解決には時間を要するケースが多いのが現状です。それにより、解決の手立てが個に応じて違い、必ずしも即時復帰が難しいケースもあります。学校とも連携しながら、自立に向けて少しずつ支援している児童生徒も多いことから目標に届かなかったと考えます。

目標を達成した指標についての今後の課題等

(4) 地域の共生～ともに力をあわせて自分たちのまちをつくる
2) みんなで取り組む子育て

指標コード 1806

指標タイプ

II 非運動・数値化可能	I 運動・数値化可能
IV 非運動・数値化困難	III 運動・数値化困難

施策 | 18 目指す「草加っ子」(15歳の姿)を育む幼保小中を一貫した教育の推進

施策の柱 | 06 「草加っ子」の学びを支える指導力の向上 担当部局 | 教育総務部
担当課 | 指導課

1 | 概要

知(自ら学び)・徳(心豊かに)・体(たくましく)のバランスのとれた目指す「草加っ子」(15歳の姿)の実現に向け、幼保小中を一貫した教育に取り組めます。質の高い教育活動を行うため、教職員への研修等の充実を図り、指導力の向上を目指します。



2 | 活動指標

[定性指標]

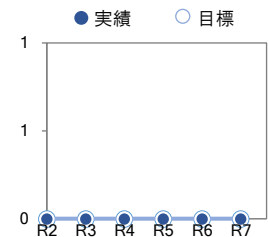
市委嘱研究を計画的に進めるとともに、指導訪問や要請訪問等において適切な指導・支援を行い、教員の指導力の向上を図ります。また、教員研修においても、指導技術を高める内容に重点を置き、指導力のある教員を育成します。

▶ R4実績

・市内32校の指導訪問で各教科等の公開授業・研究授業を実施し、基礎基本の着実な定着と学力向上に向けた授業改善について具体的に指導しました。また、全体会等で「指導の基」を活用して、「草加っ子の基礎・基本」及び「草加っ子の学びを支える授業の5か条」の徹底について教員に指導し、授業改善を図りました。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位		第二期基本計画期間				第三期基本計画	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
-	-	目標	-	-	-	-	-	-
		実績	-	-	-	-	-	-
		評価	-	-	-	-	-	-



3 | 成果指標

[定性指標]

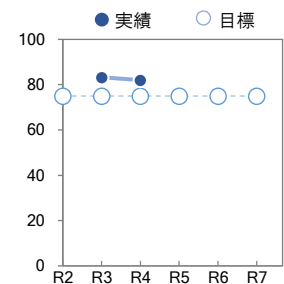
教職員の指導力を向上させ、児童生徒にとって学習内容が分かる授業を目指します。

▶ 評価 ▶ R4実績

- -

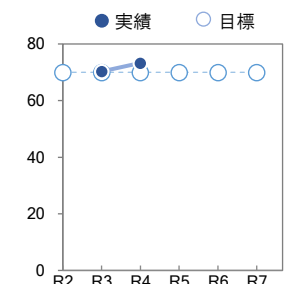
[定量指標] (数値目標)

指標	単位		第二期基本計画期間				第三期基本計画	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
全国学力・学習状況調査の質問紙調査における「国語の授業の内容はよく分かりますか」という質問に「当てはまる」又は「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の平均 中学校(国語)	%	目標	75	75	75	75	75	75
		実績	未	83.3	82.0			
		評価	-	○	○			



[定量指標] (数値目標)

指標	単位		第二期基本計画期間				第三期基本計画	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
全国学力・学習状況調査の質問紙調査における「数学の授業はよく分かりますか」という質問に「当てはまる」又は「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の平均 中学校(数学)	%	目標	70	70	70	70	70	70
		実績	未	70.3	73.3			
		評価	-	○	○			



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

目標を達成した指標についての今後の課題等

「草加っ子の学びを支える授業の5か条」を徹底し、各校の日々の授業を改善していくことにより、児童生徒の学力の定着を図ってきました。

今後も指導訪問等を通して、指導方法の工夫・改善を図ります。

II 非運動・ 数値化可能	I 運動・ 数値化可能
IV 非運動・ 数値化困難	III 運動・ 数値化困難

1 | 概要

よりよい学校運営や、子どもたちの学びや体験活動の充実等のために必要な支援に関する協議を学校運営協議会でい、地域とともにある学校づくりを推進します。また、学校運営協議会と学校を支援する組織である学校応援団（学校における学習活動、安全確保等について、ボランティアとして協力・支援を行う保護者・地域住民による活動組織）が両輪となり、学校・家庭・地域が一体となった教育を推進します。



2 | 活動指標

[定性指標]

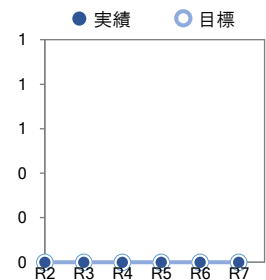
学校応援団の活動を通じ、学校が積極的に家庭や地域に働きかけ、学校・家庭・地域が一体となった教育を推進します。

▶ R4実績

- ・学校応援コーディネーターを中心に、各校の実態に応じた学習への支援や児童生徒の登下校の安全の見守りなど、教育活動への支援が行われました。
- ・学校応援団及び学校運営協議会関係者が各自の立場や役割から積極的に学校づくりに関われるよう、地域とともにある学校づくり研修会を開催しました。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
-	目標	-	-	-	-	-	-
-	実績	-	-	-	-	-	-
-	評価	-	-	-	-	-	-



3 | 成果指標

[定性指標]

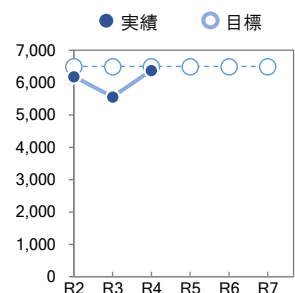
学校応援団の活動を通じ、学校・家庭・地域が一体となった教育を推進します。

▶ 評価 ▶ R4実績

- -

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
学校応援団の人数	人	6500	6500	6500	6500	6500	6500
	実績	6185	5559	6380			
	評価	▲	▲	▲			



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

新型コロナウイルス感染症への感染不安等が要因で、学校
応援団の登録数が停滞していると考えられます。
各校における周知を通して、適正な人数の確保を目指しま
す。

目標を達成した指標についての今後の課題等

(4) 地域の共生～ともに力をあわせて自分たちのまちをつくる
2) みんなで取り組む子育て

指標コード 1902

指標タイプ

施策 | 19 学校・家庭・地域の連携・協働の推進
施策の柱 | 02 家庭教育への支援

担当部局 | 教育総務部
担当課 | 子ども教育連携推進室

II 非運動・ 数値化可能	I 運動・ 数値化可能
IV 非運動・ 数値化困難	III 運動・ 数値化困難

1 | 概要

家庭・地域の教育力の向上を図るため、「親の学習」講座を実施します。

※「親の学習」とは、埼玉県教育委員会が家庭教育支援のために実施している事業で、親を対象とした「親が親として育ち、力をつけるための学習」と中学生・高校生を対象とした「親になるための学習」があります。



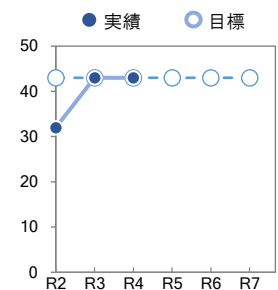
2 | 活動指標

[定性指標]

▶ R4実績

市立小・中学校で保護者向け及び中学生向けの「親の学習」講座を実施し、家庭の教育力の向上を目指します。

[定量指標] (数値目標)			第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6	R7
「親の学習」講座を実施した市立小・中学校の延べ校数	校	目標	43	43	43	43	43	43
		実績	32	43	43			
		評価	▲	○	○			



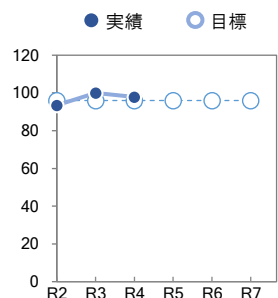
3 | 成果指標

[定性指標]

▶ 評価 ▶ R4実績

「親の学習」講座を受講した保護者が、学んだことを実際の子育てへ生かし、家庭の教育力向上へつながるよう、講座を実施します。

[定量指標] (数値目標)			第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6	R7
「親の学習」講座受講者アンケートで、「今日の講座の中で学んだことを、今後の子育てや子どもとの接し方に積極的にいかす」「いかすよう努力する」と回答した保護者の割合	%	目標	96	96	96	96	96	96
		実績	93.5	100	97.8			
		評価	▲	○	○			



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

目標を達成した指標についての今後の課題等

令和4年度に実施した保護者向け「親の学習」講座は、中学校では動画配信形式で実施したことから、例年に比べアンケート回答者数が少なく、目標を達成できたかどうかは、引き続き検証が必要です。

については、講座の開催方法等を見直し、例年と同程度の回答者数が得られるように配慮した上で、達成状況を評価して行きます。

II	非運動・ 数値化可能	I	運動・ 数値化可能
IV	非運動・ 数値化困難	III	運動・ 数値化困難

1 | 概要

草加市公共施設等総合管理計画、草加市学校施設整備基本方針及び草加市学校施設等長寿命化計画に基づき、安全安心な学校施設の整備を効果的、効率的に実施してまいります。特に、小中学校の屋内運動場にエアコン等を設置し、教育環境の向上と避難所としての防災機能の強化を図ります。



2 | 活動指標

[定性指標]

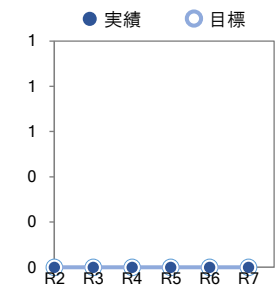
関係部局と連携を図りながら、小中学校全校の屋内運動場へのエアコンの設置を計画的に実施し、教育環境の向上及び災害時における避難所としての防災機能の強化を図ります。

▶ R4実績

小学校11校、中学校7校の屋内運動場について、設計施工一括発注方式によりエアコン等設置工事を実施しました。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
-	-	目標	-	-	-	-	-
		実績	-	-	-	-	-
		評価	-	-	-	-	-



3 | 成果指標

[定性指標]

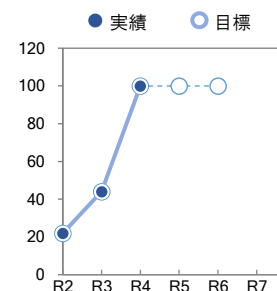
地域の避難所となっている小中学校の屋内運動場について、災害対策上の観点からエアコン等を設置し、防災機能の強化を図ります。

▶ 評価 ▶ R4実績

- -

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
屋内運動場へのエアコン導入	%	目標	22	44	100	100	100
		実績	22	44	100	-	-
		評価	○	○	○	-	-



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

目標を達成した指標についての今後の課題等

小中学校は災害時の指定避難所となっているため、今後は設置した屋内運動場エアコン等の適正な維持管理を行っていく必要があります。

引き続き学校及び関係各課と調整を図り、教育環境の向上及び災害時における避難所としての防災機能の強化を図ります。

II 非運動・ 数値化可能	I 運動・ 数値化可能
IV 非運動・ 数値化困難	III 運動・ 数値化困難

1 | 概要

学習指導要領を踏まえ、児童生徒が学習内容を確実に身に付けられるよう、必要な教材教具の整備を進めます。特にICT支援員を活用するとともに、GIGAスクール構想に基づき、整備した一人一台タブレット端末、高速大容量のネットワーク、電源キャビネットを活用し、プログラミング教育を含めた学習活動の充実を図ります。



2 | 活動指標

[定性指標]

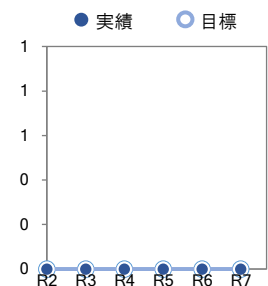
GIGAスクール構想に基づき、整備した一人一台タブレット端末等を積極的に活用し、プログラミング教育を含めた学習活動の充実や授業改善を通して、児童生徒の情報活用能力の向上を図ります。

▶ R4実績

- ・一人一台タブレット端末を整備することで、一人ひとりの学習状況に応じた学びやお互いの考えをリアルタイムで共有することができるようになりました。
- ・教員がタブレット端末を使った授業を積極的に行っていくよう、ICT支援員を派遣し、研修、情報教育機器を活用した授業の準備、授業における学習支援等を行うことで教職員及び児童・生徒の情報機器の活用の推進を図ることができました。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
-	目標	-	-	-	-	-	-
	実績	-	-	-	-	-	-
	評価	-	-	-	-	-	-



3 | 成果指標

[定性指標]

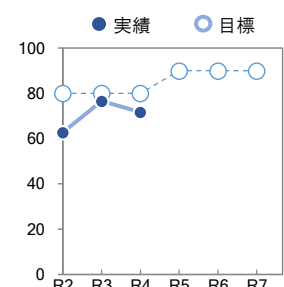
ICTを授業の中で積極的に活用し、学習活動の充実や授業改善を図るとともに、児童生徒の情報活用能力の向上を目指します。

▶ 評価 ▶ R4実績

- -

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
教育の情報化に関する調査において「授業中にICTを活用し、児童生徒にICTを活用させることができる」と回答した小中学校の教員の割合	%	80	80	80	90	90	90
	実績	62.7	76.6	71.7			
	評価	▲	▲	▲			



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

目標値には達しませんでした。ICTを活用した授業の実施が進んだことにより、新たな課題を感じる機会が生まれたためと考えられます。

各校の効果的なICT活用事例の共有や、教職員研修の充実を通して、教員のICT活用能力の向上を図ります。

目標を達成した指標についての今後の課題等

II	非連動・ 数値化可能	I	連動・ 数値化可能
IV	非連動・ 数値化困難	III	連動・ 数値化困難

1 | 概要

小学校の子供たちが安全に安心して過ごせる居場所として、市内全小学校（21校）に放課後子ども教室を開設しています。



2 | 活動指標

[定性指標]

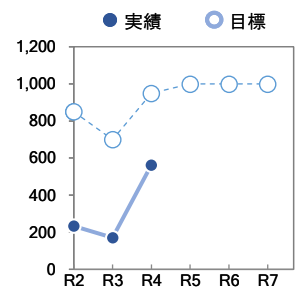
▶ R4実績

放課後子ども教室の開催日の拡充を目指し、小学校内の活動場所及び人材の確保を図るとともに、学校や地域と連携を進めていきます。

—

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
放課後子ども教室の開催回数	目標	850	700	950	1,000	1,000	1,000
	実績	234	171	563			
	評価	▲	▲	▲			



3 | 成果指標

[定性指標]

▶ 評価 ▶ R4実績

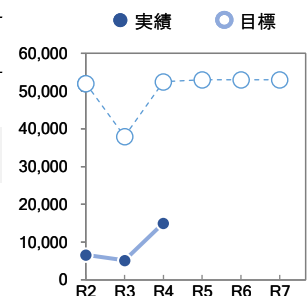
放課後の児童の安全で安心な居場所である、放課後子ども教室の開催日を拡充し、参加する児童数を増やします。

—

—

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
放課後子ども教室の参加者数	目標	52,000	38,000	52,500	53,000	53,000	53,000
	実績	6,595	5,165	15,030			
	評価	▲	▲	▲			



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、放課後子ども教室の開催中止があり、同教室の開催回数及び参加者数の目標を達成できませんでした。

目標を達成した指標についての今後の課題等

II 非運動・ 数値化可能	I 運動・ 数値化可能
IV 非運動・ 数値化困難	III 運動・ 数値化困難

1 | 概要

青少年の自主的な活動を支援するため、勤労青少年ホームの施設及び設備を提供するとともに、青少年がいきいきと生活し、自己実現が図れるよう、青少年向けの講座やイベントを開催しています。



2 | 活動指標

[定性指標]

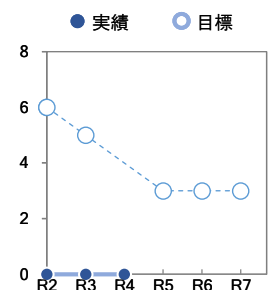
▶ R4実績

青少年自主企画事業における青少年向けのライブイベントコンサートの実施を見直し、新たに市の他のイベントや令和4年10月開設予定の松原児童青少年交流センターを活用し、青少年の自己実現や自己啓発活動を促進させていきます。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
青少年ライブイベント参加団体チーム数	チーム	目標	6	5	-	3	3	3
		実績	0	0	0			
		評価	▲	▲	▲			

※事業の見直し期間とするため、R4修正



3 | 成果指標

[定性指標]

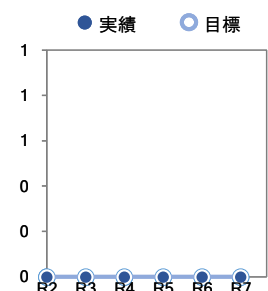
▶ 評価 ▶ R4実績

青少年の自主的な活動の場の提供を行うとともに、社会参画を促し、自主性や社会性を備えた自立した市民を増やします。

○ 青少年の自主的な活動の場を提供するために、青少年の居場所として、勤労青少年ホーム一部施設を年間70日間程度無料開放し、青少年の健全な育成支援を図り、社会参画を促し、自主性や社会性を備えた自立した青少年の育成に努めました。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
-	-	目標	-	-	-	-	-
		実績	-	-	-	-	-
		評価	-	-	-	-	-



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

目標を達成した指標についての今後の課題等

引き続き、青少年の居場所として勤労青少年ホーム一部施設を無料開放し、青少年の自主的な活動を支援します。

II 非連動・ 数値化可能	I 連動・ 数値化可能
IV 非連動・ 数値化困難	III 連動・ 数値化困難

1 | 概要

地域のまちづくりにおける中心的役割を果たす町会・自治会の重要性を周知し、加入及び参加の促進に取り組むとともに、活発な活動を支援するために資金面での補助を行っています。



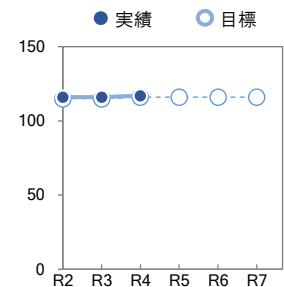
2 | 活動指標

[定性指標]

▶ R4実績

町会・自治会の取組みに対し、草加市自治協力団体補助金の交付を通じて支援します。

[定量指標] (数値目標)			第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6	R7
自治協力団体補助金の 交付団体数	団体	目標	115	115	116	116	116	116
		実績	116	116	117			
		評価	○	○	○			



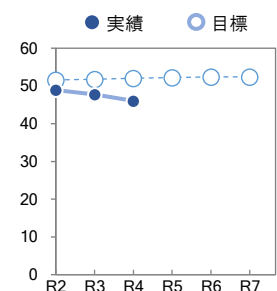
3 | 成果指標

[定性指標]

▶ 評価 ▶ R4実績

町会・自治会の加入及び参加の促進に努めます。

[定量指標] (数値目標)			第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6	R7
町会・自治会への加入 率	%	目標	51.6	51.8	52	52.2	52.4	52.4
		実績	48.9	47.72	46.05			
		評価	▲	▲	▲			



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

暮らしや社会環境の変化に伴い、市民の地域に対する関わり方が変化していることや、町会・自治会が担う負担の増加により、町会・自治会に加入する市民が減少しています。市内の世帯数は増加傾向にありますが、その増加世帯を町会・自治会への加入に繋げられていないことから、町会・自治会への加入率が減少しています。

目標を達成した指標についての今後の課題等

活発な町会・自治会活動を支援するため、今後も継続して、自治協力団体補助金の周知を行います。

II 非連動・ 数値化可能	I 連動・ 数値化可能
IV 非連動・ 数値化困難	III 連動・ 数値化困難

1 | 概要

「草加市みんなでまちづくり自治基本条例」の基本方針にもとづき、市民の主体的なまちづくり活動を促進するため、資金・人材・情報・場所などに関する支援を行っています。



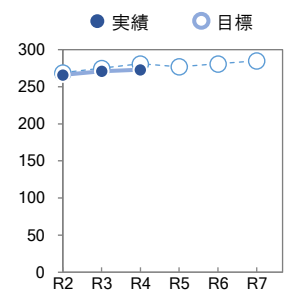
2 | 活動指標

[定性指標]

▶ R4実績

市民活動団体の主体的なまちづくり活動を支援するため、草加市ふるさとまちづくり応援基金助成事業規則に基づき団体の活動に必要な費用の一部を助成します。
 また、「草加市みんなでまちづくり自治基本条例」の検証に基づき、新しい市民自治の仕組みを検討します。

[定量指標] (数値目標)		第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
指標	単位	R2	R3	R4	R5	R6	R7
草加市ふるさとまちづくり応援基金助成金の交付団体数 (累計)	目標	269	275	281	277	281	285
	実績	266	271	273			
	評価	▲	▲	▲			



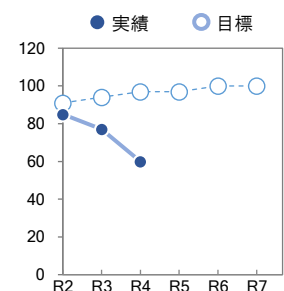
3 | 成果指標

[定性指標]

▶ 評価 ▶ R4実績

多様な主体によるコミュニティ活動が盛んになることを目指します。

[定量指標] (数値目標)		第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
指標	単位	R2	R3	R4	R5	R6	R7
市民活動センター登録団体数	目標	91	94	97	97	100	100
	実績	85	77	60			
	評価	▲	▲	▲			



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

●草加市ふるさとまちづくり応援基金助成金の交付団体数
(累計)

本基金の助成は、回数や年度に制限を設けています。現在、活動している団体の多くがすでに助成を受けているため、応募自体が減少傾向にあり、指標目標を下回りました。

●市民活動センター登録団体数

団体構成員の高齢化等に伴い、団体活動が消滅、または休止したため登録団体数が減少。それにより指標目標を下回りました。

目標を達成した指標についての今後の課題等

(4) 地域の共生～ともに力をあわせて自分たちのまちをつくる
 3) とともに暮らす地域づくり

指標コード 2301

指標タイプ

施策 | 23 地域福祉の推進

施策の柱 | 01 地域福祉活動の推進

担当部局 | 健康福祉部
 担当課 | 福祉政策課

II 非連動・ 数値化可能	I 連動・ 数値化可能
IV 非連動・ 数値化困難	III 連動・ 数値化困難

1 | 概要

コミュニティソーシャルワーカー（CSW）を配置し、地域での生活のしづらさや困りごとに対する伴走的な支援や地域の相談体制づくりなどに取り組み、地域における支え合いを推進します。



2 | 活動指標

[定性指標]

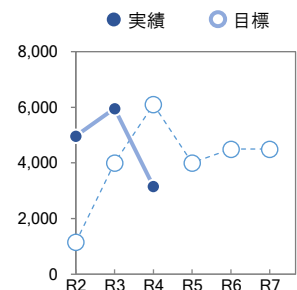
▶ R4実績

CSWの計画的な配置や積極的な周知活動などを通じ、CSWに相談しやすい環境を整備します。

—

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
CSW延相談件数	目標	1,150	4,000	6,100	4,000	4,500	4,500
	実績	4,965	5,960	3,160			
	評価	○	○	▲			



3 | 成果指標

[定性指標]

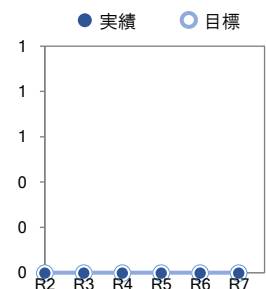
▶ 評価 ▶ R4実績

伴走的な支援や地域の相談体制づくりなどに取り組み、いきいきと安心して暮らすことのできる環境の整備に努めます。

○ 伴走的な支援や地域の相談体制づくりなどに取り組み、いきいきと安心して暮らすことのできる環境の整備に努めました。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
—	目標	—	—	—	—	—	
—	実績	—	—	—	—	—	
—	評価	—	—	—	—	—	



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

継続していた課題を適切な支援へつなげるなどの整理を行い、それぞれの支援機関での対応ができるようになったことで、延相談件数の減少が図られたものと考えます。

目標を達成した指標についての今後の課題等

II	非運動・ 数値化可能	I	運動・ 数値化可能
IV	非運動・ 数値化困難	III	運動・ 数値化困難

1 | 概要

就労の安定に係る各種情報の提供、相談業務の充実に努めるとともに、少子高齢化の急激な進行に伴う労働年齢の構造的変化などの各種課題に対応するために、関係機関と連携を図りながら、若年者、高年者、障がい者および女性の就労支援等および勤労者福祉を推進します。



2 | 活動指標

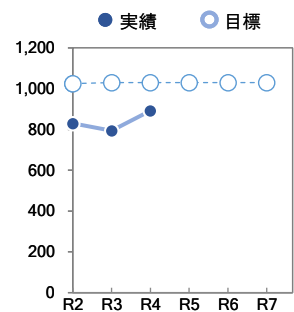
[定性指標]

▶ R4実績

内職相談や就職相談、労働講座、就職支援セミナー、就職面接会を行い、ハローワークをはじめ国や埼玉県、さらには商工会議所などの諸団体とも連携・協働を図りながら、市としての取組を強化します。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
内職相談・就職相談件数	目標	1,025	1,030	1,030	1,030	1,030	1,030
	実績	830	794	892			
	評価	▲	▲	▲			



3 | 成果指標

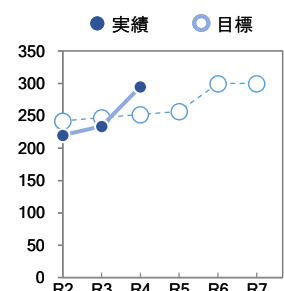
[定性指標]

▶ 評価 ▶ R4実績

勤労者・雇用対策に取り組むことによって、内職相談斡旋人数や就職相談による就労決定者を増加させます。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
内職斡旋・就労決定人数	目標	242	247	252	257	300	300
	実績	220	234	295			
	評価	▲	▲	○			



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

目標を達成した指標についての今後の課題等

新型コロナウイルスの影響があるが、感染症対策に注意を払いながら、内職相談や就職相談を実施し、内職斡旋・就労決定人数は目標値を上回りました。
雇用情勢は引き続き不透明であるが、関係機関と連携し、周知の充実を図り、就労支援の強化に努めました。

(4) 地域の共生～ともに力をあわせて自分たちのまちをつくる
 3) とともに暮らす地域づくり

指標コード 2402

指標タイプ

施策 | 24 就労支援・勤労者福祉の推進

II 非連動・数値化可能 I 連動・数値化可能

施策の柱 | 02 勤労者福利厚生の実現

担当部局 | 市民生活部
 担当課 | 暮らし安全課

IV 非連動・数値化困難 III 連動・数値化困難

1 | 概要

労働団体及び消費者団体の活動拠点として、効果的・効率的な施設運営を行うとともに、勤労者対象のセミナー等を通じ福利厚生の実現を図ります。



2 | 活動指標

[定性指標]

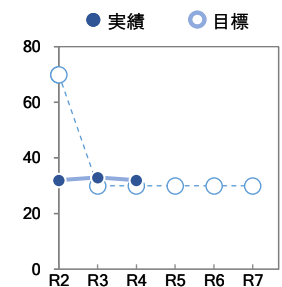
▶ R4実績

労働者の権利、労働環境、使用者との関係や政治・経済情勢等は目まぐるしく変化しています。そうした状況を適切に把握し、より良い職場環境づくり等に役立つ知識を広く提供するため、身近な問題をテーマに労働講座等を開催します。

—

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
労働講座開催数	回	目標	70	30	30	30	30
		実績	32	33	32		
		評価	▲	○	○		



3 | 成果指標

[定性指標]

▶ 評価 ▶ R4実績

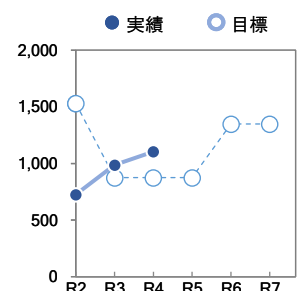
労働講座等の参加者に複雑・多様化する労働問題や労働法に関する知識・情報を県内労使に対して広く周知し、健全な労使関係の実現、より良い職場環境づくりによる勤労者福利厚生の実現を推進します。

—

—

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
労働講座参加者数	人	目標	1,530	875	875	875	1,350 1,350
		実績	726	988	1,104		
		評価	▲	○	○		



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

目標を達成した指標についての今後の課題等

新型コロナウイルスの影響があるが、感染症対策に注意を払いながら労働講座などを実施しました。
また、関係機関と連携し、労働講座の周知の充実を図り、就労支援の強化に努めました。

(4) 地域の共生～ともに力をあわせて自分たちのまちをつくる
 3) ともに暮らす地域づくり

指標コード 2501

指標タイプ

施策 | 25 障がい者福祉の推進
 施策の柱 | 01 自立と社会参加の支援

担当部局 | 健康福祉部
 担当課 | 障がい福祉課

II	非運動・ 数値化可能	I	運動・ 数値化可能
IV	非運動・ 数値化困難	III	運動・ 数値化困難

1 | 概要

単独で歩行のできない又は心身上の障がいを起因として歩行を困難としている在宅の心身障がい者等に対し、自立した生活及び社会参加の促進を図ることを目的に、タクシー初乗運賃分又は自動車燃料費の一部を助成する利用券を交付しています。



2 | 活動指標

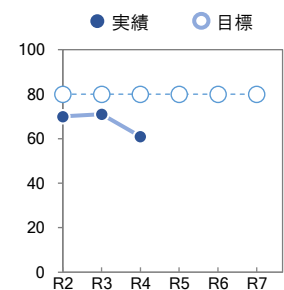
[定性指標]

▶ R4実績

交付対象者のうち、利用券を必要としている者に対し適切に利用券が交付できるよう、身体障害者手帳等交付時に制度の説明を行うとともに、市ホームページや広報紙に制度概要等を掲載することで、広く周知を行います。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
総支給者割合 (対象者に対する支給者数)	%	目標	80	80	80	80	80
		実績	70	71	61		
		評価	▲	▲	▲		



3 | 成果指標

[定性指標]

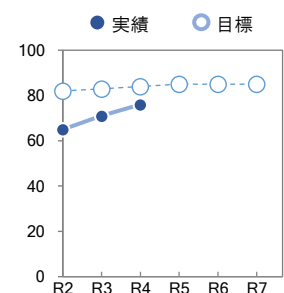
▶ 評価 ▶ R4実績

交付対象者について、入院している方についても利用可能としたことで利便性の向上が見込まれます。

タクシー券について、令和5年度から初乗運賃の2倍以上の料金となった場合に限り、2枚まで利用が可能となったことから、さらに利用割合が増加することが見込まれるため、今後も事業の方法について埼玉県等と調整し、外出支援に資する事業とできるよう努めます。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
利用券利用割合 (総交付枚数に対する利用枚数)	%	目標	82	83	84	85	85
		実績	65	71	76		
		評価	▲	▲	▲		



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

利用券の交付率について、タクシー分は減少し、自動車燃料費分は増加しました。自動車燃料費利用券が、利便性の高いセルフスタンドでも使えることが浸透したことにより、タクシー利用券から変更する人が多くいたと思われます。全体の交付率については、窓口に来ることが困難な方や、利用券の配布は原則窓口交付としていたことから、窓口に来ることが困難な利用者やコロナウイルス感染症は落ち着きつつあったものの、外出自体や人との接触をできるだけ控えたい利用者の交付率に影響を与えたと考えます。

なお、利用券の受け取り方法については、毎年申請が必要だったものを見直し、令和4年度以降に申請された場合は、要件から外れない限り申請時の内容に基づいた自動配布に変更し改善を図ります。

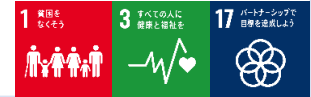
目標を達成した指標についての今後の課題等

対象者の意見や他市町村の実施状況等を踏まえ、さらなる利便性の向上を努めます。

II 非運動・ 数値化可能	I 運動・ 数値化可能
IV 非運動・ 数値化困難	III 運動・ 数値化困難

1 | 概要

常時おむつの使用を必要とする重度の身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者に対し、障がい者及び家族の経済的負担を軽減すること、障がい者の安定した在宅生活を確保することを目的に支援を行っています。



2 | 活動指標

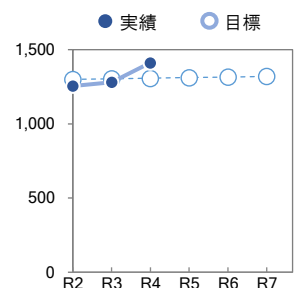
[定性指標]

▶ R4実績

サービス等利用計画作成の調査や、日頃のケースワークを通じ在宅におけるおむつ常時使用者を適切に把握し、対象者の状態に合うおむつの種類、組み合わせを提示し支給することで、障がい者及び家族の経済的負担の軽減及び障がい者の安定した在宅生活の確保に努めます。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
延支給者数	人						
	目標	1,300	1,304	1,308	1,312	1,316	1,320
	実績	1,255	1,281	1,412			
	評価	▲	▲	○			



3 | 成果指標

[定性指標]

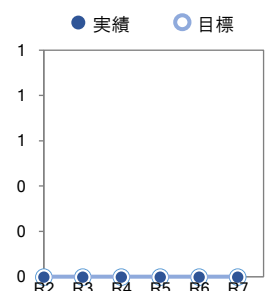
▶ 評価 ▶ R4実績

引き続き、障がい者及び家族の経済的負担の軽減及び障がい者の安定した在宅生活を確保するための支援を行います。

○ 対象者の体格や生活・障がい特性に応じたおむつを支給することで、介護者の負担を減らし安定した在宅生活が送れるよう努めました。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
-	-						
	目標	-	-	-	-	-	-
	実績	-	-	-	-	-	-
	評価	-	-	-	-	-	-



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

目標を達成した指標についての今後の課題等

支給対象となるおむつの種類や枚数の増加等を実施してきたことにより、目標達成を達成し介護者の負担軽減に繋がりました。引き続き重度障がい者が安定した在宅生活を送れるよう努めてまいります。

II 非運動・ 数値化可能	I 運動・ 数値化可能
IV 非運動・ 数値化困難	III 運動・ 数値化困難

1 | 概要

身体障がい者、知的障がい者及び精神障がい者が各障がいに応じて必要となる日中活動の場となる施設への通所に向けた適切な支援を実施します。



2 | 活動指標

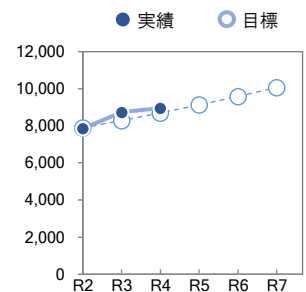
[定性指標]

▶ R4実績

障がい者の状況に応じた適切なサービスが何であるかを見極めた上で、日中活動の場となる施設への通所に向け適切な支援を実施し、利用に係る費用を給付します。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
延通所者数	人	7,893	8,287	8,701	9,136	9,592	10,071
	目標						
	実績	7,852	8,729	8,961			
	評価	▲	○	○			



3 | 成果指標

[定性指標]

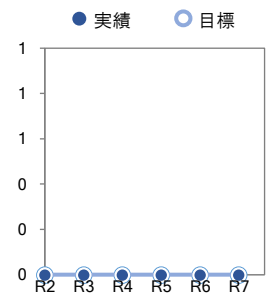
▶ 評価 ▶ R4実績

引き続き、障がい者の心身の状態に適合した障害福祉サービスの提供を目指します。

○ 障がい者手帳取得所持者の増加による利用対象者の増加に加え、計画相談の利用を促進し、アウトリーチ活動に努めた結果、目標を達成しています。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
-	-	-	-	-	-	-	
	目標						
	実績	-	-	-	-	-	
	評価	-	-	-	-	-	



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

目標を達成した指標についての今後の課題等

引き続き、サービスの利用促進に向け、相談窓口の充実を図り、適切なサービス利用につながるよう努めてまいります。

(4) 地域の共生～ともに力をあわせて自分たちのまちをつくる
 3) とともに暮らす地域づくり

指標コード 2601

指標タイプ

施策 | 26 生活保護世帯・生活困窮者の自立支援

施策の柱 | 01 生活保護世帯・生活困窮者の自立支援

担当部局 | 健康福祉部
 担当課 | 生活支援課

II	非連動・ 数値化可能	I	連動・ 数値化可能
IV	非連動・ 数値化困難	III	連動・ 数値化困難

1 | 概要

経済的に困窮しているなど様々な悩みを抱え生活にお困りの方（生活困窮者）については、まるごとサポートSOKA（生活困窮者自立相談支援窓口）を設置し、生活困窮者の状況・状態に応じた自立支援計画を作成し、必要な支援を実施することで、生活困窮状態からの早期脱却及び自立の促進を図ります。

また、生活保護を要する方については、必要な調査・審査等を行った上で、適切な保護を実施し、自立の助長に向けた援助を行います。被保護者のうち、就労可能な方には、その方の状況・状態に応じて就労支援、就労の準備に向けた支援を行い、疾病や傷病等により就労が困難な方には家庭訪問等により状況を把握し、関係機関と連携しながら日常生活の安定に向けた支援等を行います。



2 | 活動指標

[定性指標]

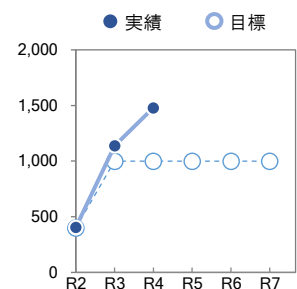
▶ R4実績

被保護者のうち、就労が可能な方については、担当ケースワーカー、ステップアップサポートSOKA（就労支援事業、就労準備支援事業）及びジョブスポット草加（ハローワーク草加）が連携し、被保護者の状況・状態に応じて就労支援、就労の準備に向けた支援を行います。

—

[定量指標]（数値目標）

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
就労支援に係る訪問・面接等の件数（被保護者就労支援事業）	目標	400	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
	実績	405	1,139	1,480			
	評価	○	○	○			



3 | 成果指標

[定性指標]

▶ 評価 ▶ R4実績

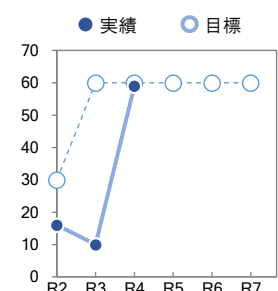
生活保護受給世帯の状況に応じた支援を実施し、世帯の自立を目指します。

—

—

[定量指標]（数値目標）

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
被保護者就労支援事業により支援を行い、就労・増収に結び付いた件数	目標	30	60	60	60	60	60
	実績	16	10	59			
	評価	▲	▲	▲			



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

主な要因としては、関係機関等と情報を共有しながら、被保護者（被保護世帯）の状況に応じた伴走的支援を行うための手法が十分ではなかったことが挙げられます。今後は、就労に向けた進捗管理方法を確立し、実践と修正を繰り返しながら支援を実施します。また、必要に応じて、適切な指標及び目標設定であったかについての検討も併せて行っていきます。

目標を達成した指標についての今後の課題等

訪問や面接の回数は目標を上回っており、実施している内容が利用者の状況・状態の改善に繋がっているか否か検証を実施しました。令和5年度についても年間を通じた実施状況を確認しながら、同検証を行い目標達成率の増加に向けて実施していきます。

(4) 地域の共生～ともに力をあわせて自分たちのまちをつくる
 3) とともに暮らす地域づくり

指標コード 2701

指標タイプ

施策 | 27 国際交流・地域間交流の推進
 施策の柱 | 01 国際交流・地域間交流の推進

担当部局 | 総合政策部
 担当課 | 人権共生課

II 非運動・ 数値化可能	I 運動・ 数値化可能
IV 非運動・ 数値化困難	III 運動・ 数値化困難

1 | 概要

NPO法人Living in Japanとの業務協定により国際相談コーナーを開設し、日本語を母語としない市民に対する生活支援や児童・生徒に対する日本語支援などを行っています。



2 | 活動指標

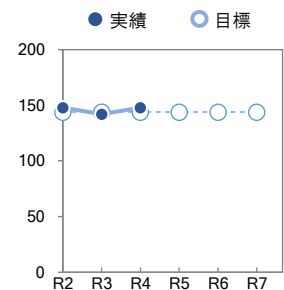
[定性指標]

▶ R4実績

日本語を母語としない市民に対して、NPO法人Living in Japanと国際相談コーナー事業に関して、業務協定を締結し、市役所の窓口手続きや日本語学習問合せなどの生活支援を行うとともに、外国籍児童・生徒には、学校生活や学習支援などを行っています。
 また、支援内容を草加市ホームページや広報紙、転入者への案内資料でPRするとともに、就学時検診などの草加市からのお知らせの中に「国際相談コーナー」の案内文を入れることにより、外国籍市民に周知して行きます。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
国際相談コーナー開設 日数	目標	144	144	144	144	144	144
	実績	148	142	148			
	評価	○	▲	○			



3 | 成果指標

[定性指標]

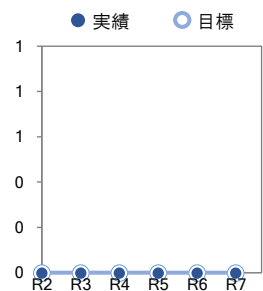
▶ 評価 ▶ R4実績

国際相談コーナーの充実及び周知を図ることで、日本語を母語としない市民が国際相談コーナーを利用し、生活支援及び学習支援を行いながら、住みやすい生活環境の構築に努めます。

○ 日本語を母語としない市民が、地域の人たちと一緒になじみ暮らせるよう、庁内関係課との連携を強化し、国際相談コーナーによる支援の充実に努めました。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
-	目標	-	-	-	-	-	-
	実績	-	-	-	-	-	-
	評価	-	-	-	-	-	-



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

目標を達成した指標についての今後の課題等

国際相談コーナーは、月・水・金曜日に開設しており、祝日との重なりが少なかったことから、数値目標を達成することができました。

今後も、草加市ホームページなどで、国際相談コーナーの周知を図り、生活支援や学習支援を行いながら、住みやすい生活環境の構築に努めます。

(4) 地域の共生～ともに力をあわせて自分たちのまちをつくる
 3) とともに暮らす地域づくり

指標コード 2801

指標タイプ

施策 | 28 人権の尊重

施策の柱 | 01 平和への貢献

担当部局 | 総合政策部
 担当課 | 人権共生課

II 非運動・ 数値化可能	I 運動・ 数値化可能
IV 非運動・ 数値化困難	III 運動・ 数値化困難

1 | 概要

市民に平和の大切さを広く周知するため、市民団体と連携し、講演会等の各種事業を実施しています。また、市内在住の中学生を対象に平和に対する理解を深めるため、平和大使派遣事業を実施しています。



2 | 活動指標

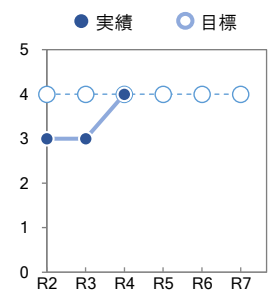
[定性指標]

▶ R4実績

「草加市平和都市宣言」の主旨の普及を図るため、市民団体との協働による平和の日講演会の開催や平和パネル展、平和大使の派遣等を行います。
 また、開催にあたっては、草加市ホームページや広報そうか等で周知するとともに、講師・テーマ・会場の選定等、内容を工夫して市民の参加を促進します。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
平和事業実施回数	目標	4	4	4	4	4	4
	実績	3	3	4			
	評価	▲	▲	○			



3 | 成果指標

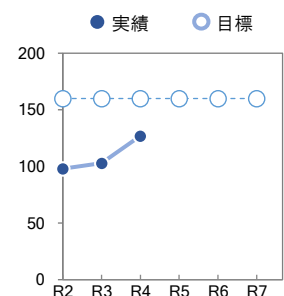
[定性指標]

▶ 評価 ▶ R4実績

講演会などへの参加者を増やし、「草加市平和都市宣言」の主旨に対する認識を持つ市民を増やします。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
平和事業の参加者数	目標	160	160	160	160	160	160
	実績	98	103	127			
	評価	▲	▲	▲			



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

平和施設見学会については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止にしました。

また、平和の日講演会及び平和DVD上映会を新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、会場の利用制限等を行いながら開催したことで、参加者が例年より減少しました。

今後も、草加市平和都市宣言の普及及び平和に対する理解を深めるため、市民団体と事業内容を協議し、協働で講演会等の平和事業を開催します。

目標を達成した指標についての今後の課題等

(4) 地域の共生～ともに力をあわせて自分たちのまちをつくる
 3) とともに暮らす地域づくり

指標コード 2802

指標タイプ

施策 | 28 人権の尊重

施策の柱 | 02 人権啓発の推進

担当部局 | 総合政策部
 担当課 | 人権共生課

II 非連動・ 数値化可能	I 連動・ 数値化可能
IV 非連動・ 数値化困難	III 連動・ 数値化困難

1 | 概要

市民、職員の人権意識の啓発を図るため、職員研修の実施、北足立郡市町同和対策推進協議会と連携し、人権フェスティバル、研修会を開催しています。また、人権擁護委員による人権相談を実施しています。



2 | 活動指標

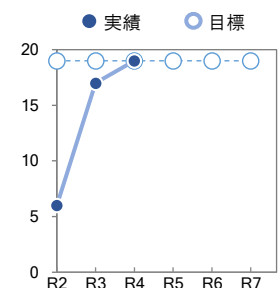
[定性指標]

▶ R4実績

市民、職員の人権意識の啓発や、平成28年12月に成立した『部落差別の解消の推進に関する法律』（部落差別解消法）の周知を図るため、職員研修を実施するほか、北足立郡市町同和対策推進協議会と連携し、人権フェスティバル、研修会を開催します。
 人権啓発事業の開催については、草加市ホームページや広報紙などで周知し、より多くの市民が参加できるようにします。併せて、市内の公共施設において、人権相談を実施し、市民の人権に関する問題の解決に努めます。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
人権啓発事業実施回数	目標	19	19	19	19	19	19
	実績	6	17	19			
	評価	▲	▲	○			



3 | 成果指標

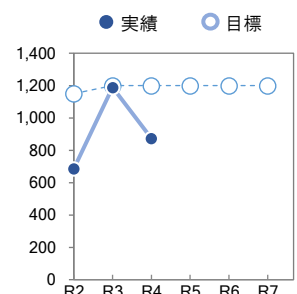
[定性指標]

▶ 評価 ▶ R4実績

人権啓発事業への参加者を増やし、人権意識や部落差別解消法の趣旨についての正しい理解と認識を深めます。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
人権啓発事業の参加者数	目標	1150	1200	1200	1200	1200	1200
	実績	686	1189	874			
	評価	▲	▲	▲			



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

人権啓発講演会、各種研修会及び北足立郡市町人権フェスティバルを新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、会場の利用制限等を行いながら開催したことで、参加者が例年より減少しました。

一方で、性的少数者の困難や生きづらさの軽減に繋げるためのパートナーシップ宣誓制度において、パートナーの子も含めた関係性を認めるファミリーシップの導入及び簡易な手続で同制度を継続できる自治体間連携に向けて、要綱改正の手続等を行いました。

今後も職員及び市民が様々な人権課題について理解を深めていくことが重要であり、引き続き、職員研修及び人権啓発事業を実施します。

目標を達成した指標についての今後の課題等

II 非運動・ 数値化可能	I 運動・ 数値化可能
IV 非運動・ 数値化困難	III 運動・ 数値化困難

1 | 概要

児童生徒一人ひとりの発達段階に応じた人権を大切にしようとする教育を推進し、人権意識の高揚を図り、人権についての正しい理解を深め、様々な人権問題を解決しようとする児童生徒の育成を目指します。

また、管理職対象の研修会を始め、教職員の人権教育研修会の充実を図ります。人権感覚を磨く授業づくりを推進するとともに、実感を伴うような研修会や関係施設の視察などを通して教員の指導力の向上を図ります。

さらに、子どもの人権擁護の視点に立ち、基本的人権を尊重する意識の醸成・定着・高揚に努めます。



2 | 活動指標

[定性指標]

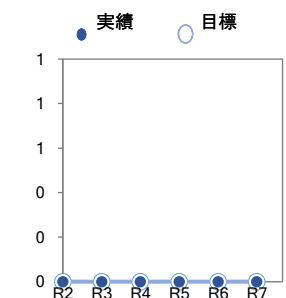
児童生徒が自他を尊重する人権意識を高め、主体的に行動していく実践力を身に付けるために、新しい人権感覚育成プログラムを取り入れた学習や白杖を使ったアイマスク体験など様々な体験的な学習等を通して、人権問題について自ら学び、考える力やコミュニケーション能力の向上を養います。

▶ R4実績

- ・人権感覚育成プログラムの活用について様々な場面で紹介するとともに、年間指導計画に位置付けるよう指導しました。
- ・人権作文、人権標語に全小中学校で取り組み、草加市人権文集「なかま」を発行したり、人権標語の代表作品を短冊にし、全小中学校及び公共施設に掲示するなど、人権問題について考える機会を設定しました。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
-	目標	-	-	-	-	-	-
	実績	-	-	-	-	-	-
	評価	-	-	-	-	-	-



3 | 成果指標

[定性指標]

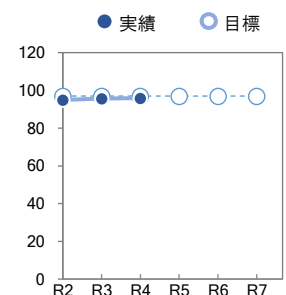
自他を尊重する人権意識の高揚を図ることで、人の気持ちが分かる児童生徒を育てます。

▶ 評価 ▶ R4実績

- -

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
草加市学力・学習状況調査における「人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか」という質問に「当てはまる」又は「どちらかといえば、当てはまる」と回答した生徒の割合	%	97	97	97	97	97	97
	実績	94.9	95.6	95.9			
	評価	▲	▲	▲			



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

少しずつ伸びが見られますが、目標値には到達しませんでした。

「特別の教科 道徳」の授業を核に、学校の全教育活動を通じて、人権意識の高揚を図り、引き続き人権教育を推進します。

目標を達成した指標についての今後の課題等

(4) 地域の共生～ともに力をあわせて自分たちのまちをつくる
 3) とともに暮らす地域づくり

指標コード 2804

指標タイプ

施策 | 28 人権の尊重

施策の柱 | 04 男女共同参画社会の実現

担当部局 | 総合政策部
 担当課 | 人権共生課

II 非運動・ 数値化可能	I 運動・ 数値化可能
IV 非運動・ 数値化困難	III 運動・ 数値化困難

1 | 概要

男女共同参画社会の実現に向けた意識啓発を推進するため、男女共同参画フォーラム等を開催するとともに、男女共同参画さわやかサロンの運営を行っています。



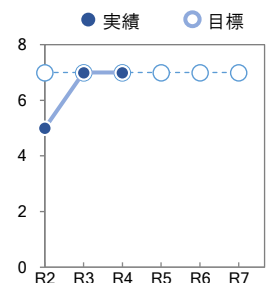
2 | 活動指標

[定性指標]

▶ R4実績

男女共同参画社会の実現に向けた意識啓発を推進するため、男女共同参画フォーラムの開催や男女共同参画さわやかサロンにおいて講座を開催します。
 また、講演会の開催時は、草加市ホームページや広報そうか等で周知するとともに、講師・テーマ・会場の選定等、内容を工夫して市民の参加を促進します。

[定量指標] (数値目標)			第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6	R7
講演会等実施回数	回	目標	7	7	7	7	7	7
		実績	5	7	7			
		評価	▲	○	○			



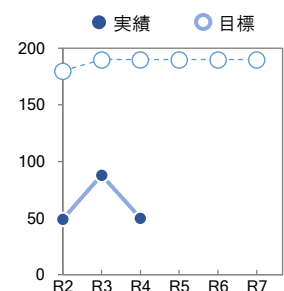
3 | 成果指標

[定性指標]

▶ 評価 ▶ R4実績

講演会などへの参加者を増やし、男女共同参画社会の取組に対する認識を持つ市民を増やします。

[定量指標] (数値目標)			第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6	R7
講演会等参加者数	人	目標	180	190	190	190	190	190
		実績	49	88	50			
		評価	▲	▲	▲			



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

男女共同参画フォーラム及びセミナー等を新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、会場の利用制限等を行いながら開催したことで、参加者が例年より減少しました。しかし、男女共同参画社会の実現に向けた意識啓発を推進するため、内容を工夫し市民の参加を促進しながら、引き続き、男女共同参画フォーラムや男女共同参画セミナー等を開催します。

目標を達成した指標についての今後の課題等

(4) 地域の共生～ともに力をあわせて自分たちのまちをつくる
4) 草加らしい豊かな暮らし

指標コード 2901

指標タイプ

施策 | 29 学びの成果が発揮される生涯学習の推進

施策の柱 | 01 生涯を通じた多様な学習機会の充実

担当部局 | 教育総務部
担当課 | 生涯学習課

II 非運動・ 数値化可能	I 運動・ 数値化可能
IV 非運動・ 数値化困難	III 運動・ 数値化困難

1 | 概要

市民一人ひとりのライフステージに応じた多様な学習情報や様々な手法による学習機会を提供するために、市内にある学習情報を集約化した生涯学習情報提供サイト「マイ・ステージ」を運営します。



2 | 活動指標

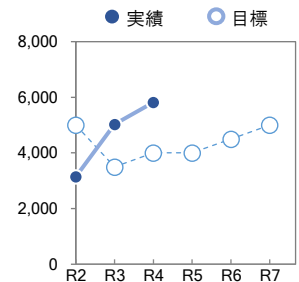
[定性指標]

▶ R4実績

生涯学習を行っている団体による生涯学習情報提供サイトの利用を促進します。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
情報サイト「マイ・ステージ」の月間平均アクセス数	目標	5,000	3,500	4,000	4,000	4,500	5,000
	実績	3,147	5,032	5,818			
	評価	▲	○	○			



3 | 成果指標

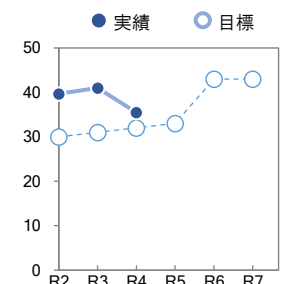
[定性指標]

▶ 評価 ▶ R4実績

学びを通して得た絆をいかし、地域を支える人材の育成を目指します。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
生涯学習活動を通じて身に付けた知識・技能や経験等を、地域活動やボランティア活動にいかしている人の割合	目標	30	31	32	33	43	43
	実績	39.7	41.0	35.5			
	評価	○	○	○			



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

目標を達成した指標についての今後の課題等

令和2年度より新たな指標設定を行うに当たり、草加市の現状が分からないことから、類似の指標のある「第3期埼玉県教育振興基本計画」の数値を目標値といたしました。その後、生涯学習課でアンケートを取ったところ、目標値を上回る結果となりました。目標値の再設定に当たっては、より適当な数値となるよう今後の推移を注視して検討してまいります。

II	非連動・ 数値化可能	I	連動・ 数値化可能
IV	非連動・ 数値化困難	III	連動・ 数値化困難

1 | 概要

子どもから高齢者まで生涯を通した学びの場づくりとして公民館・文化センターにおいて生涯学習事業（講座・教室等）を開催しています。



2 | 活動指標

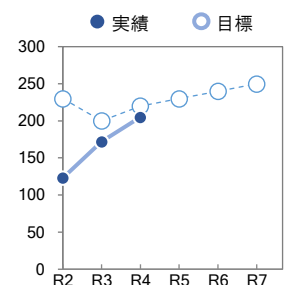
[定性指標]

▶ R4実績

子どもから高齢者まで生涯を通した学びの場づくりとして、公民館・文化センターにおいて生涯学習事業（講座・教室等）を開催します。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
公民館・文化センター 事業数（講座・教室 等）	事業						
	目標	230	200	220	230	240	250
	実績	123	172	205			
	評価	▲	▲	▲			



3 | 成果指標

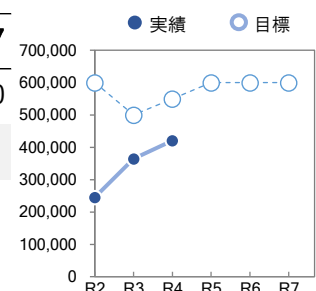
[定性指標]

▶ 評価 ▶ R4実績

講座の実施や団体・サークルの支援等により、公民館・文化センターを活用して生涯学習活動に取り組む市民を増やします。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
公民館・文化センター 利用者数	人						
	目標	600,000	500,000	550,000	600,000	600,000	600,000
	実績	245,385	364,118	420,511			
	評価	▲	▲	▲			



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、参加者数の制限や不特定多数の市民が集まる公民館・文化センターまつりを中止したため、目標を達成することができませんでした。

目標を達成した指標についての今後の課題等

(4) 地域の共生～ともに力をあわせて自分たちのまちをつくる
4) 草加らしい豊かな暮らし

施策 | 29 学びの成果が発揮される生涯学習の推進

施策の柱 | 03 文化遺産の発掘・保存・活用の計画的、継続的な取組の推進

指標コード 2903
担当部局 | 教育総務部
担当課 | 生涯学習課

指標タイプ

II 非運動・ 数値化可能	I 運動・ 数値化可能
IV 非運動・ 数値化困難	III 運動・ 数値化困難

1 | 概要

文化財保護の拠点として、市民や地域社会に親しまれ活用される歴史民俗資料館を目指します。



2 | 活動指標

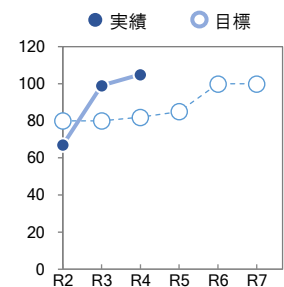
[定性指標]

▶ R4実績

歴史民俗資料館において、講座、歴史に関する講演会、文化財関連の講座の開催、子どもたちのための体験教室、その他季節ごとの催しを展開し、市民が草加の歴史に誇りや愛着を持てる企画を行います。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
歴史民俗資料館での講座等の総開催回数	目標	80	80	82	85	100	100
	実績	67	99	105			
	評価	▲	○	○			



3 | 成果指標

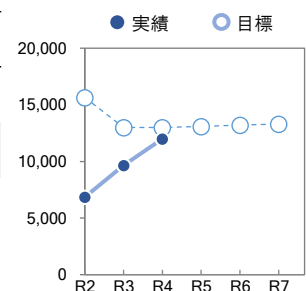
[定性指標]

▶ 評価 ▶ R4実績

草加市民が、歴史民俗資料館の企画する講演・講座・企画展・体験講座などを通して楽しく学び、草加の歴史や文化に誇りや愛着を持ってもらうため、歴史民俗資料館に訪れる人を増やします。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
歴史民俗資料館来館者数	目標	15,650	13,000	13,000	13,100	13,200	13,300
	実績	6,851	9,651	11,997			
	評価	▲	▲	▲			



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

・新型コロナウイルスの感染対策も徐々に見直され、少しずつ来館者数も増えてきましたが、新型コロナウイルス以前の状態には至らず、目標は達成できませんでした。

目標を達成した指標についての今後の課題等

(4) 地域の共生～ともに力をあわせて自分たちのまちをつくる
4) 草加らしい豊かな暮らし

指標コード 2904

指標タイプ

施策 | 29 学びの成果が発揮される生涯学習の推進

施策の柱 | 04 読書活動を支える図書館サービスの充実

担当部局 | 教育総務部
担当課 | 中央図書館

II 非運動・ 数値化可能	I 運動・ 数値化可能
IV 非運動・ 数値化困難	III 運動・ 数値化困難

1 | 概要

中央図書館は、本市における「知の拠点」として、市民の生涯にわたる自主的な学習活動を支援促進するとともに、教養、調査研究、レクリエーションの三つを施設目的として掲げる図書館法に基づき、「図書・その他の資料の充実及び効果的・効率的な提供」「郷土資料等の充実」「レファレンス（※）の充実」「誰もが使いやすい図書館サービスの充実」「子ども読書活動の推進」「快適な利用環境の整備・維持」を柱として取組を推進しています。

（※）レファレンスとは、利用者の課題解決に役立つ調べ物相談のことであり、参考調査ともいいます。市民等が学習・研究・調査を目的として必要な情報・資料等を求めた際に、図書館の職員が資料を検索・提供等のサービスを行います。



2 | 活動指標

[定性指標]

▶ R4実績

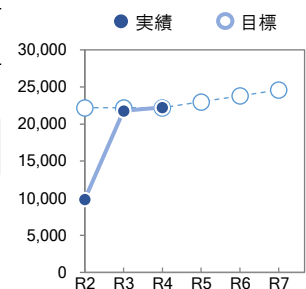
いつでもどこからでも利用可能な電子図書館や魅力ある蔵書の整備、公民館図書室等とのネットワークの活用により、図書館資料を効果的・効率的に提供します。

また、読書に携わるボランティアや関係諸機関と連携し、子どもが読書に親しむ環境の充実を図ります。

さらにレファレンスを充実させ、市民の課題解決に役立つ図書館資料の貸出を増やします。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
レファレンス（参考調査）及び所蔵調査受付件数	目標	22200	22,200	22,200	23,000	23,800	24,600
	実績	9,862	21,788	22,241			
	評価	▲	▲	○			



3 | 成果指標

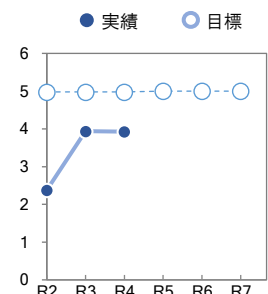
[定性指標]

▶ 評価 ▶ R4実績

図書館資料の新陳代謝を図り、市民1人当たりの年間貸出資料数を増やして、図書館の使命である市民への情報提供を充実させることにより、文化の向上と生活課題の解決に貢献します。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
市民1人当たりの年間貸出資料数	目標	4.98	4.98	4.98	5	5	5
	実績	2.38	3.94	3.93			
	評価	▲	▲	▲			



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

子どもの発達段階に応じたブックリストの配布や学校・市民ボランティア等と連携した様々な取組により、子どもと本の出会いを創出し児童書の貸出数を増やすことができました。また、レファレンス（参考調査や所蔵調査）の受付件数は前年度より増加し、資料や調べ方の案内など利用者の課題解決のお手伝いことができました。しかし、全体として、貸出利用者数や貸出点数を増やすことができなかったため、目標を達成することができませんでした。

目標を達成した指標についての今後の課題等

II 非連動・ 数値化可能	I 連動・ 数値化可能
IV 非連動・ 数値化困難	III 連動・ 数値化困難

1 | 概要

本市では、市民の生きがいづくりや自己実現を支援し、心豊かな市民生活と魅力ある地域社会を実現することをめざし、「草加市文化芸術振興条例」を制定しています。

この条例にもとづき、おくのほそ道のゆかりなど、草加の歴史を尊重し、草加に息づくにぎわいと活気にあふれた文化芸術の振興、向上、発展を図るため、文化芸術の継承、保護に係る活動や、学ぶ場における取組の支援など、文化芸術活動を推進するために必要な措置を講じ、草加らしい文化の創造を推進していきます。



2 | 活動指標

[定性指標]

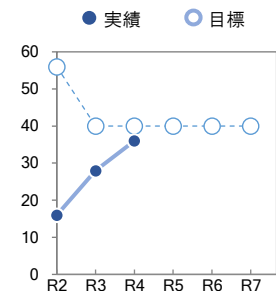
▶ R4実績

市民が文化芸術に親しむ鑑賞機会の提供や文化芸術活動への参加の促進する文化芸術の普及を行う事業、市民の自主的な活動の支援や育成を図る事業を行います。

—

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
文化芸術振興事業の数	事業	目標	56	40	40	40	40
	実績	16	28	36			
	評価	▲	▲	▲			



3 | 成果指標

[定性指標]

▶ 評価 ▶ R4実績

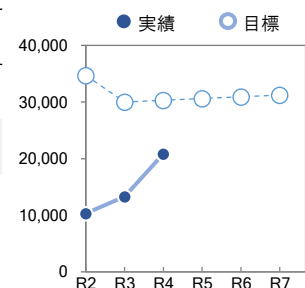
市民が文化芸術を学び、親しむことにより、心豊かな市民生活と魅力ある地域社会の実現を目指します。

—

—

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
文化芸術振興事業の入 場者数・参加者数	人	目標	34,700	30,000	30,300	30,600	30,900 31,200
	実績	10,330	13,290	20,855			
	評価	▲	▲	▲			



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

新型コロナウイルス感染拡大防止のため一部のイベントや事業が中止になったため、事業数及び参加人数が減少した。

目標を達成した指標についての今後の課題等

(4) 地域の共生～ともに力をあわせて自分たちのまちをつくる
4) 草加らしい豊かな暮らし

指標コード 3101

指標タイプ

施策 | 31 スポーツの推進

施策の柱 | 01 生涯スポーツの推進

担当部局 | 自治文化部
担当課 | スポーツ振興課

II 非運動・ 数値化可能	I 運動・ 数値化可能
IV 非運動・ 数値化困難	III 運動・ 数値化困難

1 | 概要

だれもが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに取り組める環境を整備するため各種スポーツ大会、教室、イベントを開催しています。



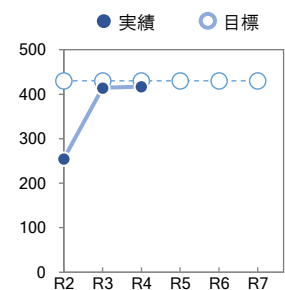
2 | 活動指標

[定性指標]

▶ R4実績

だれもが参加できる事業展開をし、なおかつ各世代にあった事業内容となるように、各種スポーツ大会、教室、イベントを開催していきます。

[定量指標] (数値目標)			第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6	R7
各種スポーツ大会、教室、イベント等事業数	事業	目標	430	430	430	430	430	430
		実績	255	414	417			
		評価	▲	▲	▲			



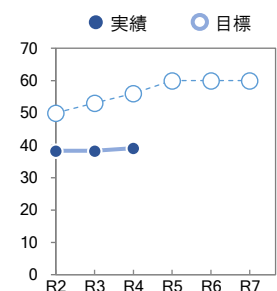
3 | 成果指標

[定性指標]

▶ 評価 ▶ R4実績

特定の競技スポーツだけでなく、ウォーキングやラジオ体操などを含め、自発的意思にもとづくスポーツ活動の実施率を向上させます。

[定量指標] (数値目標)			第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6	R7
週1回以上のスポーツ実施率	%	目標	50	53	56	60	60	60
		実績	38.3	38.3	39.1			
		評価	▲	▲	▲			



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

成果指標における定量指標の数値は、2年に1度実施する市民アンケートの実績を参照している。ウォーキングやラジオ体操など取り組みやすい運動の普及に努めましたが、働く世代の多忙化、ライフスタイルの多様化、運動する人とならない人の二極化など、複合的な要素が原因と分析します。

活動指標の定量指数については、草加市のスポーツの現場を担う公益財団法人草加市スポーツ協会が、子ども、高年者、障がい者までを対象とした幅広い事業展開をしたが、目標を達成することはできなかった。

新型コロナウイルスの影響により人数制限を設けるなどにより大会や教室自体の規模を縮小せざるを得なかったことが原因と分析します。

目標を達成した指標についての今後の課題等

II 非運動・ 数値化可能	I 運動・ 数値化可能
IV 非運動・ 数値化困難	III 運動・ 数値化困難

1 | 概要

スポーツ振興を図るためスポーツに携わる指導者やスポーツ団体へ育成、支援を行っています。



2 | 活動指標

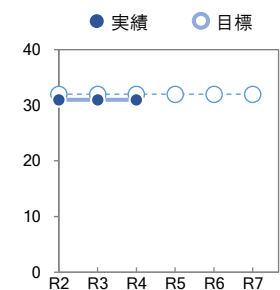
[定性指標]

▶ R4実績

各スポーツ団体の競技力向上及び日ごろの活動を通して、健やかな心と体をつくり、連帯の輪を地域に広げるために、社会体育団体に対して補助を行うなどの支援・育成を行います。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
社会体育団体補助件数	目標	32	32	32	32	32	32
	実績	31	31	31			
	評価	▲	▲	▲			



3 | 成果指標

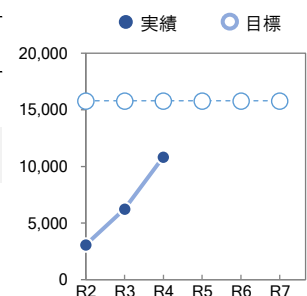
[定性指標]

▶ 評価 ▶ R4実績

社会体育団体への支援・育成によって、市民体育祭や団体主催の教室などの参加者数を増加させます。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
市民体育祭参加者数と団体主催の教室等参加者数の合計	目標	15,800	15,800	15,800	15,800	15,800	15,800
	実績	3,084	6,238	10,851			
	評価	▲	▲	▲			



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

活動指標については、新型コロナウイルス感染症の影響により活動を自粛した団体が補助金の交付申請を行わなかったため、目標値を達成できませんでした。

成果指標については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のためイベント・教室等の開催において参加者を事前予約制とした人数制限などの対策をせざるを得なかったことから参加者について目標値を下回っています。

目標を達成した指標についての今後の課題等

施策 | 31 スポーツの推進

施策の柱 | 03 スポーツを通じた健康づくりの推進

担当部局 | 自治文化部
担当課 | スポーツ振興課

II 非運動・ 数値化可能	I 運動・ 数値化可能
IV 非運動・ 数値化困難	III 運動・ 数値化困難

1 | 概要

健康づくりを目的に、だれもが気軽にできる運動として、ウォーキング大会やスポーツ健康づくり事業を実施しています。



2 | 活動指標

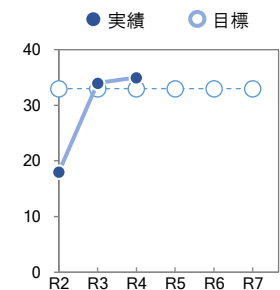
[定性指標]

▶ R4実績

だれもが取り組める運動として、ウォーキング大会などを実施するとともに、高年者の健康づくりを推進するため、高年者のスポーツ、レクリエーション活動などの高年者健康づくり協働支援事業を行う協議会に対して支援を行います。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
ウォーキング大会及び スポーツ健康づくり事 業、高年者健康づくり 協働支援事業数	事業	目標	33	33	33	33	33
		実績	18	34	35		
		評価	▲	○	○		



3 | 成果指標

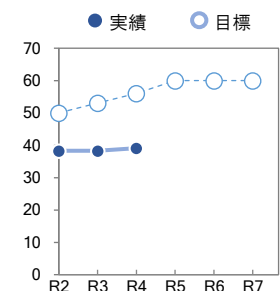
[定性指標]

▶ 評価 ▶ R4実績

特定の競技スポーツだけでなく、ウォーキングやラジオ体操などを含め、自発的意思にもとづくスポーツ活動の実施率を向上させます。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
週1回以上のスポーツ 実施率	%	目標	50	53	56	60	60
		実績	38.3	38.3	39.1		
		評価	▲	▲	▲		



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

成果指標における定量指標の数値は、2年に1度実施する市民アンケートの実績を参照している。ウォーキングやラジオ体操など取り組みやすい運動の普及に努めましたが、働く世代の多忙化、ライフスタイルの多様化、運動する人とならない人の二極化など、複合的な要素が原因と分析します。

目標を達成した指標についての今後の課題等

活動指標の定量指数については、草加市のスポーツの現場を担う公益財団法人草加市スポーツ協会が、子ども、高年者、障がい者までを対象とした幅広い事業展開をしていることから、目標を達成することができました。今後の課題は、スポーツ推進基本方針で定めた運動実施率60%という目標値達成に向けて、ふだん運動習慣のない人たちにいかにスポーツに関わってもらえるかにあると考えます。運動になじみのない人に、運動を始めるきっかけを提供し、楽しみながら継続してもらえるように、更なる広報・周知や効率的かつ効果的な事業展開が必要です。

II 非運動・ 数値化可能	I 運動・ 数値化可能
IV 非運動・ 数値化困難	III 運動・ 数値化困難

1 | 概要

市民等に対し消費生活に関する情報の提供等、消費者教育の普及活動を実施しています。また、消費生活センターにおいて、消費生活相談員による市民の消費生活相談を実施しています。

消費者団体の活動支援として、啓発及び教育普及等の事業を実施した団体に対して、事業の実施に要する経費の補助を行っています。



2 | 活動指標

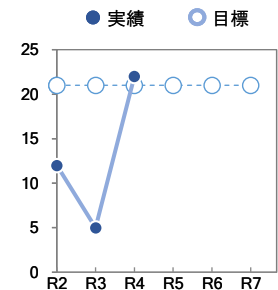
[定性指標]

▶ R4実績

消費生活に関する情報収集に努めながら、考え、行動できる自立した消費者を育成するため、消費者団体などと連携しながら講座やイベントなどを通じて、消費生活に関する情報提供を行います。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
講座やイベント開催に伴う消費啓発活動の回数	目標	21	21	21	21	21	21
	実績	12	5	22			
	評価	▲	▲	○			



3 | 成果指標

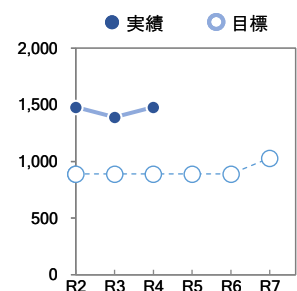
[定性指標]

▶ 評価 ▶ R4実績

消費生活トラブルの早期解決を図るため、消費生活相談員が市民の消費生活相談に対応するとともに、消費生活トラブルの再発防止に必要な助言や情報提供などを行い、消費者の自立を促します。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
消費生活トラブルの解決件数	目標	890	890	890	890	890	1,030
	実績	1,480	1,391	1,480			
	評価	○	○	○			



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

目標を達成した指標についての今後の課題等

消費者トラブルは複雑化・巧妙化しており、消費生活センターへの相談は、ここ数年増加傾向です。市民等が消費者トラブルに遭わないため、被害防止対策や最新の傾向等の情報提供を行います。

II 非運動・ 数値化可能	I 運動・ 数値化可能
IV 非運動・ 数値化困難	III 運動・ 数値化困難

1 | 概要

市民一人ひとりが自らの健康について考え、より良い生活習慣を身につけることで、豊かで活力に満ちた生活を送ることができるよう、日常の中でも行える運動の啓発や習慣化のための取組を推進しています。



2 | 活動指標

[定性指標]

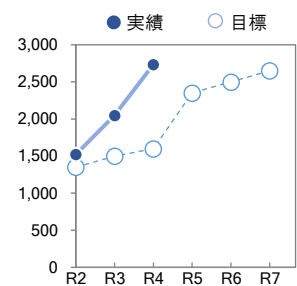
▶ R4実績

日常の中で気軽に行うことができ、習慣化しやすいウォーキングへの取組を推進します。

埼玉県では、毎日のウォーキング歩数に応じたポイントを付与し、抽選で賞品が当たることにより、気軽に健康づくりを始めていただく取組として、コバトン健康マイレージ事業を実施しています。本市でも、平成30年度から参加しており、事業の周知と参加を促進していきます。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
埼玉県コバトン健康マイレージ参加者数	人	目標	1,350	1,500	1,600	2,350	2,500	2,650
		実績	1,522	2,050	2,734			
		評価	○	○	○			



3 | 成果指標

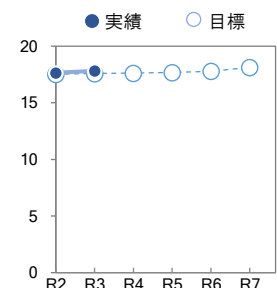
[定性指標]

▶ 評価 ▶ R4実績

心身の健康の保持・増進を図り、総合的な施策を推進することで、健康寿命の延伸を目指します。

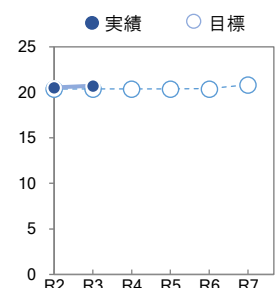
[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
健康寿命(男性) ※65歳に達した人が自立して健康に生活できる期間	年	目標	17.53	17.58	17.63	17.69	17.79	18.14
		実績	17.66	17.82				
		評価	○	○				



[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
健康寿命(女性) ※65歳に達した人が自立して健康に生活できる期間	年	目標	20.37	20.38	20.38	20.39	20.4	20.84
		実績	20.54	20.73				
		評価	○	○				



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

目標を達成した指標についての今後の課題等

埼玉県コバトン健康マイレージの参加者のうち、若い世代の参加者数が全体に対し少ないため、今後はSNS等を積極的に活用し普及啓発を行うなど、若い世代がウォーキングに取組むきっかけとなるような事業展開を目指します。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、外出自粛等により身体活動や食生活、こころの健康にも影響を及ぼしました。今後は、感染症の動向をみながら、より適切な生活習慣を身に着け、健康寿命延伸に向けた取組ができるよう事業を進めてまいります。

II 非運動・ 数値化可能	I 運動・ 数値化可能
IV 非運動・ 数値化困難	III 運動・ 数値化困難

1 | 概要

妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援等を通じて、妊娠や子育ての不安、孤立等に対応し、児童虐待のリスクを早期に発見するため、相談体制を充実させています。



2 | 活動指標

[定性指標]

▶ R4実績

相談体制を整備することにより、未熟児養育、児童虐待等の支援体制を充実させ、訪問件数を増やします。

[定量指標] (数値目標)		第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
指標	単位	R2	R3	R4	R5	R6	R7
未熟児養育・虐待等の 訪問件数	目標	653	821	745	750	750	750
	実績	575	379	511			
	評価	○	▲	▲			

3 | 成果指標

[定性指標]

▶ 評価 ▶ R4実績

訪問以外にも、電話や窓口での育児相談、マタニティクラスや乳幼児健診等の機会を通じて、妊娠や子育てに関する不安の解消を目指します。

○ にんしん出産相談室ぽかぽかにおいて妊娠期から出産育児についての相談を受けるほか、電話や来所による育児相談、マタニティクラスや乳幼児健診等の母子保健事業の機会を通じて、妊娠や子育てに関する不安を解消しました。

[定量指標] (数値目標)		第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
指標	単位	R2	R3	R4	R5	R6	R7
-	目標	-	-	-	-	-	-
-	実績	-	-	-	-	-	-
-	評価	-	-	-	-	-	-

4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

児童虐待等の支援の件数が増加する中、保健師が担う業務も増加しています。訪問による支援のみでなく、電話や来所面談など様々な方法で妊娠出産や子育ての不安を軽減し、孤立化を予防していく必要があります。

また、関係機関との連携を密にし、相談者の発する小さな変化を見逃すことのないよう、支援に取り組むことが重要です。

目標を達成した指標についての今後の課題等

II 非運動・ 数値化可能	I 運動・ 数値化可能
IV 非運動・ 数値化困難	III 運動・ 数値化困難

1 | 概要

健康増進法に基づき、住民の健康増進に資することを目的として、健康教育、健康相談、健康診査（がん検診を含む）、機能訓練等の健康増進事業を実施し、壮年期からの健康づくりと生活習慣病の予防、早期発見、早期治療を図ります。



2 | 活動指標

[定性指標]

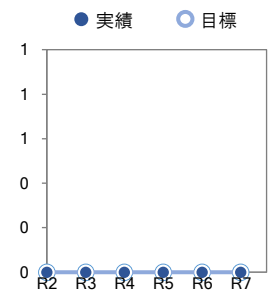
健康教育、健康相談、健康診査（がん検診を含む）、機能訓練等の健康増進事業を実施することにより、生活習慣病の予防や健康づくりへの意識を高めます。

▶ R4実績

健康教育、健康相談、健康診査（がん検診を含む）、機能訓練等の健康増進事業を実施しました。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
-	目標	-	-	-	-	-	-
	実績	-	-	-	-	-	-
	評価	-	-	-	-	-	-



3 | 成果指標

[定性指標]

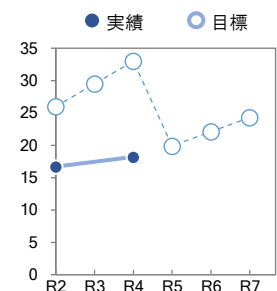
健康づくりへの意識を高め、疾病の予防や早期発見等を図るために、がん検診への受診を促進します。

▶ 評価 ▶ R4実績

- -

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
胃がん検診の受診率 ※市民アンケートによる	目標	26.0	29.5	33.0	19.9	22.1	24.3
	実績	16.7	-	18.2	-	-	-
	評価	▲	-	○	-	-	-



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

目標を達成した指標についての今後の課題等

R2に比較しR4の受診率は向上しましたが、目標値には到達していません。今後も引き続き、一人ひとりが自らの健康に気を配り、定期的な健診（検診）により、自分の健康状態を知ることが重要であるため、個別通知、広報、市ホームページ等を通じて、健診（検診）の必要性の啓発に努めます。また、電子申請により申込みができる検診を拡大し、受診しやすい環境の整備を進めます。

II 非運動・ 数値化可能	I 運動・ 数値化可能
IV 非運動・ 数値化困難	III 運動・ 数値化困難

1 | 概要

生活習慣病の早期発見など健康増進を図ることを目的に健康診査を実施しています。



2 | 活動指標

[定性指標]

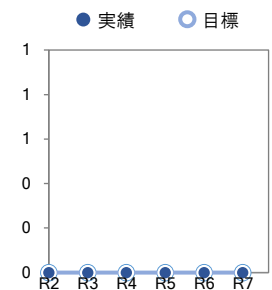
特定健康診査の受診率を向上させるため、コロナウイルス感染症の状況によりますが、未受診者への、通知等による受診勧奨を実施し、受診率の向上を目指します。

▶ R4実績

特定健診の未受診者へ対し、ナッジ理論を用い、過去の健診結果等から対象者の健康意識を分析し、それぞれの特性に応じた効果的な通知を作成し送付しました。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
-	目標	-	-	-	-	-	-
	実績	-	-	-	-	-	-
	評価	-	-	-	-	-	-



3 | 成果指標

[定性指標]

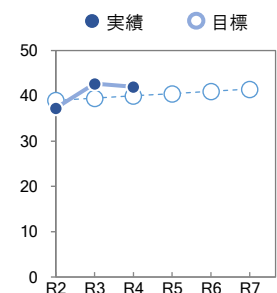
自身の健康状態を把握することにより、生活習慣病等を未然に抑止するため、特定健康診査の受診率向上をめざします。

▶ 評価 ▶ R4実績

- -

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
特定健康診査受診率	%	目標	39.0	39.5	40.0	40.5	41.0	41.5
		実績	37.3	42.7	42.0			
		評価	▲	○	○			



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

目標を達成した指標についての今後の課題等

特定健診の受診率が目標を達成した要因としては、未受診者へ対し、ナッジ理論を用い、個人へ過去の健診結果等から対象者の健康意識に紐づいたそれぞれの特性に応じた効果的な通知を作成し送付できたためです。引き続き、受診率の目標を達成するため効果的な受診勧奨を実施していくことが必要です。

II 非連動・ 数値化可能	I 連動・ 数値化可能
IV 非連動・ 数値化困難	III 連動・ 数値化困難

1 | 概要

生活習慣病の早期発見など健康増進を図ることを目的に健康診査を実施しています。



2 | 活動指標

[定性指標]

後期高齢者医療制度の被保険者に対する健康診査の受診を推進するために受診券の送付や広報そうかへ案内を掲載することにより周知します。

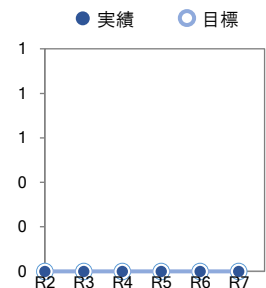
受診率向上により、市民一人ひとりの心身の健康の保持・増進を図り、また、受診結果に基づいた埼玉県後期高齢者医療広域連合による保健事業の実施等で高齢者医療制度の推進を目指します。

▶ R4実績

対象となる被保険者全員に後期高齢者健康診査の受診案内及び受診券を送付するとともに、広報そうかに案内を掲載し周知を図りました。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
-	目標	-	-	-	-	-	-
-	実績	-	-	-	-	-	-
-	評価	-	-	-	-	-	-



3 | 成果指標

[定性指標]

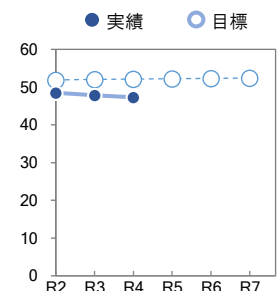
後期高齢者健診実施の事実を市内に広めます。
健診結果に基づいた、市民それぞれの健康づくりの内容を明確にし、自身の健康管理への意識向上を目指します。

▶ 評価 ▶ R4実績

- -

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
健康診査受診率	%	51.9	52.0	52.1	52.2	52.3	52.4
	目標						
	実績	48.5	47.8	47.3			
	評価	▲	▲	▲			



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

新型コロナウイルス感染症の流行により、医療機関の受診を控える傾向があったため、健診受診率も引き続き減少しました。

目標を達成した指標についての今後の課題等

II 非運動・ 数値化可能	I 運動・ 数値化可能
IV 非運動・ 数値化困難	III 運動・ 数値化困難

1 | 概要

市民が医療に関し不安なく生活し、住み慣れた地域で必要な医療を受けられる体制を構築するため、休日当番医制事業や子ども急病夜間クリニックの運営により休日や夜間の一次医療に対応するとともに、二次医療の充実にも努めています。



2 | 活動指標

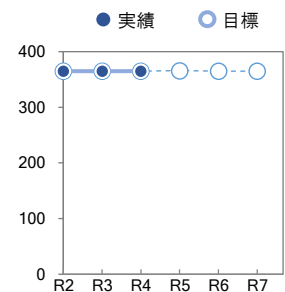
[定性指標]

▶ R4実績

市民が医療に関し不安なく生活し、住み慣れた地域で必要な医療を受けられる体制を確保するため、関係機関と連携して、休日当番医制事業や子ども急病夜間クリニックの運営を継続します。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
「草加市子ども急病夜間クリニック」の診療日数	目標	365	365	365	366	365	365
	実績	365	365	365			
	評価	○	○	○			



3 | 成果指標

[定性指標]

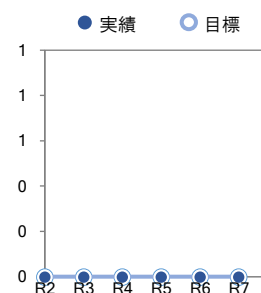
▶ 評価 ▶ R4実績

関係機関と連携して、休日当番医制事業や子ども急病夜間クリニックの運営、二次医療体制の整備を継続し、市民の医療への安心につながります。

- 休日当番医制事業における受診者数は6,837人、子ども急病夜間クリニックにおける受診者数は3,943人となっており、市民が安心して医療にかかるよう体制整備に努めました。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
-	目標	-	-	-	-	-	-
-	実績	-	-	-	-	-	-
-	評価	-	-	-	-	-	-



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

目標を達成した指標についての今後の課題等

新型コロナウイルスが5類に引き下がり、感染症流行期には医療機関の混雑が予想されることから、引き続き、関係団体と調整を図り、より受診しやすい医療体制を目指します。

II	非運動・ 数値化可能	I	運動・ 数値化可能
IV	非運動・ 数値化困難	III	運動・ 数値化困難

1 | 概要

地域の中核病院として、総合的・急性期医療を基盤として、高度専門医療、二次救急と地域医療連携の充実を図るため、医師・看護師等の人材確保を図り診療体制の充実に努めるとともに、健全な運営の推進に努めます。



2 | 活動指標

[定性指標]

▶ R4実績

経常収支比率を改善するため、病床利用率の向上に努め、入院収益の増加を目指します。

[定量指標] (数値目標)			第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6	R7
病床利用率	%	目標	81.0	79.5	75.8	76.0	78.0	80.0
		実績	67.8	68.7	64.6			
		評価	▲	▲	▲			

3 | 成果指標

[定性指標]

▶ 評価 ▶ R4実績

市立病院の健全な運営を推進し、高度専門医療、二次救急及び地域医療連携の充実を図るため、経常収支比率の向上に努めます。

[定量指標] (数値目標)			第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6	R7
経常収支比率	件	目標	95.0	97.0	97.1	94.0	95.5	97.0
		実績	111.5	113.1	109.4			
		評価	○	○	○			

4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

目標を達成した指標についての今後の課題等

救急・一般診療と新型コロナウイルス感染症対応を両立させたことが経常収支比率の目標達成の大きな要因ですが、今後、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが変更されることなどを踏まえ、継続して集患対策と経営改善が必要と考えています。

II 非連動・ 数値化可能	I 連動・ 数値化可能
IV 非連動・ 数値化困難	III 連動・ 数値化困難

1 | 概要

職員の能力や資質の向上を図るため、階層別研修や派遣研修等を実施しています。



2 | 活動指標

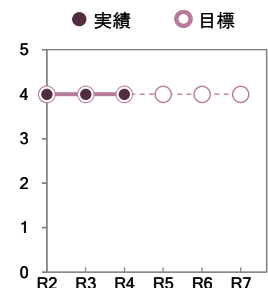
[定性指標]

▶ R4実績

プロ意識を持った、市民とともに考え行動する職員を育成するため、「人材育成の4つの視点」（研修の基本方針）等にもとづき、各種研修を実施します。特に、地方公務員法改正を踏まえ、人材育成システム（人事評価）と連動した内容の研修を実施するなど、人材育成システム（人事評価）を活用した能力開発に取り組みます。

[定量指標]（数値目標）

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
人材育成システム（人事評価）と連動した内容の研修を実施した数	目標	4	4	4	4	4	4
	実績	4	4	4			
	評価	○	○	○			



3 | 成果指標

[定性指標]

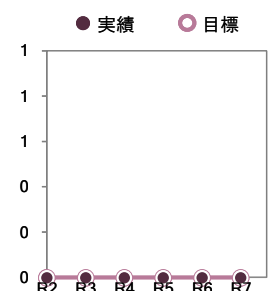
▶ 評価 ▶ R4実績

研修の実施により、職員の能力、知識、技能の向上を目指します。

○ 人材育成システム（人事評価）や日頃のOJTにおいて明らかになった職員の「強み」を伸ばし、「弱み」を補う「課題別研修（ジャンプアップセミナー）」（1回）や人事評価の運用において重要となる考え方を階層別研修の中で自然に身につけられるよう、OJT研修、マネジメント研修を実施しました。（計4回）

[定量指標]（数値目標）

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
-	目標	-	-	-	-	-	-
-	実績	-	-	-	-	-	-
-	評価	-	-	-	-	-	-



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

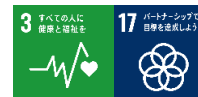
目標を達成した指標についての今後の課題等

計画を立てた上で、それに基づき実施することで、目標を達成できました。今後においても、研修の実施により、職員の能力、知識、技能の向上を目指します。

II 非運動・ 数値化可能	I 運動・ 数値化可能
IV 非運動・ 数値化困難	III 運動・ 数値化困難

1 | 概要

人材育成システム（人事評価制度）の適正な運用を図るため、評価者訓練など評価者の評価精度を高めるための取組を実施しています。



2 | 活動指標

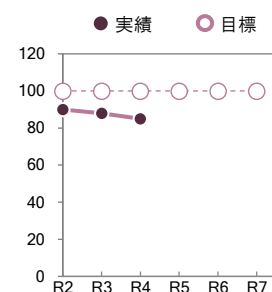
[定性指標]

▶ R4実績

評価者訓練など評価者の評価精度を高めるための取組などを着実に実施するなど、人材育成システム（人事評価制度）の適正な運用に向けた取組を実施します。

[定量指標]（数値目標）

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
一次評価者の評価者訓練等の受講率	目標	100	100	100	100	100	100
	実績	90	88	85			
	評価	○	○	○			



3 | 成果指標

[定性指標]

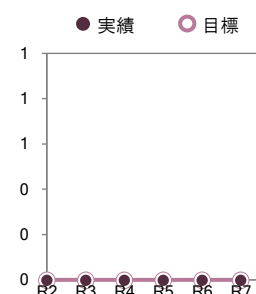
▶ 評価 ▶ R4実績

人材育成システム（人事評価制度）の適正な運用を通じて、能力・実績にもとづく人事管理と組織全体の士気高揚、公務能率の向上を図ります。

- 評価精度を高めるため、過去の受講経験や職種を問わず、一次評価者全員に対して評価者訓練等の受講機会を設定することができました。また、新任評価者については、新任評価者訓練を実施しました。

[定量指標]（数値目標）

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
-	目標	-	-	-	-	-	-
	実績	-	-	-	-	-	-
	評価	-	-	-	-	-	-



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

目標を達成した指標についての今後の課題等

今後においても、評価者訓練など評価者の評価精度を高めるための取組を着実に実施し、人材育成システム（人事評価制度）の適正な運用に向けた取組を実施します。

また、評価結果の活用等のための人事評価等のシステム化についても、検討を行います

II 非連動・ 数値化可能	I 連動・ 数値化可能
IV 非連動・ 数値化困難	III 連動・ 数値化困難

1 | 概要

これまでに全庁的な対応の仕組みを整備してきたパブリックコメント、審議会委員の公募等の市民参画制度について、より分かりやすく、より多くの市民の参画を促進し、制度の充実が図れるよう、内容及び方法を工夫した周知を行います。



2 | 活動指標

[定性指標]

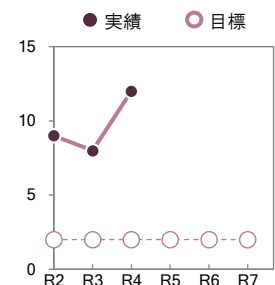
「草加市みんなでまちづくり自治基本条例」に基づく市民参画制度について一層の理解・浸透を図り、参画する市民を増やすことにより、市民に開かれた市役所の確立を推進します。

▶ R4実績

審議会委員の公募について、昨年度に続き、市のホームページや広報そうかを活用して周知うとともに、今年度の途中から、市のSNS等（メール、LINE、Twitter、Facebook）も活用した周知を始めました。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
市民参画制度周知回数	目標	2	2	2	2	2	2
	実績	9	8	12			
	評価	○	○	○			



3 | 成果指標

[定性指標]

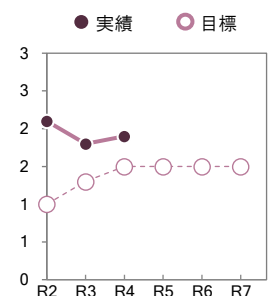
パブリックコメントに対する意見提出数を増加傾向とし、審議会委員の公募倍率を高めることにより、市政に参画する市民を増やします。

▶ 評価 ▶ R4実績

- 審議会委員の公募状況については、16名の募集があった中で31名の応募があり、倍率は約1.9倍となりました。令和3年度の実績値から微増している点、目標である1.5倍を上回っている点については評価できると考えます。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
審議会委員の公募倍率	目標	1.0	1.3	1.5	1.5	1.5	1.5
	実績	2.1	1.8	1.9			
	評価	○	○	○			



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

目標を達成した指標についての今後の課題等

審議会委員の公募については、引き続き市のホームページや広報そうか、SNS等を活用して周知を行い、公募倍率の目標を達成できるよう取り組みます。

(5) 地域経営を進める市役所
2) 「地域の豊かさ」を創出するための組織

施策 | 37 社会ニーズへの的確な対応

施策の柱 | 01 窓口サービスの充実

指標コード 3701

担当部局 | 総合政策部・総務部・市民生活部

担当課 | 情報推進課・庶務課・市民課

指標タイプ

II 非運動・ 数値化可能	I 運動・ 数値化可能
IV 非運動・ 数値化困難	III 運動・ 数値化困難

1 | 概要

市民の利便性の向上を図るため、水曜夜間窓口、日曜窓口の開設とともに、個人番号カードを利用した各種証明書のコンビニ交付などを行っています。

窓口サービスに対する市民の満足度を検証するため、「窓口アンケート」を実施するとともに、さらなる満足度の向上を図るため、ITを利用した市民の利便性を高めるシステムの導入を検討していきます。



2 | 活動指標

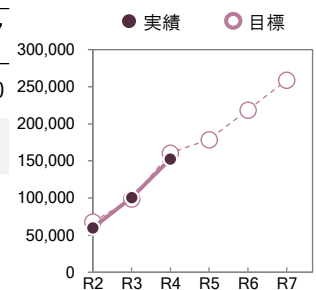
[定性指標]

▶ R4実績

個人番号カードを利用したコンビニ交付等の行政サービスの提供を行います。また、コンビニ交付を推進するため、個人番号カードを持つ市民を増やします。市民の利便性の向上に資するITを利用したサービスの導入について検討を行います。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
個人番号カードの交付 (普及) 累計枚数	目標	67,700	98,900	160,900	178,900	218,900	258,900
	実績	59,978	100,651	152,709			
	評価	▲	○	▲			



3 | 成果指標

[定性指標]

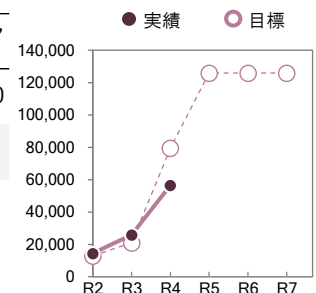
▶ 評価 ▶ R4実績

新たな窓口サービスの方法の検討及び変更に伴い、「窓口アンケート」の回答において市役所の窓口サービスについて便利だと感じた人を増やし、これまでのアンケート結果における納得度の維持及び向上を目指します。

○ 令和5年度から開始するスマート窓口の導入効果を確認するための基礎資料とするため、令和2年度及び令和3年度に新型コロナウイルス感染拡大防止のため一時的に中止していた「窓口アンケート」を再開し、窓口利用者のうち「引継ぎメモ」利用所属を利用した人を対象に実施しました。窓口全体について満足・やや満足の回答された割合は96%でした。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
コンビニでの発行枚数 (住民票、印鑑証明、 戸籍、税 含む)	目標	12,870	21,050	79,410	125,900	125,900	125,900
	実績	14,463	25,958	56,491			
	評価	○	○	▲			



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

コンビニ交付の発行枚数はR3年度と比較して倍増しているものの、目標数を達成する程の急激な増加にはなりませんでした。

今後は、個人番号カードの交付が受けやすい環境づくり及び、コンビニ交付の周知について、より一層尽力してまいります。

目標を達成した指標についての今後の課題等

窓口アンケートは、回答協力者数を増やす方策を検討する必要があります。

1 | 概要

埼玉県権限移譲方針に基づき、毎年度、権限移譲対象事務に関し担当部局及び埼玉県と調整を行います。



2 | 活動指標

[定性指標]

埼玉県の権限移譲計画に基づき、市民の利便性の向上並びに財政面及び人員面に係る市の事務運用とを比較しながら、移譲を受けられる事務について検討を行います。

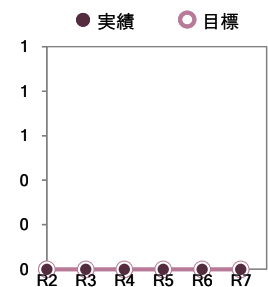
▶ R4実績

埼玉県との協議において、市の権限移譲の現状確認及び今後の予定等について情報を共有し、方向性を確認しました。

権限移譲に関連する県条例の改正に際し、埼玉県からの協議依頼に応じて関係課に確認を行い、事務を完了しました。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
-	目標	-	-	-	-	-	-
	実績	-	-	-	-	-	-
	評価	-	-	-	-	-	-



3 | 成果指標

[定性指標]

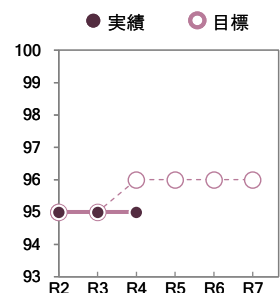
現行の権限移譲状況を維持することを基本とし、市民の利便性の向上が認められ、かつ、市の事務運用のバランス等に鑑みて適切であると認められる案件が生じた場合には、権限移譲を受けることを検討します。

▶ 評価 ▶ R4実績

- -

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
市が権限移譲を受けている事務の件数	目標	95	95	96	96	96	96
	実績	95	95	95			
	評価	○	○	▲			



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

県からの権限移譲対象項目について、これまでに受入可能な事務の受入れを完了した結果、近年は、財源、人員等の面を比較衡量して市にメリットのある新たな移譲項目が出てきていないのが現状です。

既に受入済の95事務の範囲内において、各事務の内容及び項目を充実させるための小規模な事務の権限移譲は毎年のように生じており、受入れを行っていますが、県のカウントする移譲事務数に影響するような大きな区分に該当する移譲項目は生じておりません。

しかしながら、引き続き、市として必要な権限移譲対象項目が生じた場合には、受入れに関する協議及び検討を行っていきます。

目標を達成した指標についての今後の課題等

II 非連動・ 数値化可能	I 連動・ 数値化可能
IV 非連動・ 数値化困難	III 連動・ 数値化困難

1 | 概要

毎年度、所掌事務等における課題等の抽出及びその調整を行い、組織の効率性の向上を図ります。
定期的に目標を掲げて庁内検討組織による検討を行い、庁内連携を強め、様々なニーズに対し組織横断的に対応ができる機能的な組織づくりに努めます。



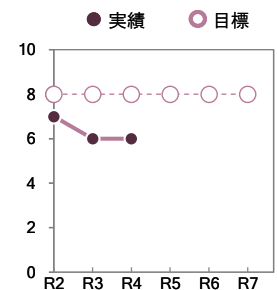
2 | 活動指標

[定性指標]

▶ R4実績

社会ニーズに的確に対応するため、組織横断的な対応が可能な組織による検討及び調整を継続して行っています。

[定量指標] (数値目標)		第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
指標	単位	R2	R3	R4	R5	R6	R7
組織横断的な検討・調整会議 (CFT会議) の実施回数	目標	8	8	8	8	8	8
	実績	7	6	6			
	評価	▲	▲	▲			



3 | 成果指標

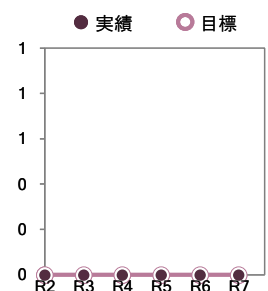
[定性指標]

▶ 評価 ▶ R4実績

様々なニーズに的確に対応し、組織の機能性を向上させます。

○ 令和5年度に向けた行政組織に関する庁内の調整を行い、令和5年4月1日付け組織改正として、既存組織の課への昇格、事業終了に伴う室の廃止のほか、その他事務の必要に応じた係等の増設を行いました。

[定量指標] (数値目標)		第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
指標	単位	R2	R3	R4	R5	R6	R7
-	目標	-	-	-	-	-	-
-	実績	-	-	-	-	-	-
-	評価	-	-	-	-	-	-



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

CFT会議の実施回数については、目標設定8回のところ実績6回となっておりますが、組織内での調整に関するニーズに応じて開催を行うものであることから、当該年度における検討事項に対する必要度合いに応じた適切な回数であると認識しています。

目標を達成した指標についての今後の課題等

引き続き、社会及び庁内のニーズを的確に捉え、事務事業の遂行が効率的に行える組織編成について、毎年度検討を行い、必要に応じて機構改革又は組織改正を行っていきます。

1 | 概要

パソコンやスマートフォンから、講座やイベントの申込や、アンケートへの回答が行える電子申請システム（汎用予約システムを含む。）を運用しています。

電子申請システムに対応した手続が増えることで、利用者の利便性向上が図れます。

電子申請システムは、庁内での調査等にも利用できるため、業務の効率化が図れます。また、システムで受け付けたものは、簡単に集計ができるため、その点においても業務の効率化が図れます。



2 | 活動指標

[定性指標]

電子申請システムに対応した手続を増やすため、庁内への周知を積極的に実施します。

他自治体の状況を参考に、電子申請に対応できそうな手続を抽出し、申請画面を作成するなど、各業務における電子申請対応をサポートします。

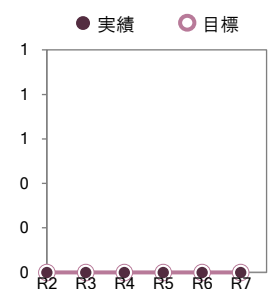
▶ R4実績

電子申請システムの庁内周知を行い、県内市町村の活用事例を紹介しました。

また、使い方の相談受付や申請画面作成サポート等、各所属の状況に沿った作成支援を行いました。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
-	目標	-	-	-	-	-	-
	実績	-	-	-	-	-	-
	評価	-	-	-	-	-	-



3 | 成果指標

[定性指標]

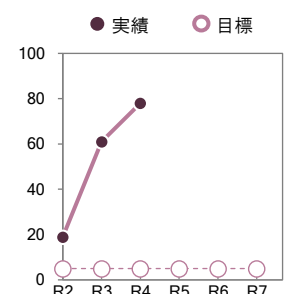
電子申請システムに対応した新たな手続数が増えることで、利用拡大が見込まれ、利用者の利便性向上や、業務の効率化を図ります。

▶ 評価 ▶ R4実績

- -

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
電子申請システムを使用した新たな手続数	目標	5	5	5	5	5	5
	実績	19	61	78			
	評価	○	○	○			



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

目標を達成した指標についての今後の課題等

新たな78件の手続のうち、52件がアンケートでの利用でした。
窓口に来庁しなくても、オンラインで手続が完了するよう、申請や届出の手続数を増やしていくことが今後の課題です。

II 非運動・ 数値化可能	I 運動・ 数値化可能
IV 非運動・ 数値化困難	III 運動・ 数値化困難

1 | 概要

広報そうかを年23回発行するとともに、ホームページで市政情報やイベント情報などを発信していきます。広報活動は市政と市民を結ぶパイプ役であり、市民に伝わるような記事や紙面構成を検討し、分かりやすく工夫した情報発信に努め、愛される広報紙を目指した取り組みを進めます。



2 | 活動指標

[定性指標]

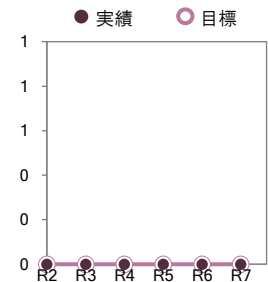
ホームページについては、内容の充実や最新情報の掲載に努め、また、広報そうかの全戸配布を的確に実施することで、市政情報やイベント情報を市民に等しく周知します。

▶ R4実績

ホームページについては、適宜情報を更新し発信しました。特に令和4年度からYoutubeを活用した映像による情報の提供を図ったほか、お知らせメールやTwitter等のSNSを活用し最新情報の発信を図りました。
広報そうかについては、年23回の「広報そうか」を発刊し全戸に配布しイベント、市政等の情報を広く市民に発信しました。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
-	目標	-	-	-	-	-	-
	実績	-	-	-	-	-	-
	評価	-	-	-	-	-	-



3 | 成果指標

[定性指標]

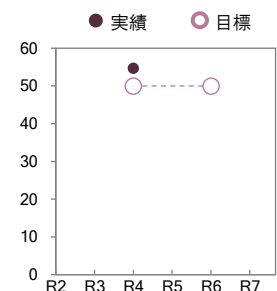
広く市政情報を発信する手段として広報紙は重要であり、より多くの市民の皆様にも読まれるよう、また、市民に伝わるような記事や紙面構成を検討し、分かりやすく工夫した情報発信に努め、愛される広報紙を目指した取り組みを進めます。

▶ 評価 ▶ R4実績

- -

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
市民アンケートにおいて「草加市が提供する情報媒体から必要な情報を入手できている」の回答率	%			50		50	
	目標	-	-	50	-	50	-
	実績	-	-	54.8	-	-	-
	評価	-	-	○	-	-	-



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

目標を達成した指標についての今後の課題等

広く市民の皆様へ市政情報を発信する手段として、広報紙は重要な手段であることから、より多くの市民の皆様を読まれ、愛される広報紙を目指し、「伝わったか」という視点での発行に努めました。

令和4年度から市民の皆様の見解を反映させる手段として、広報紙面でのアンケートを実施しました。視覚に訴えた情報提供などの要望を踏まえ、紙面づくりに生かしました。

また、TwitterやLINEなどのSNSや動画（YouTube）を活用した情報発信を行いました。

II 非連動・ 数値化可能	I 連動・ 数値化可能
IV 非連動・ 数値化困難	III 連動・ 数値化困難

1 | 概要

計画－実行－検証－改善の仕組みをさらに強化し、限られた財源の中で、確実に施策の目標を実現することができるよう、実施計画による進行管理等により、計画的に事務事業を執行するとともに、市民に対する施策の透明性の確保に努めます。実施計画にもとづき、各成果指標に関連する事務事業（又は所掌事務）の進行管理を行い、各年度の見込値を達成することが難しいと見込まれるものについては、担当課との協議・調整を行います。その結果、実施計画で定めた各成果指標が、各年度の見込値を達成することを目指します。



2 | 活動指標

[定性指標]

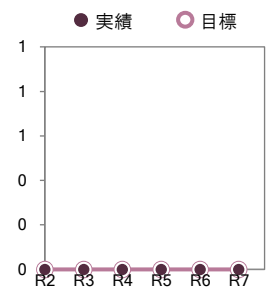
計画－実行－検証－改善の仕組みをさらに強化し、限られた財源の中で、実施計画による適切な進行管理により、確実に施策の目標を実現することができるよう、現状認識及び意識の向上を図ります。

▶ R4実績

各施策の進行管理を行い、目標を達成できなかった事務事業についてはその理由を分析して、次年度以降どのように取り組むべきかを明確にした上で、事務事業の改善につなげました。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
-	目標	-	-	-	-	-	-
	実績	-	-	-	-	-	-
	評価	-	-	-	-	-	-



3 | 成果指標

[定性指標]

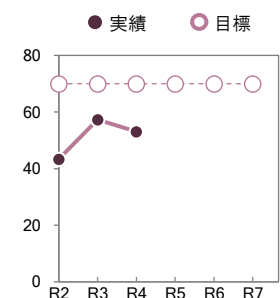
実施計画で定めた各成果指標が、各年度の目標値を達成することをめざします。

▶ 評価 ▶ R4実績

- -

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
実施計画の各指標における成果指標の達成率	%	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0
	目標	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0
	実績	43.4	57.3	53.1			
	評価	▲	▲	▲			



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

目標未達の状況が続いており、目標達成に向けた分析に基づく事務事業の改善が不足しているものと考えられます。総合振興計画第三期基本計画に基づき、次期実施計画では目標達成に向けた進捗管理に努める必要があります。

目標を達成した指標についての今後の課題等

1 | 概要

健全な財政運営を目指し、予算編成や予算の執行管理の支援等を行っています。



2 | 活動指標

[定性指標]

老朽化した施設の耐震化や改修などに多額の経費が必要となり、非常に厳しい財政運営が続くものと予測されます。

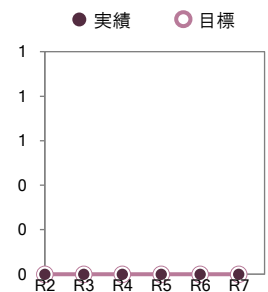
引き続き、経常経費の精査によって政策的経費を生み出せるよう努めていく必要があります。

▶ R4実績

当初予算編成においては、年々増加している社会保障経費や、将来的に実施することが想定される大規模事業を見据えながら、経常経費におけるスクラップアンドビルドの徹底等について入念に周知し、また政策的経費についても実施の中止または先送りにできるかどうかの検討等を行いました。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
-	目標	-	-	-	-	-	-
	実績	-	-	-	-	-	-
	評価	-	-	-	-	-	-



3 | 成果指標

[定性指標]

政策的な経費を確保し、財政の弾力性を表す「経常収支比率」を維持していきます。

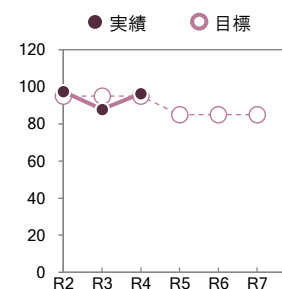
人口減少や高齢化の進展、社会保障経費や公共施設の更新経費の増大など、今後の財政運営を取り巻く状況が不透明な中、10年先、20年先であっても、その時代に必要となる政策にしっかり対応できるような、持続可能で健全な財政を維持し、引き継いでいきます。

▶ 評価 ▶ R4実績

- -

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
経常収支比率（普通会計）	目標	95.0	95.0	95.0	85.0	85.0	85.0
	実績	97.4	87.9	96.3			
	評価	▲	○	▲			



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

普通交付税の多額の追加交付や前年度と比較して20億円程度臨時財政対策債が多くなるなどの特殊な事情があった令和3年度は一時的に大きく指標が改善されましたが、令和4年度は例年のような数値に戻る形となりました。

令和4年度にも普通交付税の追加交付がありましたが、これを差し引いても約97.0%に留まるため、令和2年度までの増傾向は止められています。

これは、社会保障経費など歳出で増額しているものもありますが、市税や地方消費税交付金等の歳出も伸びていることが影響しているものと思われます。

いずれにしても大規模な財政緊縮施策を実施できていない状況であるため、目標未達の数値になっており、極めて厳しい財政状況が続いております。

目標を達成した指標についての今後の課題等

II 非連動・ 数値化可能	I 連動・ 数値化可能
IV 非連動・ 数値化困難	III 連動・ 数値化困難

1 | 概要

財源を安定的に確保していくため、市税収納率の向上に努めてまいります。



2 | 活動指標

[定性指標]

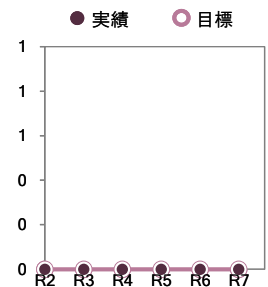
現年度課税の納期内納付を推進することで、収納率の向上を図るとともに収入未済額の圧縮を図ります。具体的には、督促及び催告の強化、コールセンターによる納付の確認、差押え等の滞納処分を積極的に執行します。

▶ R4実績

督促及び催告の発送、コールセンターによる納付の確認、差押え等の滞納処分を積極的に執行したほか、催告書や封筒等にナッジ理論を活用した文言を加え、現年度課税の納期内納付を推進し、収納率の向上を図るとともに収入未済額の圧縮を図りました。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
-	目標	-	-	-	-	-	-
	実績	-	-	-	-	-	-
	評価	-	-	-	-	-	-



3 | 成果指標

[定性指標]

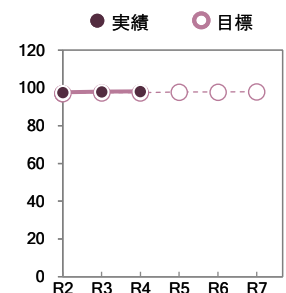
市税収納率の向上を図ります。

▶ 評価 ▶ R4実績

- -

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
市税収納率	%	目標	97.2	97.5	97.6	97.8	97.9	98.0
		実績	97.7	98.1	98.2			
		評価	○	○	○			



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

目標を達成した指標についての今後の課題等

納税者の利便性の向上を図るとともに、差押え等の滞納処分を行う一方、滞納処分の執行停止などの納税緩和措置の適用を迅速に判断し滞納の長期化を防ぐ。

II 非連動・ 数値化可能	I 連動・ 数値化可能
IV 非連動・ 数値化困難	III 連動・ 数値化困難

1 | 概要

第四次総合振興計画基本構想のめざす都市像である「快適都市～地域の豊かさの創出～」の実現に向け、公共施設等総合管理計画に基づき、長期的な視点を持って、公共施設等の総合的かつ計画的な管理に向けた取組を行います。



2 | 活動指標

[定性指標]

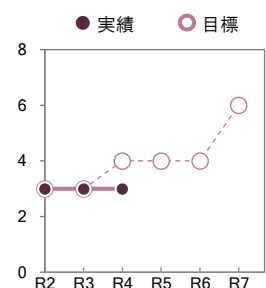
▶ R4実績

公共施設等総合管理計画に基づき、官民連携手法のさらなる活用について検討するとともに、事業化の予定がない土地の売却や貸付け等の運用により、更新費用や管理運営の財源確保に努めます。

—

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
公民連携による効果的な資産活用数	目標	3	3	4	4	4	6
	実績	3	3	3			
	評価	○	○	▲			



3 | 成果指標

[定性指標]

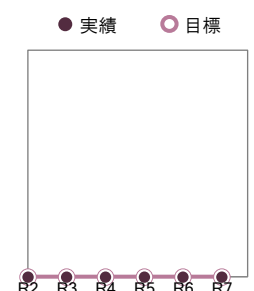
▶ 評価 ▶ R4実績

中長期的な視点を持ち、公共施設等の公民連携による資産活用を取り入れることにより、財政負担の軽減及び平準化を目指します。

- 市役所第二庁舎1階の一部の民間への貸付けについて、令和2年度に策定した方針に基づき、関係各所と実際の貸付に係る調整を行いました。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
—	目標	—	—	—	—	—	—
—	実績	—	—	—	—	—	—
—	評価	—	—	—	—	—	—



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

土地占有者との協議に時間を要しており、目標どおり土地の活用を行うことができなかった。

目標を達成した指標についての今後の課題等

貸付けに関する方針に基づき、事務手続等を進めてまいります。

施策 | 41 質の高い広域連携の推進

施策の柱 | 01 他自治体、大学、企業などとの連携の推進

担当部局 | 総合政策部
担当課 | 総合政策課

II 非連動・ 数値化可能	I 連動・ 数値化可能
IV 非連動・ 数値化困難	III 連動・ 数値化困難

1 | 概要

様々な行政課題に対し、これまで行ってきた近隣市町との連携を基礎に、公共施設などの共同整備、災害時の協力を見据えた遠方自治体との連携など、新たな連携のあり方を模索していきます。

また、ますます多様化・高度化する行政ニーズに適切に対応するため、行政にはない専門知識や実務経験を有する大学や企業など、様々な分野で質の高い連携を広域的にさらに深めていくことによって、複雑多岐にわたる行政課題に適切に対応していきます。



2 | 活動指標

[定性指標]

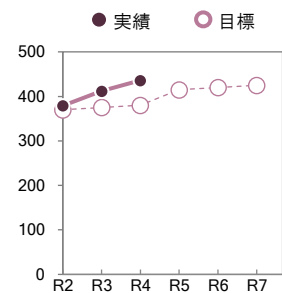
▶ R4実績

他自治体、大学、企業などと連携し、近隣市町との質の高い広域連携や、大学や企業などが持つ高度で様々な専門的知識や技術の活用を進めます。

—

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
他自治体、大学、企業 などと連携した事業数	事業	目標	370	375	380	415	420	425
		実績	379	412	436			
		評価	○	○	○			



3 | 成果指標

[定性指標]

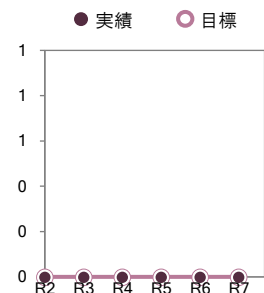
▶ 評価 ▶ R4実績

近隣自治体との広域連携や遠方自治体との災害時の協力体制、行政にはない専門知識や実務経験を有する大学や企業と連携し事業等を実施することで、多様化・高度化する行政ニーズに適切に対応した効果的な行政サービスを提供します。

○ 近隣自治体との連携により、各分野の共通する行政課題に関する調査研究を行うとともに、地域振興PRイベントや婚活等の連携事業を実施しました。また、災害時を含めた大学・企業との協定を新たに締結し、協定に基づく取組により、効果的な行政サービスを提供しました。

[定量指標] (数値目標)

指標	単位	第二期基本計画期間				第三期基本計画期間	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7
—	—	目標	—	—	—	—	—
		実績	—	—	—	—	—
		評価	—	—	—	—	—



4 | 達成状況の評価

目標を達成できなかった指標についての分析

目標を達成した指標についての今後の課題等

企業等との包括連携協定については、実際の課題に応じた効果的な連携事業が行われるよう、庁内および外部への情報提供を行い、連携を促進する必要があります。

引き続き、他自治体、大学、企業などと連携し、様々な分野で質の高い連携を進め、行政サービスの更なる向上を目指します。

草加市実施計画2022・第2期草加市版総合戦略
令和4年度進捗管理結果

令和5年9月

草加市総合政策部総合政策課

〒340-8550 埼玉県草加市高砂1-1-1

電話 048-922-0749(直通)